



ライオンズクラブ国際協会 331C 地区キャビネット

LIONSCLUB 331-C DISTRICT GOVERNOR'S CABINET

地区ガバナー
スローガン

地域と共に新たな挑戦 We Serve

2023-2024

第2回キャビネット会議資料

2023.10.21(土) 会場 グランドホテルニュー王子



ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区 キャビネット事務局

〒053-0022 北海道苫小牧市表町1丁目4-5 ほくせんビル4階

TEL:0144-38-5111 FAX:0144-38-5110 E-mail:hokkaido331c@lionsclubs-331c.org

*** 目 次 ***

・出席者名簿	
・キャビネット会議次第	1~2 ページ
・物故会員ご芳名	3 ページ
【 審議事項 】	
・第1号案2022-2023年度 キャビネット一般収支決算報告書	5~8 ページ
・第2号案2022-2023年度 会計監査報告書	9 ページ
・第3号案2022-2023年度 決算報告の承認を求める件について	10~12 ページ
・第5号案2023-2024年度 キャビネット一般収支予算案について	13~16 ページ
・第6号案2023-2024年度 331-C地区 第2副地区ガバナー立候補者届出書 第二副地区ガバナー補充のための特別会議について	17~21 ページ
・第7号案2023-2024年度 第2R第1Z ゾーンチェアパーソン推薦状	22 ページ
・ガバナー提出議案	31~32 ページ
・2024-2025年度 推薦状各種	33~41 ページ
・クラブ提出議案	42 ページ
【 国際レベル 】	
・2023年3月13日~16日 北アイルランド・ベルファスト 国際理事会会議	43~47 ページ
・2023年7月4~6日 国際理事会決議及び国際大会代議員投票結果による 国際会則及び付則改正について	48~53 ページ
【 日本レベル 】	
・2023-2024年度 第2回会則委員会(WEB)議事要録	55~60 ページ
・2023-2024年度 一般社団法人日本ライオンズ 第1回定時社員総会(全国ガバナー会)議事録	61~68 ページ
・2023-2024年度 第1回国際大会委員会 会議議事録	69~83 ページ
・2023-2024年度 第1回会則委員会(WEB)	84~87 ページ
・2023-2024年度 第1回アラート委員会議事録	88~93 ページ
・2023-2024年度 第1回YCE委員会要録	94~95 ページ
【 複合レベル 】	
・331複合地区アラート委員会報告	97 ページ
・第62回東洋東南アジアライオンズ(OSEAL=オセアル) フォーラム開催概要・事業計画書	98~101 ページ
・2024年スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム大会開催概要	102~103 ページ
・2023-2024年度 331複合地区・各準地区予定表	104 ページ
【 LCIF7月~9月状況 】	
・LCIF献金実施状況一覧(2023年7月~9月度分)	105~107 ページ
【 マンスリーレポート 】	
・サバナ基本集計表(2023年7月度~9月度分)	109~111 ページ
【 委員会活動報告 】	
・地区GMT・GLT・FWT・GST・GET 活動方針	113~119 ページ
・ゾーンチェアパーソン 活動方針	121~139 ページ
・各地区委員長 活動方針	140~145 ページ
・第70回地区年次大会	146 ページ

2023-2024年度第2回キャビネット会議 出席者名簿

役職名	氏名	長期計画 リサーチ委員会	名誉顧問会	全体会議
地区ガバナー・GATファシリテーター 地区LCIFコーディネーター	L渡部 義男	○	○	○
前地区ガバナー・ 長期計画リサーチ副委員長	L馬場 哲也	○	○	○
第1副地区ガバナー・ 長期計画リサーチ副委員長	L齋藤 尚仁	○	○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー 長期計画リサーチ委員 委員長	L須藤 敏幸	○	○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー 長期計画リサーチ委員	L中村 全博	○	○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー 長期計画リサーチ委員	L北島 孝雄	×	×	×
名誉顧問会・元地区ガバナー 長期計画リサーチ委員	L吉原 成昌	○	○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー	L本所 光男		○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー	L佐々木 忠康		○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー	L松浦 則雄		×	×
名誉顧問会・元地区ガバナー	L高橋 和雄		○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー	L奥山 幸一		○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー	L小玉 誠		○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー	L後藤 忍		○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー 長期計画リサーチ委員	L田中 稔	○	○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー	L荒川 隆志		×	×
地区GLTコーディネーター 長期計画リサーチ委員	L山本 憲治	○		○
地区GMTコーディネーター 長期計画リサーチ委員	L庄司 典弘	○		○
地区FWTコーディネーター 長期計画リサーチ委員	L荒川 祥子	○		○
地区GETコーディネーター 長期計画リサーチ委員	L高橋 伸介	○		○
地区LCIF副コーディネーター	L作並 真一			○
キャビネット幹事 地区GMAチームサポーター	L脇田 忠	○		○
キャビネット会計 地区GSTコーディネーター	L坂本 将一	○		○
地区会計監査	L尾崎 徹			○
地区会計監査	L平舘 正彦			○
地区キャビネット副幹事 地区GMAチーム副リーダー	L後藤 彰			○
地区キャビネット副会計 地区GMAチーム	L渡辺 俊二			○
小計		13	13	24

2023-2024年度第2回キャビネット会議 出席者名簿

役職名	氏名	長期計画 リサーチ委員会	名誉顧問会	全体会議
キャビネット運営委員会 委員長	L柳原 義文			○
キャビネット運営委員会 副委員長	L久保 真一			○
キャビネット運営委員会 副委員長	L針生 政秀			○
キャビネット運営委員会 委員	L松岡 伸治			○
キャビネット運営委員会 委員	L柴田 義継			○
キャビネット運営委員会 委員	L高橋 由利枝			○
キャビネット運営委員会 委員	L高橋 朋之			○
キャビネット運営委員会 委員	L佐藤 重則			○
キャビネット運営委員会 委員	L高田 芳和			○
キャビネット運営委員会 委員	L阿部 一二			○
キャビネット運営委員会 委員	L中山 智仁			×
前キャビネット幹事	L吉田 寛	○		○
前キャビネット会計	L玉井 大輔			○
視力障がい・糖尿病委員会・ 献眼献血委員会 委員長	L佐藤 聖			○
次世代リーグ研究委員会・環境保 全・社会福祉 委員長	L小坂 直江			○
ECHO・IT委員会 委員長	L廣澤 隆			○
ECHO・IT委員会 副委員長	L阿部 和法			○
会則委員会 委員長	L菅原 馨			○
会則委員会 委員	L岩崎 悦雄			○
LCIF・アート・イクステンション委員会 委員長	L富田 明久			○
LCIF・アート・イクステンション委員会 委員1R	L山形 俊英			×
LCIF・アート・イクステンション委員会 委員2R	L安部 裕史			○
LCIF・アート・イクステンション委員会 委員3R	L木村 耕志			×
LCIF・アート・イクステンション委員会 委員4R	L吉田 裕			×
LCIF・アート・イクステンション委員会 委員5R	Lホディノット・ アンドルー			○
ライオンズ ｸﾞﾗｽﾞ委員会・YCE委員会・ 薬物乱用等防止委員会 委員長	L林 謙治			○
ライオンズ ｸﾞﾗｽﾞ委員会・YCE委員会・ 薬物乱用等防止委員会 副委員長	L青山 和晴			○
地区大会・国際大会委員会 委員 長	L大西 政春			○
地区大会・国際大会委員会 事務局長	L和嶋 孝俊			○
地区大会・国際大会委員会 事務局次長	L鈴木 秀作			○
長期計画リサーチ委員会 委員	L吉田 寛	重複		重複
小計		1	0	26

2023-2024年度第2回キャビネット会議 出席者名簿

役 職 名	氏 名	長期計画 ワーキング委員会	名誉顧問会	全体会議
第1R第1Z ゾーンチェアマン	L石戸 保			○
第2R第1Z ゾーンチェアマン	L狩野 敏哉			○
第2R第2Z ゾーンチェアマン	L佐藤 裕			○
第3R第1Z ゾーンチェアマン	L片岡 雄也			○
第3R第2Z ゾーンチェアマン	L門脇 宏幸			○
第4R第1Z ゾーンチェアマン	L嘉堂 卓也			○
第4R第2Z ゾーンチェアマン	L石原 諭			○
第5R第1Z ゾーンチェアマン	L本多 弘幸	×		○
第5R第2Z ゾーンチェアマン	L吉田 浩子	○		○
第1R第1Z ゾーン委員	L種市 誠			×
第2R第1Z ゾーン委員	L堀川 一			○
第2R第2Z ゾーン委員	L古谷 征宗			×
第3R第1Z ゾーン委員	L小杉 芳昭			○
第3R第2Z ゾーン委員	L西條 隆			○
第4R第2Z ゾーン委員	L稲見 裕一			×
第5R第1Z ゾーン委員	L小沼 和夫			○
第5R第2Z ゾーン委員	L渋谷 昌彦			○
オブザーバー(23-24年度 会長)	L菅原 馨			重複
オブザーバー(23-24年度 会長)	L片岡 博			×
オブザーバー(23-24年度 会長)	L長浜 秋一			×
オブザーバー(23-24年度 会長)	L富田 明久			重複
オブザーバー(23-24年度 会長)	L小坂 利政			○
オブザーバー(23-24年度 会長)	L成田 静治			○
オブザーバー(23-24年度 会長)	L真保 郵生			×
オブザーバー(23-24年度 会長)	L小谷 和宏			○
オブザーバー(23-24年度 会長)	L鳥越 浩一			×
オブザーバー (LCIF MDJ-ディレクター)	L及川 隆人			○
小計		1	0	18
合計		25	14	69

《 第 2 回キャビネット会議次第 》

日時 2023 年 10 月 21 日(土)14:00~17:00

場所 グランドホテルニュー王子 2 階芙蓉の間

司会 キャビネット運営委員 L 松岡 伸治

記録 キャビネット運営委員副委員長 L 久保 真一

キャビネット運営委員 L 柴田 義継

1 開会ゴング ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区ガバナー L 渡部 義男

2 国旗敬礼

3 物故者に黙祷

4 出席者紹介 運営委員長 L 柳原 義文

5 地区ガバナー挨拶 地区ガバナー L 渡部 義男

6 前地区ガバナー・名誉顧問会議長挨拶 前地区ガバナー・名誉顧問会議長 L 馬場 哲也

7 長期計画リサーチ委員会報告 長期計画リサーチ委員長 L 須藤 敏幸

8 審議事項 地区ガバナー L 渡部 義男

・第 1 号案 2022-2023 年度 キャビネット一般収支決算報告書
前地区キャビネット会計 L 玉井 大輔

・第 2 号案 2022-2023 年度 会計監査報告書

・第 3 号案 2022-2023 年度 決算報告の承認を求める件について

・第 4 号案 2022-2023 年度 引継書・会計引継ぎの件について

・第 5 号案 2023-2024 年度 キャビネット一般収支予算案について
キャビネット会計 L 坂本 将一

・第 6 号案 2023-2024 年度 331-C 地区 第 2 副地区ガバナー立候補者届出書
2023-2024 年度 第 2R 第 1Z ゾーンチェアパーソン変更の件について

・ガバナー提出議案

・クラブ提出議案

9 報告・確認事項 キャビネット幹事 L 脇田 忠

10 活動方針説明・報告

・GMT コーディネーター 地区 GMT コーディネーター L 庄司 典弘

・GLT コーディネーター 地区 GLT コーディネーター L 山本 憲治

・GST コーディネーター 地区 GST コーディネーター L 坂本 将一

・FWT コーディネーター 地区 FWT コーディネーター L 荒川 祥子

・GET コーディネーター 地区 GET コーディネーター L 高橋 伸介

・LCIF コーディネーター 地区 LCIF 副コーディネーター L 作並 真一

11 ゾーンチェアパーソン活動方針・報告

第1R 第1Z ゾーンチェアパーソン	L石戸 保
第2R 第1Z ゾーンチェアパーソン	L狩野 敏哉
第2R 第2Z ゾーンチェアパーソン	L佐藤 裕
第3R 第1Z ゾーンチェアパーソン	L片岡 雄也
第3R 第2Z ゾーンチェアパーソン	L門脇 宏幸
第4R 第1Z ゾーンチェアパーソン	L嘉堂 卓也
第4R 第2Z ゾーンチェアパーソン	L石原 論
第5R 第1Z ゾーンチェアパーソン	L本多 弘幸
第5R 第2Z ゾーンチェアパーソン	L吉田 浩子

12 各委員会活動方針・報告

地区大会・国際大会委員会 委員長	L大西 政春
ライオンズクエスト・YCE・薬物乱用等防止委員会 委員長	L林 謙治
LCIF・アラート・エクステンション委員会 委員長	L富田 明久
会則委員会 委員長	L菅原 馨
ECHO・IT 委員会 委員長	L廣澤 隆
次世代リーダー研究委員会・環境保全・社会福祉 委員長	L小坂 直江
視力障がい・糖尿病・献眼献血委員会 委員長	L佐藤 聖
キャビネット運営委員会 委員長	L柳原 義文

13 質疑応答

14 閉会ゴング	地区ガバナー	L渡部 義男
----------	--------	--------

物故会員ご芳名 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

- かながわ かんじ
故 L 金川 幹司 (安平LC) 2023年 7月 9日 逝去(95歳)
- やました はるみ
故 L 山下 春三 (静内LC) 2023年 8月 3日 逝去(80歳)
- なかやま なおし
故 L 中山 尚志 (余市LC) 2023年 9月 23日 逝去(86歳)

審議事項

- 第1号案2022-2023年度 キャビネット一般収支決算報告書
- 第2号案2022-2023年度 会計監査報告書
- 第3号案2022-2023年度 決算報告の承認を求める件について
- 第4号案2022-2023年度 引継書・会計引継ぎの件について
- 第5号案2023-2024年度 キャビネット一般収支予算案について
- 第6号案2023-2024年度 331-C地区 第2副地区ガバナー立候補者届出書
2023-2024年度 第2R第1Z ゾーンチェアパーソン変更の件について
- ガバナー提出議案
- クラブ提出議案

ライオンズクラブ国際協会331-C地区
キャビネット一般収支決算報告書
(2022年7月1日~2023年6月30日)

【収入の部】

単位：円

科目	予算額	執行額	増減額	摘要
前期繰越金	7,913,017	7,913,017	0	伊達キャビネットより繰越金 一般青少年他合計
地区費	10,080,000	10,202,500	122,500	上期1,191名×700円×6か月- 34,300円(調整) 下期1,220名×700円×6か月+110,600円(調整)
地区特別運営費	5,760,000	5,830,000	70,000	上期1,191名×400円×6か月- 19,600円(調整) 下期1,220名×400円×6か月+ 63,200円(調整)
雑収入	0	122	122	利息
小計	23,753,017	23,945,639	192,622	
青少年育成費	1,200,000	1,205,500	5,500	上期1,191名×1000円×0.5年 下期1,220名×1000円×0.5年
エコ誌発行負担金	2,400,000	2,411,000	11,000	上期1,191名×2000円×0.5年 下期1,220名×2000円×0.5年
地区大会費	1,440,000	1,457,500	17,500	上期1,191名×100円×6か月- 4,900円(調整) 下期1,220名×100円×6ヶ月+15,800円(調整)
地区特別大会費	1,440,000	1,457,500	17,500	上期1,191名×100円×6か月- 4,900円(調整) 下期1,220名×100円×6ヶ月+15,800円(調整)
小計	6,480,000	6,531,500	51,500	
地区運営基金繰越金	10,035,125	10,035,125	0	伊達キャビネットより繰越金
前地区引継金	4,000,000	4,000,000	0	伊達キャビネットより引継金
小計	14,035,125	14,035,125	0	
総合計	44,268,142	44,512,264	244,122	

ライオンズクラブ国際協会331-C地区
キャビネット一般収支決算報告書
(2022年7月1日～2023年6月30日)

【支出の部】

単位：円

科目	予算	執行額	増減額	摘要
会議費	1,200,000	1,071,385	▲ 128,615	キャビネット会議、各種会議他
旅費交通費	2,500,000	2,245,738	▲ 254,262	キャビネット会議・各種委員会他・旅費宿泊費
訪問費	800,000	736,780	▲ 63,220	ガバナー公式訪問他
人件費	3,640,000	4,597,560	957,560	事務局員給料
通信費	430,000	563,546	133,546	郵便料・電話料、光回線料他
印刷費	1,000,000	1,315,453	315,453	会議資料・コピーカウンター・印刷機消耗品他
事務所費	2,250,000	2,459,758	209,758	事務所賃貸料・光熱費・暖房費他 駐車場代
消耗品費	600,000	845,281	245,281	事務用品・コピー紙・名刺他
什器備品費	800,000	238,303	▲ 561,697	事務机他、コピー機、印刷機リース料・PC他
贈呈費	1,750,000	1,711,460	▲ 38,540	CABネームプレート・バナー・バッジ他
慶弔費	300,000	306,140	6,140	会員香典・供花他
周年行事費	400,000	380,000	▲ 20,000	周年お祝い他
交際費	250,000	144,815	▲ 105,185	お祝い他
引継費	100,000	100,000	0	キャビネット事務局引継ぎ経費
研修費	100,000	120,296	20,296	地区役員・三役・事務局員研修会
GAT経費	280,000	190,000	▲ 90,000	GAT (GMT・GLT・FWT・GST) 活動費
ゾーン経費	834,000	845,000	11,000	ZC活動費(基本額70,000円+ゾーン内クラブ数×5,000円)
委員会経費	900,000	514,271	▲ 385,729	LCIFコーディネーター活動費・委員会活動費
SDGs	300,000	186,936	▲ 113,064	地区内一斉清掃、植樹事業協賛(継続事業)
離島補助	100,000	100,000	0	奥尻LC会議出席補助金
開設費	100,000	95,942	▲ 4,058	看板他
雑費	200,000	262,895	62,895	振込手数料、他
予備費	1,223,675	0	▲ 1,223,675	
小計	20,057,675	19,031,559	▲ 1,026,116	
青少年育成費	1,200,000	250,000	▲ 950,000	YCE・ライオンズクエスト関係
エコ誌IT負担金	2,400,000	2,373,710	▲ 26,290	エコ誌発行・IT活動費
地区大会費	2,880,000	3,208,996	328,996	地区大会運営費 地区特別大会費 大会繰越金
小計	6,480,000	5,832,706	▲ 647,294	
地区運営基金繰越金	10,035,125	10,035,125	0	苫小牧キャビネットへ引継ぎ金
次期キャビネット準備金	4,000,000	4,000,000	0	苫小牧キャビネットへ引継ぎ金
小計	14,035,125	14,035,125	0	
次期繰越金		5,612,874		苫小牧キャビネットへ繰越金
合計	40,572,800	44,512,264	3,939,464	

ライオンズクラブ国際協会331-C地区
青少年育成費収支決算報告書
 (2022年7月1日～2023年6月30日)

【収入の部】

単位：円

科目	予算額	執行額	摘要
前期繰越金		3,108,399	
青少年育成費		1,205,500	上期1,191名×1000円×0.5年 下期1,220名×1000円×0.5年
合計	0	4,313,899	

【支出の部】

科目	予算額	執行額	摘要
《YCE関係費》			
会議費	30,000	0	
旅費交通費	100,000	0	
図書印刷費	10,000	0	
通信費	10,000	0	
雑費	0	0	
複合分担金	250,000	250,000	複合分担金 レオ支援、YCE
サマーキャンプ負担金	500,000	0	中止
予備費	10,000	0	
小計	910,000	250,000	
《ライオンズクエスト関係費》			
会議費	40,000	0	
旅費交通費	70,000	0	
図書印刷費	10,000	0	
通信費	10,000	0	
雑費	0	0	
ライオンズクエスト費	150,000	0	
予備費	10,000	0	
小計	290,000	0	
次期繰越金		4,063,899	
合計	1,200,000	4,313,899	

ライオンズクラブ国際協会331-C地区
エコー誌・IT活動費発行費収支報告
 (2022年7月1日～2023年6月30日)

【収入の部】

単位：円

科目	予算額	執行額	摘要
前期繰越金	292,947	292,947	
エコー誌発行負担金	2,400,000	2,411,000	上期1,191名×2000円×0.5年 下期1,220名×2000円×0.5年
合計	2,692,947	2,703,947	

【支出の部】

科目	予算額	執行額	摘要
エコー誌発行費	2,000,000	1,980,000	エコー誌 4回発行
会議費	10,000	0	
取材活動費	50,000	50,000	活動経費
IT活動費	250,000	286,000	ホームページ維持管理
通信費	70,000	57,710	発送費用
雑費	10,000	0	備品一式
予備費	10,000	0	
小計	2,400,000	2,373,710	
次期繰越金		330,237	
合計	2,400,000	2,703,947	

ライオンズクラブ国際協会331-C地区
第69回 地区年次大会決算報告
 (2022年7月1日～2023年6月30日)

【収入の部】

単位：円

科 目	予 算 額	執 行 額	摘 要
前 期 繰 越 金	293,996	293,996	
地 区 大 会 費	1,440,000	1,457,500	上期1,191名×100円×6か月－4,900円(調整) 下期1,220名×100円×6ヶ月+15,800円(調整)
地 区 特 別 大 会 費	1,440,000	1,457,500	上期1,191名×100円×6か月－4,900円(調整) 下期1,220名×100円×6ヶ月+15,800円(調整)
大 会 登 録 料	1,750,000	1,648,500	3,500円×471名
懇 親 会 登 録 料	4,800,000	4,572,000	12,000円×381名
ラ ッ キ ー カ ー ド 販 売	400,000	762,000	1,000円×762枚
売 店 登 録 料	10,000	0	
記 念 誌 協 賛 広 告 費	500,000	540,000	
お 弁 当 代	301,200	301,200	251名×1200円(代議員、元ガバナー含む)
雑 収 入		100,000	LCIFチャリティー、ゴルフ、ボーリング、記念バッジ
合 計	10,935,196	11,132,696	

【支出の部】

単位：円

科 目	予 算 額	執 行 額	摘 要
式 典 部 会	1,400,000	1,584,073	市民会館使用料・映像・式場装飾他
代 議 員 部 会	150,000	156,200	飲み物他 分科会会場費
登 録 ・ 受 付 ・ 接 待 部	100,000	39,628	受付業務・登録業務・案内看板・登録カード他
懇 親 会 部 会	4,800,000	4,254,947	宴会費・コンパニオン・余興・音響他
売 店 部 会	10,000	0	什器備品・廃棄物処理
交 通 部 会	100,000	64,840	駐車場整理他
お 弁 当 代	204,000	300,564	170名×1200円(代議員、元ガバナー含む)
ラ ッ キ ー カ ー ド 景 品	250,000	722,000	
記 念 誌 ・ 記 念 品	1,815,000	1,726,080	記念誌・記念品・紙袋・函館新聞・観光パンフ
総 務 部 会	1,960,000	1,928,915	記念アクティビティ・アワード 大会事務局費
L C I F 協 力 金		100,000	LCIFチャリティー、ゴルフ、ボーリング、記念バッジ
予 備 費	48,996	0	
小 計	10,837,996	10,877,247	
次 期 繰 越 金		255,449	苫小牧キャビネットへ繰越金
合 計	10,837,996	11,132,696	

ライオンズクラブ国際協会 331-C地区 決算監査報告書

2023-2024年度

ライオンズクラブ国際協会 331-C地区

地区ガバナー 渡部 義男

地区キャビネット幹事 脇田 忠

地区キャビネット会計 坂本 将一

2022年7月1日～2023年6月30日の決算報告に関する監査結果を下記のとおり報告いたします。

記

一般収支決算、青少年育成費収支決算、エコー誌発行負担金収支決算、第69回地区年次大会収支決算について現金出納帳、預金出納帳、預金残高並びに元帳及び証憑書類からその処理について検討を行った結果、正確且つ適切であることを認めます。

2023年7月27日

地区会計監査委員

生田 豊



地区会計監査委員

明石 章彦



2023年7月 日

会計引継書

2023-2024年度
ライオンズクラブ国際協会331-C地区
苫小牧キャビネット 殿

下記内容の各会計繰越金の引継ぎをいたします。

1)	一般会計繰越金	1,218,738円
	青少年育成費繰越金	4,063,899円
	エコー誌IT費繰越金	330,237円
	地区年次大会費繰越金	255,449円
	繰越金合計	5,868,323円
2)	地区運営基金	9,731,625円
3)	地区緊急援助金	303,500円
4)	地区引継金	4,000,000円

ライオンズクラブ国際協会331-C地区
前地区キャビネット会計

玉井大輔



2023年7月 日

上記の通り繰越金を確かに受領いたしました。

2023-2024年度
ライオンズクラブ国際協会331-C地区
地区キャビネット会計

坂本将一



2023年7月 日

ライオンズクラブ国際協会 331-C地区 決算書引継書

2023-2024年度
ライオンズクラブ国際協会 331-C地区
苫小牧キャビネット 殿

別紙のとおり決算書を引継ぎをいたします。

- 1) 2022-2023年度 地区一般会計収支決算書報告書
- 2) 2022-2023年度 エコー誌発行負担金収支決算書報告書
- 3) 2022-2023年度 青少年育成費収支決算報告書
- 4) 2022-2023年度 第69回地区年次大会決算報告書

ライオンズクラブ国際協会 331-C地区

前地区ガバナー

馬場哲也



2023年7月 日

上記決算書を受け取りました。

2023-2024年度
ライオンズクラブ国際協会 331-C地区

地区ガバナー

渡部義男



ライオンズクラブ国際協会 331-C

【 引 継 備 品 一 覧 】

- ガバナーズキー
- キャビネット旗 (旗棒・三脚・ケース付き)
- 投票箱 (5個)
- 投票間仕切り
- 卓上ネームプレート プラスチック
- 卓上ネームプレート 大会・式典用
- 目録
- 裁断機
- キャビネットゴム印
- ジュラルミンケース (3個)
- 賞状盆
- 紅白リボン (大赤・大白・小赤)
- 献花台
- 地区ガバナーキャビネット角印
- 過去大会資料・キャビネット会議資料
- 大会プラカード (預かり)

2023年7月 14 日

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区
函館キャビネット

前地区ガバナー

志場哲也



前地区キャビネット幹事

吉田 寛



ライオンズクラブ国際協会331-C地区

キャビネット一般収支予算（案）

（2023年7月1日～2024年6月30日）

【収入の部】

単位：円

科目	予算額	摘要
前期繰越金	5,612,874	一般1,218,738円+青少年育成+エコー誌・IT
前地区引継金	4,000,000	函館キャビネットより繰越金
地区費	10,080,000	1,200名×700円×12ヶ月
地区特別運営費	5,760,000	1,200名×400円×12ヶ月
雑収入	1,100,000	研修会費、キャビネット会議懇親会等
小計	26,552,874	
地区大会費	1,440,000	1,200名×100円×12ヶ月
地区特別大会費	1,440,000	1,200名×100円×12ヶ月
青少年育成費	1,200,000	1,200名×1,000円
エコー誌発行負担金	2,400,000	1,200名×2,000円
小計	6,480,000	
合計	33,032,874	
地区運営基金繰越金	10,035,125	函館キャビネットより繰越金
小計	10,035,125	
総合計	43,067,999	

ライオンズクラブ国際協会331-C地区
キャビネット一般収支予算（案）
（2023年7月1日～2024年6月30日）

【支出の部】

単位：円

科 目	予算	補正予算額	差額	摘 要
会 議 費	2,220,000	2,600,000	380,000	キャビネット会議、各種会議他
旅 費 交 通 費	2,000,000	2,400,000	400,000	キャビネット会議・各種委員会他・旅費宿泊費
訪 問 費	800,000	450,000	-350,000	ガバナー公式訪問他
人 件 費	3,640,000	4,000,000	360,000	事務局員給料
通 信 費	400,000	400,000	0	郵便料・電話料、光回線料他
印 刷 費	800,000	800,000	0	会議資料・コピーカウンター・印刷機消耗品他
事 務 所 費	800,000	800,000	0	事務所賃貸料・光熱費・暖房費他
消 耗 品 費	400,000	600,000	200,000	事務用品・コピー紙・名刺他
什 器 備 品 費	600,000	600,000	0	事務机他、コピー機、印刷機リース料・PC他
贈 呈 費	1,700,000	1,750,000	50,000	C A B ネームプレート・バナー・バッチ他
慶 弔 費	200,000	300,000	100,000	会員香典・供花他
周 年 行 事 費	200,000	200,000	0	お祝い他 3LC
交 際 費	200,000	200,000	0	お祝い他
引 継 費	50,000	30,000	-20,000	
研 修 費	400,000	400,000	0	地区役員・三役・事務局員研修会
G A T 経 費	250,000	200,000	-50,000	GAT (GLT・FWT・GST・GET各50,000円) 活動費
ゾ ー ン 経 費	800,000	800,000	0	Z C 活動費 (基本額50,000円+ゾーン内クラブ数×8,000円)
委 員 会 経 費	900,000	700,000	-200,000	L C I F コーディネーター活動費・委員会活動費
SDGs	100,000	300,000	200,000	
開 設 費	100,000	100,000	0	看板他
次期キャビネット準備金	4,000,000	4,000,000	0	次期キャビネットへ引継ぎ金
雑 費	200,000	300,000	100,000	振込料他
離 島 補 助	100,000	100,000	0	
予 備 費	80,000	128,738	48,738	
小 計	20,940,000	22,158,738	1,218,738	
青 少 年 育 成 費	1,200,000	1,200,000		Y C E ・ ライオンズクエスト関係
青少年育成費繰越金		4,063,899		
エコ誌発行負担金	2,400,000	2,400,000		エコ誌発行・IT活動費
エコ誌発行負担金繰越金		330,237		
地 区 大 会 費	2,880,000	2,880,000		
小 計	6,480,000	10,874,136		
地区運営基金繰越金	10,035,125	10,035,125		
合 計	10,035,125	10,035,125		
総合計	37,455,125	43,067,999		

青少年育成費収支予算（案）

（2023年7月1日～2024年6月30日）

【収入の部】

単位：円

科目	予算額	摘要
前期繰越金	4,063,899	
青少年育成費	1,200,000	1,200名×1,000円
合計	5,263,899	

【支出の部】

科目	予算額	摘要
《YCE関係費》		
会議費	30,000	
旅費交通費	100,000	
図書印刷費	10,000	
通信費	10,000	
雑費	10,000	
複合分担金	250,000	複合分担金
サマーキャンプ負担金	500,000	YCEサマーキャンプ分担金
予備費	100,000	
小計	1,010,000	
《ライオンズクエスト関係費》		
会議費	40,000	
旅費交通費	60,000	
図書印刷費	10,000	
通信費	10,000	
雑費	10,000	
ライオンズクエスト費	150,000	
予備費	700,000	
小計	980,000	
総合計	1,990,000	
次期繰越予定金	3,273,899	

ライオンズクラブ国際協会33I-C地区

エコー誌・IT活動費発行費収支予算(案)

(2023年7月1日~2024年6月30日)

【収入の部】



単位：円

科目	予算額	摘要
前期繰越金	330,237	
エコー誌発行負担金	2,400,000	1,200名×2,000円
合計	2,730,237	

【支出の部】

科目	予算額	摘要
エコー誌発行費	2,000,000	エコー誌 4回発行
会議費	10,000	
取材活動費	50,000	活動経費
IT活動費	250,000	
通信費	70,000	発送費用
雑費	10,000	
予備費	340,237	
小計	2,730,237	

2023年～2024年 331-C 地区・第2副地区ガバナー立候補者届出書

	届出年月日	2023年6月30日		
	所 属	第3R 2Z 室蘭東ライオンズクラブ		
	ふりがな 立候補者氏名	たかはし のぶひき 高橋 伸介		
	生年月日	1962年9月8日		
	自 宅	住所	〒050-0076	
		電話	(0143) 43-8320	
勤 務 先	住所	〒050-0076		
	名称	高橋清掃株式会社	役職名	代表取締役
	電話	(0143) 44-4992		
ライオン暦 (年度順) 入会：クラブ役職 準地区：複合地区役職 受賞アワード	(国際会則付則第9条6項(c)示す「第2副地区ガバナー候補者の資格」については、特に明記されたい) 2005年12月 室蘭東ライオンズクラブ 入会 2008年 クラブ幹事 2009年 クラブ会長 2010年 331-C地区ゾーン委員 2011年 クラブ幹事 2015年 331-C地区第3R第2Zゾーンチェアパーソン 2016年 キャビネット運営委員会 委員長 2019年 331-C地区第3R第2Zゾーン委員 2020年 クラブ幹事 2021年 室蘭東ライオンズクラブ60周年実行委員長 ・MJF1000\$献金4回 ・国際大会2回参加			
職 歴 (主なものを列記し併せて その役職を併記されたい)	高橋清掃株式会社 代表取締役			
最 終 学 歴				
公 職 叙 勲 賞 罰				
家 族 (同居親族の氏名、 年齢及び職業)	妻 加代 (61歳) 高橋清掃株式会社 取締役			
現在、主として勤務している法人・団体等の内容 (商号・本店・資本金等)	高橋清掃株式会社 代表取締役 資本金 2000万 有限会社ソウベツ浄化槽サービス 代表取締役 資本金 1000万			
ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区 地区ガバナー L馬場 哲也 殿 私儀、ライオンズクラブ国際協会 331-地区・第2副地区ガバナーとして立候補いたしたく、クラブ推薦状を添え、提出いたします。				
				高橋 伸介 

推薦状

2023~2024年度 331-C 地区・第2副地区ガバナーの候補者としてL高橋 伸介 をご推薦いたします。

2023年 6月 30日

第3リジョン 第2ゾーン

室蘭東ライオンズクラブ

会長

門脇 宏幸

幹事

山田 繁樹

会計

立候補者本人

印



ライオンズクラブ国際協会会則付則第9条6項(c)による第2副地区ガバナー候補者の資格条件

1. 所属単一または準地区内のグッド・スタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッドスタンディングの正会員であり、
2. 所属クラブの推薦、あるいは所属単一または準地区内過半数のクラブの推薦を受け
3. 第二副地区ガバナー就任の時点で
 - (a) クラブ会長を全期又は過半数の期間、そして理事会構成員として更に2年以上勤め、かつ
 - (b) ゾーンチェアパーソン又はリジョンチェアパーソンあるいはキャビネット幹事及び(又は)会計として全期又は過半数の期間務めた者でなければならない。
 - (c) 上記のいずれも、同時に達成させることはできない。

注意:氏名と住所にはふりがなを必ずつけること。

331-C地区

第2副地区ガバナー立候補者氏名 高橋 伸介 (60)

自宅住所 〒050-0076 室蘭市知利別町 2-13-2

職業 高橋清掃(株) 電話番号 (0143)43-8320

勤務先住所 〒050-0076 室蘭市知利別町 2-12-12

所属クラブ 室蘭東 LC

キャビネット幹事・予定者氏名 門脇 宏幸

自宅住所 〒050-0074 室蘭市中島町 4-5-5

所属クラブ 室蘭東 LC

キャビネット会計・予定者氏名 未定

自宅住所 〒

所属クラブ 室蘭東 LC

第2副地区ガバナー立候補者略歴

趣味: ゴルフ

ライオンズクラブ入会日: 2005年12月16日 国際会則付則第9条6項(c)の規定に伴う資格条件

正会員 17年 あるいは創立会員

a. グッドスタンディングである。

受賞の有・無

b. 所属クラブで推薦した例会開催日

出席賞 有 (2007年~2022年)

2023年6月30日

キー賞 有 (2012年)

c. ① 所属クラブ会長

シェブロン賞 有 (2015年・2020年)

2009年~2010年度

その他 ガバナー功労賞・第3R100%幹事賞・MJF 特別賞

所属クラブ理事会構成員(2年)

配偶者の有・無 有り

2017~2018年度

子ども数 2人

2019~2020年度

② キャビネット構成員

大会用バッジを作成する関係上、既婚の場合は
下記にも夫人の氏名をふりがなつき、楷書にて
記入してください。

キャビネット幹事

キャビネット会計

リジョンチェアパーソン

ゾーンチェアパーソン

高橋 加代 (たかはし かよ)

2015年~2016年度

署名

馬場哲也

注意:必要事項を記入の上、5×5センチの光沢白黒写真2枚を添付して至急ご返送の程願います



ライオンズクラブ国際協会331-C地区
苫小牧キャビネット事務局
〒053-0022 苫小牧市表町1丁目4-5 ほくせんビル4F
TEL: (0144)38-5111 FAX: (0144)38-5110
E-mail:hokkaido331c@lionsclubs-331c.org



2023年8月25日

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区
名誉顧問会・元地区ガバナー
L 奥山 幸一

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区
地区ガバナー L 渡部 義男

第二副地区ガバナーの補充のための特別会議について

拝啓 極暑の候、時下益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、キャビネット運営にご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
標記の件につきまして、下記のとおり会議を開催する事になりましたのでご案内致します。
お忙しいところ恐縮ですがご出席を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

日 時：2023年9月9日（土）13：30～
場 所：キャビネット事務局

以上

2023年9月9日(土)

第二副地区ガバナー空席補充選挙式次第

司会 地区キャビネット幹事 L 脇田 忠

出席者の確認

1. 地区ガバナー挨拶 地区ガバナー L 渡部義男
2. 議長選出（会則により地区ガバナーが務める）
3. 第二副地区ガバナー立候補者届書類の選考（別紙）
4. 投票方法の選択（投票用紙） （別紙）
5. 投票結果の発表
6. 地区ガバナーよりライオンズクラブ国際協会へ書類届出手順の説明
7. その他
8. 閉会の挨拶 地区ガバナー L 渡部義男

2023～2024 年

第二副地区ガバナー空席補充投票結果報告

投票総数	16 票
有効投票数	16 票
賛成	16 票
反対	0 票
無効・棄権	0 票

2023年9月9日（土）苫小牧キャビネット事務局会議室にて行われた第二副地区ガバナー空席補充の特別会議にて投票の結果、L 高橋伸介（室蘭東 LC）は 2023-2024 年度 331-C 地区第二副地区ガバナーとして信任を得た。

地区ガバナー 署名 渡部義男

推 薦 状

2023年9月8日

ライオンズクラブ国際協会331-C地区

ガバナー L 渡部 義男 殿

第2R 第1Z余市ライオンズクラブ

会 長 L中澤 優子



2023~2024年度、ライオンズクラブ国際協会331-C地区キャビネット

第2R 第1Zゾーンチェアパーソン候補者として、下記の当クラブ会員を推薦いたします。

所 属	余市ライオンズクラブ		
(ふりがな) 候補者氏名	かりの としや 狩野 敏哉	生 年 月 日	西暦 1958 年 7 月 23 日
自 宅	住 所	(〒046 -0012) 余市町山田町 469 番地	
	電 話	0135 (22) 3390	
勤 務 先	住 所	(〒046 -0004) 余市町大川町 1 丁目 38 番地	
	名 称	株式会社 狩野水産	携帯 090-8904-7733
	電 話	0135 (22) 3985	FAX 0135 (23) 4129
ライオン歴 (年度順)	2000 年 7 月入会 2004 年~2023 年 理事		
入会年月日	2013 年	クラブ幹事	
クラブ役職	2016 年	クラブ会長	
準地区・ 複合地区	2018 年	テールツイスター	
役 職 等	2019 年	第 2RIZ ZCP	
	2020 年	長期計画リサーチ委員長	

第 62 回東洋東南アジアライオンズ (OSEAL=オセアル) フォーラム2025

1.開催年月日 2025年10月23日(木)～10月26日(日) 4日間(予定)

2.開催場所 札幌ドーム・札幌コンベンションセンター・京王プラザホテル札幌 他

3.目的 東洋東南アジア地域のライオンズクラブ会員の会員相互の友好、親善、経験交換

4.テーマ 『WISH ～LAT.43°N～』共生と循環 未来の子供達のために

5.3.3.1 複合として、フォーラムまでの期間をとおして、次の取り組みを行なう。

1) アルミ缶・ペットボトルキャップのリサイクル

アルミ缶・ペットボトルキャップを回収し、2025年までの3年間の取り組みを数値化する。

フォーラムのオープニング時に3年間の取り組み成果を発表。あわせてフォーラム最終日まで各種セミナー会場での取組を継続し、フィナーレ時にどれくらい 省エネ・環境保全 を達成したか発表する。

①回収したアルミ缶をリサイクル業者へ渡し、その収益で植樹用の苗木を購入する。

②回収したペットボトルキャップをリサイクル業者へ渡し、その収益でライオンズクラブ国際財団(LCIF)を通じて世界の子どもたちへワクチンを提供する。

また、回収したペットボトルキャップを使用し、北海道らしいまたはご当地キャラクターなどのオブジェを制作し、フォーラム期間中、各会場で展示を行う。

<参考>・小児マヒ(ポリオ)ワクチン：一人分約20円 キャップ約500個

・三種混合ワクチン：一人分約114円 キャップ約2860個

・はしかワクチン：一人分約95円 キャップ約2500個

・BCG(結核)：一人分約7円 キャップ約180個

③オブジェの制作は、子どもから大人まで一般市民を巻き込み制作を行う。

2) ペットボトルキャップの回収について

期間：2023年3月から2024年9月末日

数値目標：1クラブ 3,500個(4.5Lポリ袋1袋分)以上

回収方法：目標数が集まり次第、宅配便等で送付をお願いいたします。(送付先は後日お知らせします。)

※ペットボトルキャップは送付前に洗浄をお願いします。

※2024年10月以降、各クラブで継続アクティビティとしてペットボトルキャップを回収いただける場合、都度、回収数量をお知らせください。フォーラムでの取組数値として反映いたします。

3) アルミ缶・スチール缶の回収について

期間：2023年3月から2025年5月

回収方法：じゅんかんコンビニ24を利用

じゅんかんコンビニのポイントカードを複合内187クラブ宛に送付いたしますので、ご活用ください。500Pt=500円を貯めた後、QUOカードに換えて寄付をお願いいたします。

数値目標：1クラブ 500円QUOカード1枚以上

【参考 じゅんかんコンビニ所在地】

店舗名	所在地	稼働状況
太平店	札幌市北区太平5条5丁目5	稼働中
富丘店	札幌市手稲区富丘3条5丁目5	稼働中
西岡店	札幌市豊平区西岡4条1丁目5番地9	稼働中
マテックプラザ店	札幌市白石区本通20丁目北1-10	稼働中
発寒店	札幌市西区発寒12条13丁目2-52	稼働中
元町店	札幌市東区北20条東20丁目1	稼働中
伏見店	札幌市中央区南15条西19丁目2	稼働中
森林公園店	札幌市厚別区厚別東4条8丁目15	稼働中
美しが丘店	札幌市清田区美しが丘1条4丁目1	稼働中
桑園店	札幌市中央区北9条西21丁目1番	稼働中
明日風店	札幌市手稲区明日風1丁目1番1	稼働中
月寒店	札幌市豊平区月寒東3条3丁目2	稼働中
新川駅前店	札幌市北区北27条西16丁目3	稼働中
北21条店	札幌市東区北21条東1丁目3番地	稼働中
北郷店	札幌市白石区北郷3条3丁目517番345	稼働中
江別店	江別市向ヶ丘3-1	稼働中
大麻元町店	江別市大麻元町161番52	稼働中
北陽店	千歳市北陽5丁目1-1	稼働中
みどり台店	千歳しみどり台北4丁目2-8	稼働中
恵庭店	恵庭市黄金南町5丁目9-15	稼働中
中園店	釧路市中園町8番2	稼働中
昭和店	釧路市昭和中央3丁目21-2	稼働中
桜木町店	苫小牧市桜木町4丁目13-4	稼働中
拓勇店	苫小牧市拓勇東町5丁目1番21号	稼働中

三光町店	<u>苫小牧市三光町 2 丁目 1-5</u>	稼働中
花川店	<u>石狩市花川南 1 条 6 丁目 174</u>	稼働中

※近隣に循環コンビニのないクラブにおかれましては、各自治体、地元廃品回収業者と連携いただき、数値化と現金化→苗木購入資金 をお願いいたします。

4) 植樹による環境保全の取組みについて→「ライオンズの森づくり（仮称）」

- ・331複合として、フォーラムまでの間、12,000本の植樹を目指す。
- ・植樹を2023年から開始し、様々な環境保全活動を通じて、「OSEAL To The Future プロジェクト（仮称）」SDGsの17を目指していることを発信する。
- 331複合全体で行なう植樹「ライオンズの森づくり（仮称）」を通じて、未来の子どもたちへつなぐ持続可能な森を創造する。また、フォーラムにおいてライオンズクラブ国際会長や国際理事、役員で記念植樹を行なう。
- ・具体的な植樹場所については、道と協議の上、早急に決定し、森林組合などに協力をお願いし、成育に必要な草刈りや地域美化活動などを定期的に行う。植樹に関しては、単に植樹するだけでなく、苗木が自生するまでの数年間は草刈りなどが必要となるため、ライオンズクラブメンバー・企業にもご協力いただく必要がある。
- ・植樹を通じて、環境保全への意識づけと、持続可能な森づくりの動機づけとする。
- ・活動記録については、植樹を行った場所、植えた苗木の種類、手入れの様子などを写真や動画に記録し、いつ、だれが、どこに、何を、どのような方法で行なったかを見える化し、活動の様子をフォーラムで発表する。
- ・複合内各クラブでは、既に植樹に取り組んでいるクラブが多々あると承知しており、都度、ガバナー協議会を通じて各クラブの取組数（植樹の本数）をご報告いただきカウントする。

5) 【共生】【子ども】

①「世界どうぶつ環境会議」の開催。→「Animal SDGs」とは、子どもたちが様々な動物や生き物の立場に立って参加する体験型ワークショップで環境問題と人間と動物（例：絶滅危惧種・外来種なども含む）の共生について考える会議である。

本年はファシリテーターの養成に重点を置き、2024年～2025年にかけて数ヶ所でどうぶつ会議を開催。最終的には、日本のみならず世界各地とも繋がり、「世界どうぶつ環境会議」の開催を目指す。

フォーラムでは、この3年間で行なった成果を発表する。また、将来、ライオンズクエストとして事業化できるかの検証も合わせて行なう。

②多様性を認め合う共生社会を目指し、「LGBTQ」に関する基調講演を行なう

③スペシャルオリンピックスの開催

④ポッチャ競技の開催

⑤エクスカッション・同伴者を対象としたプログラムの実施（双方とも開催予定）

- ・札幌ピリカコタン、ウポポイなどの施設見学
- ・アイヌ文化の体験
- ・アイヌ文様切り紙づくり
- ・ミニ縄文太鼓の制作

- ・間伐材などでアイヌ模様のモニュメントやコースターの制作
- ・クマの木彫り体験
- ・北海道の食文化の体験（具体的な内容は検討中）

6) その他の情報について

OSEAL FORUM では、次の諸会議が開催されます。

- ・G A T（Global Action Team）会議
- ・L C I F（ライオンズクラブ国際財団）会議
- ・P I D（Past International Director=元国際理事）・PDG（Past District Governor=元地区ガバナー）会議
- ・議長と地区ガバナーの会議 など

7) ふるさと納税の活用

ふるさと納税運営会社と組み、OSEAL FORUM2025公式サイトよりアクセスすることで、ライオンズクラブ関係者の認識が可能。道内各自治体への納税を通じて、2年間で7億円の効果を期待する。
また、事業費への還元（約2,000万円）を目標とし、全国のライオンズクラブメンバーへ広く発信する。

8) 経済波及効果

北海道全体の総額：約30億円

※多岐にわたるエクスカージョンを設定し、フォーラム後、北海道各地を巡るツアーを組むなど、宿泊事業、観光事業、飲食事業などへの波及効果を期待する

9) 事業予算（詳細別添）

348,650,000円

うち) 早期登録料 @12,650円×5,000名

通常登録料 @13,800円×7,000名

支援金

MD331A @ 6,000円

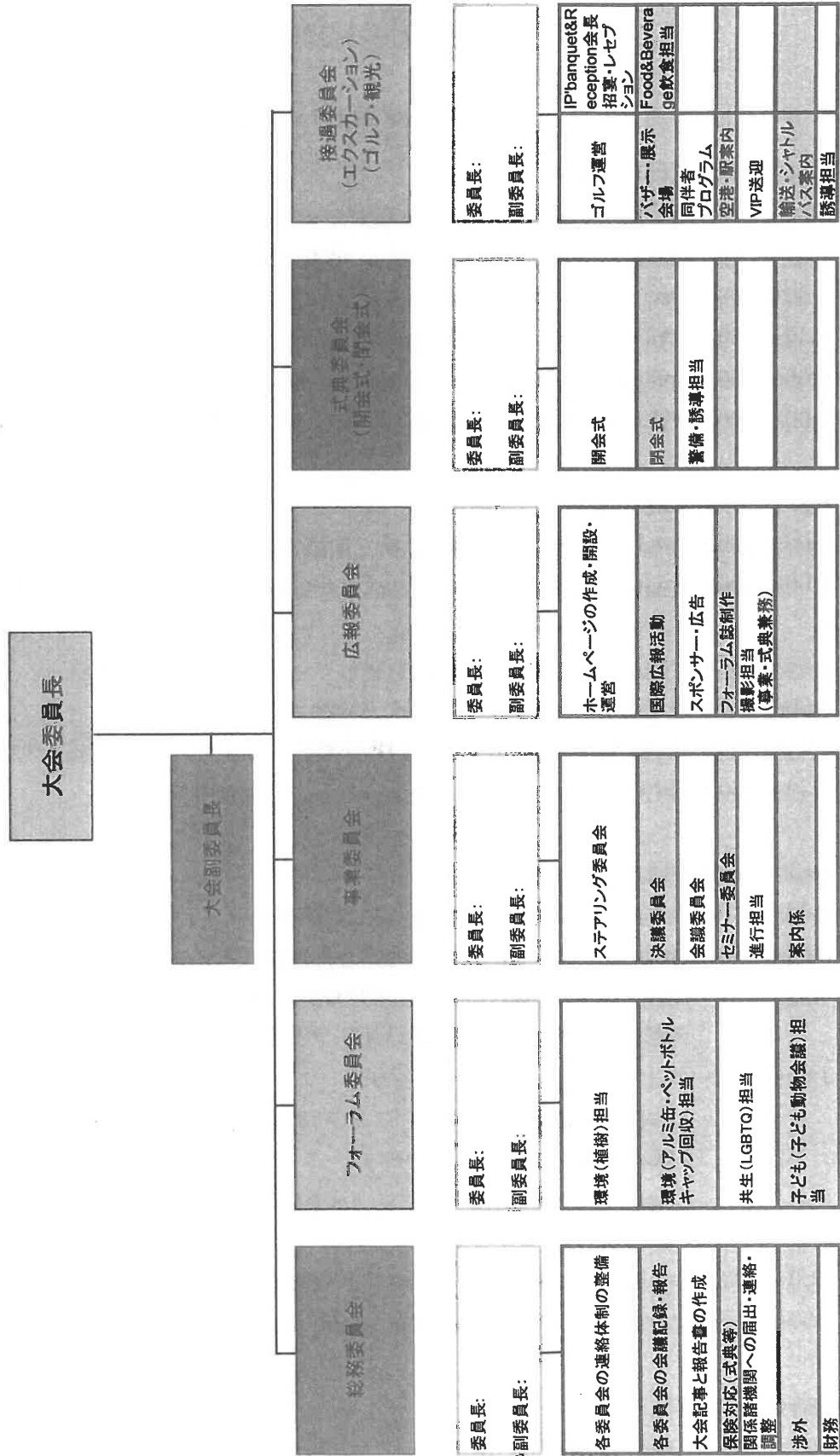
MD331B・C @ 3,000円

7複合地区 @ 2,000円

※支援金は、過去の福岡フォーラム、広島フォーラムの前例を元に、算出。

第62回OSEAL FORUM2025 組織図 委員会案

2022年12月20日会議案



* 大会組織図は、A、B、C各準地区にて、委員会メンバーを輩出して構成いたします。

The 62nd OSEAL FORUM 2025

Tentative Forum Program

Day1 10月23日(木)

- 09:30-16:00 IP CUP Golf Tournament 国際会長杯ゴルフトーナメント 会場調整中
11:30-12:00 Press Conference 記者会見 京王プラザ H
13:00-14:00 Steering Committee Meeting ステアリング会議 京王プラザ
14:30-17:00 GAT Meeting GAT 会議 京王プラザ H
17:00-18:00 Preliminary Resolution Committee Meeting 予備 決議委員会 京王プラザ H
18:00-20:00 Welcome Reception 歓迎レセプション 京王プラザ H

Day2 10月24日(金)

- 08:00-09:00 The 1st CC&DG Meeting 第一回議長&ガバナー会議 京王プラザ H
09:00-18:00 Bazar, Exhibition and Various Seminars バザー及び展示会、各種セミナー
コンベンションセンター
09:30-10:30 IP&DG Meeting 国際会長 ガバナー会議 京王プラザ H
13:00-15:30 Opening Ceremony 開会式 札幌ドーム
17:30-19:30 LCIF Donor Reception LCIF ドナーレセプション 京王プラザ H
18:30-20:30 VIP Reception VIP レセプション 京王プラザ H

Day3 10月25日(土)

- 08:00-09:00 The 2nd CC&DG Meeting 第二回議長&ガバナー会議 京王プラザ H
09:30-10:20 Seminar by IP Objective 国際会長目標に関するセミナー 京王プラザ H
10:30-11:20 Seminar by Forum Objective IP&DG Meeting フォーラム目標に関する
国際会長&ガバナー会議 京王プラザ H
13:00-17:00 GAT Seminar GAT セミナー
Lions Academy Seminar ライオンズアカデミーセミナー
LEO Seminar レオセミナー
Lions Law Seminar ライオンズ会則セミナー
コンベンションセンター
15:00-16:00 Resolution Committee Meeting 決議委員会 京王プラザ H
19:00-21:30 International President Banquet 国際会長晩餐会 京王プラザ H

Day4 10月26日(日)

- 08:00-09:30 The 3rd CC&DG Meeting 第三回議長&ガバナー会議

コンベンションセンター

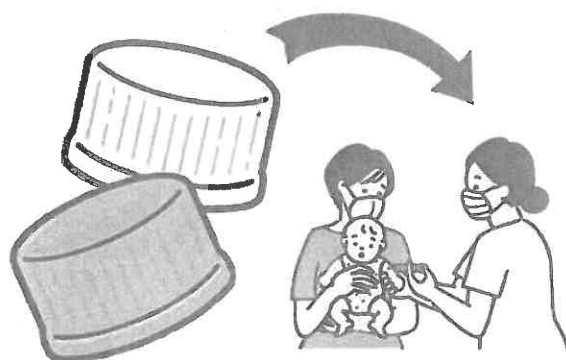
- 09:00-14:00 Bazar and Exhibition バザー&展示会 コンベンションセンター
10:00-11:30 Closing Ceremony 閉会式 コンベンションセンター
12:00-13:00 Delegate Luncheon 代議員昼食会 コンベンションセンター

アルミ缶及び ペットボトルキャップ 収集のお願い



アルミ缶収集

アルミ缶を収集し、売却したお金で苗木を
購入し、植樹いたします。



ペットボトルキャップ収集

半透明のゴミ袋をご用意していただき、ペット
ボトルキャップの収集をお願いいたします。

収集期間

2023 06/01 (木) - 2025 06/30 (月)

2022年11月に開催されました第59回OSEALフォーラム2022済州にて、第62回OSEALフォーラム2025札幌の開催が決定いたしました。

フォーラム開催までの間、331複合地区全体で環境・循環に取り組み、一丸となってフォーラムを盛り上げるべく、各クラブの皆様へ『アルミ缶及びペットボトルキャップ収集』へお力添えください。収集したペットボトルキャップはオブジェを数点制作し、フォーラム会場にて展示いたします。展示後は『NPO法人 世界の子どもにワクチンを』を通じて寄付いたします。

※アルミ缶の収集に関しましては、株式会社マテック様にもご協力をいただいております。

◎ガバナー提出議案◎

◇第1号議案 次期(2024-2025年)キャビネットについて

提出理由:キャビネットのローテーションは、1 リジョンから 5 リジョンの順を堅持することとなっており、次期キャビネットを第 1 リジョンとする。

◇第 2 号議案 次期地区ガバナーの立候補者届について

提出理由:地区ガバナー立候補者資格については、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 4 項に定められております。

提出書類は別紙、立候補者届出書、推薦状、同意書と致します。

(別紙参照して下さい。)

◇第 3 号議案 次期第 1 副地区ガバナーの立候補者届出について

提出理由:次期第 1 副地区ガバナー立候補者資格については、ライオンズクラブ国際協会付則第9条第 4 項に定められております。

提出書類は、別紙立候補者届出書、推薦状とします。

(別紙参照して下さい。)

※—第 2 号議案・第 3 号議案—

所属クラブより、331-C地区キャビネット事務局に提出して下さい。

提出期限 2023年12月23日(土)まで

◇第4号議案 次期第2副地区ガバナー立候補者届出及び世話人について

提出理由:331-C地区 地区会則第7条第4項(3)の八の規定により、

第2副地区ガバナー候補者の資格は、クラブ会長を務めクラブ理事会構成員を2年以上経験し、ゾーンチェアパーソン、リジョンチェアパーソン、キャビネット幹事、キャビネット会計の何らかの役職経験があり、所属クラブの推薦、又は地区内の過半数の推薦を受けている者である。

331-C地区 地区会則第7条第4項(3)の第1及び第2副地区ガバナー候補者促進連絡会(世話人)のイ地区ガバナーは、第1及び第2副地区ガバナー候補者の公平で円滑な選出促進のために、元ガバナーの中より世話人数名を任命し、選出予定リジョン内に通知する。

提出書類は、別紙立候補者届出書、推薦状といたします。

(別紙参照して下さい。)

所属クラブより、331-C地区キャビネット事務局に提出して下さい。

提出期限 2023年12月23日(土)まで

◇第5号議案 次期ゾーンチェアパーソンの推薦について

提出理由:ゾーンチェアパーソンについての規定通り、

2023年12月23日(土)までに地区キャビネット事務局にご推薦下さい。

◇第6号議案 前期キャビネット四役のガバナーズアワードについて

提出理由:前函館キャビネット四役の功績を称えて地区ガバナーより、地区大会にて、ガバナーズアワードを贈呈致します。

推 薦 状

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区
地区ガバナー L 渡部 義男 殿

2024 年～2025 年度のライオンズクラブ国際協会 331-C 地区

地区ガバナー候補者として全会員の承諾を得て、_____ライオンズ
クラブ会員 L _____を推薦いたします。

年 月 日

第_____リジョン 第_____ゾーン

ライオンズクラブ

会長 _____ 印

幹事 _____ 印

会計 _____ 印

推 薦 状

2024～2025 年度 331-C 地区・地区ガバナーの候補者としてL にご推薦いたします。

年 月 日 第 リジョン 第 ゾーン ライオンズクラブ

会長 _____ 印
幹事 _____ 印
会計 _____ 印

ライオンズクラブ国際協会会則付則第9条4項による地区ガバナー候補者の資格条件

- (a) 所属単一地区または準地区内のグッド・スタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッドスタンディングの正会員であり、
- (b) 所属クラブの推薦、あるいは所属単一地区または準地区内過半数のクラブの推薦を受け、
- (c) 現在、所属地区の第1副地区ガバナーを務めている者でなければならない
- (d) 現在、第1副地区ガバナーが地区ガバナーに立候補しない場合のみ、あるいは地区大会の際に第1副地区ガバナー職が空席である場合のみ、本付則又は会則に定められている通りに第2副地区ガバナーに条件を満たしており、現在地区キャビネット構成員として追加に1年努めているか既に務めたクラブ会員は誰でも、上記(C)項の条件を満たしている。

注意：氏名と住所にはふりがなを必ずつけること。

331-C 地区

地区ガバナー立候補者氏名 _____
自宅住所 〒 _____ 会社電話番号 _____
職 業 _____ 所属クラブ _____
勤務先住所 〒 _____ LC
キャビネット幹事・予定者氏名 _____ 所属クラブ _____
自宅住所 〒 _____ LC
キャビネット会計・予定者氏名 _____ 所属クラブ _____
自宅住所 〒 _____ LC

地区ガバナー立候補者略歴

趣味：

ライオンズクラブ入会日： _____

正会員 _____ 年 あるいは創立会員 _____

受賞の有・無

出席賞 _____

キー賞 _____ (_____ 年)

シェブロン賞 _____ (_____ 年)

その他 _____

配偶者の有・無 _____

子ども数 _____

大会用バッジを作成する関係上、既婚の場合は下記にも夫人の氏名をふりがなつき、楷書にて記入してください。

(_____)

国際会則付則第9条4項の規定に伴う資格条件

a. グッドスタンディングである。

b. 所属クラブで推薦した例会開催日

_____ 年 月 日

c. ① 所属クラブ会長

_____ 年度

所属クラブ理事会構成員(2年)

_____ 年度

_____ 年度

② キャビネット構成員

キャビネット幹事

キャビネット会計

リジョンチェアパーソン

_____ 年度

ゾーンチェアパーソン

_____ 年度

③ 第1副地区ガバナー

_____ 年度

第2副地区ガバナー

_____ 年度

署名 _____

2024年～2025年 331-C 地区・地区ガバナー立候補者届出書

写 真 (5センチ×5センチ) パスポートサイズ	届出年月日		年 月 日		
	所 属		R Z ライオンズクラブ		
	ふりがな 立候補者氏名				
	生年月日		年 月 日		
	自 宅	住所	〒		
		電話			
	勤 務 先	住所	〒		
名称			役職名		
電話					
(国際会則付則第9条4項(c)示す「地区ガバナー候補者の資格」については、特に明記されたい)					
ライオン暦(年度順) 入会:クラブ役職 準地区:複合地区役職 受賞アワード					
職 歴 (主なものを列記し併せてその役職を併記されたい)					
最 終 学 歴					
公 職 叙 勲 賞 罰					
家 族 (同居親族の氏名、 年齢及び職業)					
(歳)					
現在、主として勤務している 法人・団体等の内容 (商号・本店・資本金等)					
ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区 地区ガバナー L 渡部 義男 殿 私儀、ライオンズクラブ国際協会 331-地区・地区ガバナーとして立候補いたしたく、クラブ推薦状を添え、提出いたします。					

印

推薦状

2024～2025年度 331-C 地区・第1副地区ガバナーの候補者としてL _____ をご推薦
いたします。

年 月 日 第 リジョン 第 ゾーン ライオンズクラブ

会長 _____ 印

幹事 _____ 印

会計 _____ 印

ライオンズクラブ国際協会会則付則第9条6項(b)による第1副地区ガバナー候補者の資格条件

1. 所属単一または準地区内のグッド・スタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッドスタンディングの正会員であり、
2. 所属クラブの推薦、あるいは所属単一または準地区内過半数のクラブの推薦を受け
3. 現在、第2副地区ガバナーを務めている者でなければならない。
4. 現職の第2副地区ガバナーが第1副地区ガバナーに立候補しない場合のみ、あるいは地区大会の際に第2副地区ガバナー職が空席である場合のみ、本付則又は会則に定められている通りに第2副地区ガバナーの条件を満たしているクラブ会員は誰でも上記(3)の条件を満たしているものとする。

注意：氏名と住所にはふりがなを必ずつけること。

331-C 地区

第1副地区ガバナー立候補者氏名 _____ (_____)

自宅住所 〒 _____

職業 _____ 電話番号 _____

勤務先住所 〒 _____

所属クラブ _____ LC

キャビネット幹事・予定者氏名 _____

自宅住所 〒 _____

所属クラブ _____ LC

キャビネット会計・予定者氏名 _____

自宅住所 〒 _____

所属クラブ _____ LC

第1副地区ガバナー立候補者略歴

趣味： _____

ライオンズクラブ入会日： _____ 年 月 日 国際会則付則第9条6項(b)の規定に伴う資格条件

正会員 _____ あるいは創立会員 _____

a. グッドスタンディングである。

受賞の有・無

b. 所属クラブで推薦した例会開催日

出席賞 _____ 年 月 日

キー賞 _____ (_____ 年)

c. ① 所属クラブ会長

シェブロン賞 _____ (_____ 年) _____ ~ _____ 年度

その他 _____ 所属クラブ理事会構成員 (2年)

配偶者の有・無 _____ 有り _____ ~ _____ 年度

子ども数 _____ ~ _____ 年度

② キャビネット構成員

大会用バッジを作成する関係上、既婚の場合は
下記にも夫人の氏名をふりがなつき、楷書にて
記入してください。

- キャビネット幹事
- キャビネット会計
- リジョンチェアパーソン
- ゾーンチェアパーソン

_____ (_____) _____ ~ _____ 年度

署名 _____

注意：必要事項を記入の上、5×5センチの光沢 _____ 真2枚を添付して至急ご返送の程願います

2024～2025 年 331-C 地区・第1副地区ガバナー立候補者届出書

写 真 (5センチ×5センチ) パスポートサイズ	届出年月日		年 月 日	
	所 属		R Z ライオンズクラブ	
	ふりがな 立候補者氏名			
	生年月日		年 月 日	
	自 宅	住所	〒	
		電話		
	勤 務 先	住所	〒	
名称			役職名	
電話				
(国際会則付則第 9 条 6 項(b)示す「第1副地区ガバナー候補者の資格」については、特に明記されたい)				
ライオン暦(年度順) 入会:クラブ役職 準地区:複合地区役職 受賞アワード				
職 歴 (主なものを列記し併せてその役職を併記されたい)				
最 終 学 歴				
公 職 叙 勲 賞 罰				
家 族 (同居親族の氏名、 年齢及び職業)		(歳)		
現在、主として勤務している法人・団体等の内容 (商号・本店・資本金等)				
ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区 地区ガバナー L 渡部 義男 殿 私儀、ライオンズクラブ国際協会 331-地区・第1副地区ガバナーとして立候補いたしたく、クラブ推薦状を添え、提出いたします。				

推薦状

2024~2025 年度 331-C 地区・第 2 副地区ガバナーの候補者として L _____ をご推薦いたします。

年 月 日

第 リジョン 第 ゾーン

ライオンズクラブ

会長 _____ 印

幹事 _____ 印

会計 _____ 印

ライオンズクラブ国際協会会則付則第 9 条 6 項(c)による第 2 副地区ガバナー候補者の資格条件

1. 所属単一または準地区内のグッド・スタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッドスタンディングの正会員であり、
2. 所属クラブの推薦、あるいは所属単一または準地区内過半数のクラブの推薦を受け
3. 第二副地区ガバナー就任の時点で
 - (a) クラブ会長を全期又は過半数の期間、そして理事会構成員として更に 2 年以上勤め、かつ
 - (b) ゾーンチェアパーソン又はリジョンチェアパーソンあるいはキャビネット幹事及び(又は)会計として全期又は過半数の期間務めた者でなければならない。
 - (c) 上記のいずれも、同時に達成させることはできない。

注意:氏名と住所にはふりがなを必ずつけること。

331-C 地区

第 2 副地区ガバナー立候補者氏名 _____ ()

自宅住所 〒 _____

職 業 _____ 電話番号 _____

勤務先住所 〒 _____

所属クラブ _____ LC

キャビネット幹事・予定者氏名 _____

自宅住所 〒 _____

所属クラブ _____ LC

キャビネット会計・予定者氏名 _____

自宅住所 〒 _____

所属クラブ _____ LC

第 2 副地区ガバナー立候補者略歴

趣味: _____

ライオンズクラブ入会日: _____ 年 月 日 国際会則付則第9条6項(c)の規定に伴う資格条件

正会員 _____ あるいは創立会員 _____ a. グッドスタンディングである。

受賞の有・無 _____

b. 所属クラブで推薦した例会開催日

出席賞 _____ 年 月 日

キー賞 _____ (年) c. ① 所属クラブ会長

シェブロン賞 _____ (年) _____ ~ 年度

その他 _____ 所属クラブ理事会構成員(2年)

配偶者の有・無 有り _____ ~ 年度

子ども数 _____ ~ 年度

② キャビネット構成員

大会用バッジを作成する関係上、既婚の場合は

キャビネット幹事

キャビネット会計

下記にも夫人の氏名をふりがなつき、楷書にて

リジョンチェアパーソン

ゾーンチェアパーソン

記入してください。

_____ () _____ ~ 年度

署名 _____

注意:必要事項を記入の上、5×5センチの光沢白黒写真2枚を添付して至急ご返送の程願います

2024年～2025年 331-C 地区・第2副地区ガバナー立候補者届出書

<p style="text-align: center;">写 真 (5センチ×5センチ) パスポートサイズ</p>	届出年月日	年 月 日		
	所 属	R Z ライオンズクラブ		
	ふりがな 立候補者氏名			
	生年月日	年 月 日		
	自 宅	住所	〒	
		電話		
	勤 務 先	住所	〒	
名称			役職名	
電話				
<p style="text-align: center;">ライオン暦(年度順) 入会:クラブ役職 準地区:複合地区役職 受賞アワード</p>	(国際会則付則第9条6項(c)示す「第2副地区ガバナー候補者の資格」については、特に明記されたい)			
職 歴 (主なものを列記し併せてその役職を併記されたい)				
最 終 学 歴				
公 職 叙 勲 賞 罰				
家 族 (同居親族の氏名、 年齢及び職業)	(歳)			
現在、主として勤務している法人・団体等の内容 (商号・本店・資本金等)				
<p>ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区 地区ガバナー L 渡部 義男 殿 私儀、ライオンズクラブ国際協会 331-地区・第2副地区ガバナーとして立候補いたしたく、クラブ推薦状を添え、提出いたします。</p>				

推 薦 状

2023年 月 日

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区

ガバナー L 渡部 義男 殿

第 R 第 Z

ライオンズクラブ

会 長

印

2024～2025 年度、ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区キャビネット

第 R 第 Z ゾーンチェアパーソン候補者として、下記の当クラブ会員を推薦いたします。

所 属	ライオンズクラブ		
(ふりがな) 候補者氏名		生 年 月 日	西 暦 年 月 日
自 宅	住 所	(〒)	
	電 話		
勤 務 先	住 所	(〒)	
	名 称		
	電 話		
	F A X	(携帯)	
ライオン歴 (年度順) 入会年月日 クラブ役職 準地区・ 複合地区 役職等	年 月 入会		

推 薦 状

2023年 月 日

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区

ガバナー L 渡部 義男 殿

第 R 第 Z

ライオンズクラブ

会 長

印

2024～2025 年度、ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区キャビネット

第 R 第 Z ゾーン委員候補者として、下記の当クラブ会員を推薦いたします。

所 属	ライオンズクラブ		
(ふりがな) 候補者氏名		生 年 月 日	西 暦 年 月 日
自 宅	住 所	(〒)	
	電 話		
勤 務 先	住 所	(〒)	
	名 称		
	電 話		
	F A X	(携帯)	
ライオン歴 (年度順)	年 月 入会		
入会年月日 クラブ役職 準地区・ 複合地区 役職等			

【クラブ提出議案】

* 議案1号 第4R 第2Z 函館みなとライオンズクラブ *

2025年10月23日～26日に札幌市で開催される東洋東南アジアライオンズ(OSEAL・オセアル)フォーラムに付いてお尋ねいたします。

オセアルフォーラムの収支決算でもし欠損金が出た場合、会員に負担金が発生すると思いますが、331-C地区ではどの様に対応するのでしょうか。

今回の支援金の過去の福岡フォーラム・広島フォーラムの前例を元に算出と前期の第4回キャビネット会議資料に記載されておりますが、広島フォーラムでは約3,000万円の損失金が出たと聞いております、そういう事態に成ってからでは遅いと思われまます。

この様なご時世に会員にさらに負担を掛けて如何なものと思われまます。

* 提出議案なし *

函館LC、江差LC、北檜山LC、奥尻LC、函館北斗LC、木古内・知内LC、松前LC、函館一楽LC、小樽LC、余市LC、岩内LC、黒松内LC、小樽中央LC、倶知安LC、小樽みなとLC、ニセコLC、小樽うしおLC、室蘭LC、洞爺LC、伊達LC、登別LC、室蘭東LC、白老LC、登別中央LC、函館東LC、函館海峡LC、上磯LC、函館元町LC、函館臥牛LC、八雲LC、森LC、函館中央LC、函館グリーンLC、苫小牧LC、静内LC、新冠LC、苫小牧ハスカップLC、むかわLC、苫小牧中央LC、安平LC、厚真LC、苫小牧白鳥LC、

国際レベル資料

決議事項要約
国際理事会会議
北アイルランド・ベルファスト
2023年3月13日～16日

監査委員会

1. 委員会はライオンズクラブ国際協会内部監査部門から最新報告を受けた。引き続き行動計画のフォローアップと監視を行っていく。

会則及び付則委員会

1. 選挙抗議申立てを支持し、Dominique Vatan-Vanackere 第一副地区ガバナーを2023～2024年度地区ガバナーに任命した。
2. 117複合地区（ギリシア、キプロス）のリーダーに、ワーキンググループの名称案を出すよう、また、117-B地区（キプロス）のクラブとキプロスの地区未編成地域との間で二地域間プロジェクトを提案するように求めた。
3. 方針に反して協会を相手取り訴訟を起こしている元会員が、2023年5月31日までに訴訟を取り下げた場合、地区キャビネットやクラブでの過去の役職の記録を維持することを認めることを決議した。さらに理事会は、過去の理事会によって元地区ガバナーとして認められるべきでない判断された会員は、元地区ガバナーとして認めないことに同意した。
4. Swarn Singh Khalsa に過去の職歴の記録を維持したままでの再入会を認めること、ただし元地区ガバナーとして認めることは禁止することを決議した。
5. Mahendra Jain Mittal が過去のクラブでの職歴記録を維持したままライオンズクラブに再入会することを認めることを決議した。
6. 第三副会長候補推薦の手続きにおいて、諮問委員会が検討すべき基準を修正した。
7. 国際付則第2条第2項(a)(3)を改定し、推薦される候補者が35クラブ、会員数1,250人を満たす地区に所属していなければならないとする要件を取り除く改正案を提案した。
8. 地区ガバナーの任務の変更を提案する改正案を承認した。
9. 第一副地区ガバナーの任務の変更を提案する改正案を承認した。
10. 第二副地区ガバナーの任務の変更を提案する改正案を承認した。
11. リジョン・チェアパーソンの任務の変更を提案する改正案を承認した。
12. ゾーン・チェアパーソンの任務の変更を提案する改正案を承認した。
13. 割引会員をクラブの代議員数算出対象から除外する、「割引」会員種別を提案する改正案を承認した。

大会委員会

1. 2024年国際大会の現地参加登録料金表の調整を承認。大人登録料を引き上げ、登録取消料を引き上げたほか、大会ホテルの宿泊保証金の金額を、選択したホテルでの1泊分の料金を反映するものに調整した。

2. 国際大会のインターナショナルショーおよび総会での指定席の数を減らすため、理事会方針書第8章C項7の改訂を承認した。
3. インターナショナル・パレードの行進順序を調整するため、理事会方針書第8章C項6の改訂を承認した。
4. 国際大会の入札を、3月/4月理事会会議に加え、理事会の対面またはバーチャル会議においても検討・選択することができるように、理事会方針書第8章A項4の文言の改訂を承認した。
5. 2029年の大会開催地としてニューデリーの選定を取り消すことを承認した。

地区及びクラブ・サービス委員会

1. 3231-A1地区（インド）の29の無活動クラブを解散処分とした。
2. クラブ優秀賞を改訂し、会員数の純増とLCIFへの最低寄付額を要件とした。
3. 純増、または新クラブか支部の結成を要件とする地区優秀賞を改訂した。
4. ベトナム、イラク共和国、および1-CS地区（米国イリノイ州）のコーディネーター・ライオンを任命した。
5. 404-A1地区（ナイジェリア）と404-B1地区（ナイジェリア）の地区再編成案を、2023年国際大会の閉会をもって施行するものとして承認した。
6. 40複合地区（米国ニューメキシコ州）から提出された地区再編成案を、2025年国際大会の閉会をもって40-N地区と40-S地区を合併し40単一地区を形成するものとして承認した。
7. 標準版地区付則に規定される地区役員の任務の変更を承認した（2023年国際大会で改正案が採択されることを条件とする）。
8. 標準版地区会則に示される地区の目的を、会員増強の重要性を強調するものに改訂した。

財務及び本部運営委員会

1. 赤字となる2022～2023会計年度第3四半期の収支見通しを承認した。
2. ライオンズ・インターナショナル購買方針を改訂し、情報テクノロジー部が特定のソフトウェアやライセンスを更新する場合は例外的に協会のクレジットカードで処理できることを明確にした。これは対象プロダクトが独占業者からしか入手できず、更新がオンラインポータルを通じてしかできない場合にのみ適用される。
3. 理事会方針書11章を変更し、国際会長とともに事務総長が承認した場合、正当な理由があれば予備予算の計上を遅らせることができるようにすることを承認した。

リーダーシップ開発委員会

1. 2023～2024年度指導力育成国際研究会プログラムのスケジュールを確定した。
2. 2023年地区ガバナーエレクト・セミナーグループリーダー・チームを更新し、日本語グループのグループリーダーの後任として玉川孝協議会議長を含めることを承認した。

3. DGE セミナー・アソシエイトに関する理事会方針を改訂し、その役割を変更、選定基準に LCIP 認定を追加、および払い戻し対象となる旅費に米イリノイ州セントチャールズ Q センターでの 1~3 日目と大会での 4 日目の両方を含むものとした。
4. 第二副地区ガバナー (SVDG) および第一副地区ガバナー/地区ガバナーエレクト (FVDG/DGE) 研修プログラムに今後改訂を加え、SVDG 対象は 2024~2025 年度から、FVDG 対象は 2025~2026 年度から実施するというカリキュラム案を承認した。
5. 今年度 30,000 ドル、次年度約 50,000 ドルに上る DGE セミナー・アソシエイトの大会での 4 日目研修宿泊費および旅費の追加資金を含む、2022~2023 年度第 3 四半期予算見通しと 2023~2024 年度予算案を確認した。

長期計画委員会 (2023 年 3 月会議の報告)

1. ライオンズ国際戦略計画のプロジェクトチームからの報告として、新しい成長モデルについてのチームの提案を受けた。
2. 2027 年 7 月 1 日までにライオンズクラブ国際協会の会員数を 150 万人に増やす計画の作業草案を確認した。
3. 毎年、国際理事会会議 1 回を米国イリノイ州オークブルックで開催することについて討議した。
4. 現在および今後の国際理事会における各会則地域の代表数について検討する特別委員会の設立について討議した。
5. レオを会費を支払う会員に変えることのメリットと、参加、収入、リソースへのインパクト等、考慮すべき要素について討議した。
6. 世界的に増加しているニーズでありライオンズにとって奉仕の機会であるメンタルヘルスについて討議した。

マーケティング委員会

1. マーケティング部の 2022~2023 年度見通しと 2023~2024 年度予算を確認した。
2. 2023 年ライオンズ国際マーケティング・アワードの全会則地域受賞者を検討・承認した。
 - a. 会則地域 1 アンティグア・バーブーダ 60B 地区 アンティグア・ライオンズクラブ
 - b. 会則地域 2 カナダ A2 地区 フェンウィック・ライオンズクラブ
 - c. 会則地域 3 パナマ D1 地区 パリタ・ライオンズクラブ
 - d. 会則地域 4 イタリア 108-IA2 地区 ボスコ・マレンゴ・サンタクロセ・ライオンズクラブ
 - e. 会則地域 5 フィリピン 301-B1 地区 キャピズ・レオクラブ
 - f. 会則地域 6 ネパール 325-C 地区 ダーラン・ゴーパー・ユナイテッド・ライオンズクラブ
 - g. 会則地域 7 オーストラリア 291-C1 地区 シティ・オブ・アデレード・インク・ライオンズクラブ
 - h. 会則地域 8 チュニジア 414 地区 スファクス・タイナ・ライオンズクラブ

3. ライオンズ国際戦略計画の一環として「ライオンズ・インターナショナル」ブランドへの移行状況を確認した。
4. 2022～2023年度のマーケティング補助金プログラムの最終状況を確認した。今年度は35件の補助金が授与され、プログラム用資金を使い切った。
5. ローズ・パレードの提案書を確認し、プログラム資金として60,000ドルを承認した。これに加え委員会は、ライオンズ・フロート委員会に対し、4複合地区との協力で15,000ドルのマーケティング補助金を申請して追加資金とするよう提案した。
6. 次年度のクラブ・マーケティング戦略計画、平和ポスター及び作文コンテスト、ならびにSNSパフォーマンス、PR活動、グローバル広告の結果を含む、多数のマーケティング意識高揚プログラムについて確認した。
7. ライオン誌の理事会方針を確認し、理事会方針書16章の、国際版が「収支計算報告書」ワークシートに記入しなければならないとする規定を取り除いた。印刷、契約、制作の領収書や財務報告書は引き続き提出が必要。
8. 国際プロトコールの調整とレオ諮問パネルメンバーに関する提案について検討した。本件は7月まで保留された。
9. 理事会方針の事務的変更を検討・承認した。

会員増強委員会

1. 国際100周年ライオンズクラブを廃止し、2022～2023年度の終了をもって同クラブを閉鎖することを決議した。
2. 会則地域4および会則地域7のレオクラブ諮問パネルの空席を補充した。2023～2025年パネリスト名簿はこれで完成した。
3. 3234-D2地区について議論した結果、割引会員や生年月日など、ライオンズ会員のデータが確認できるまで、地区を活動停止のままとし、ナワル・マル元国際理事をコーディネーター・ライオンとして再任した。
4. 3234-D2地区の第一および第二副地区ガバナーの役職は空席とした。活動停止処分が解除されたら、地区はこれらの役職の選挙を行うことができる。Parmanand Sharma ライオンは、5年間地区の役職に就くことが禁じられる。
5. シェブロンに加え、25年または50年奉仕したライオンズに贈られるピンを追加した。
6. レオクラブ・プログラムの方針を更新し、方針を現在の慣行に合わせた。
7. 理事会方針書10章のトルコの綴りを「Turkey」から「Turkiye」に変更した。
8. 理事会方針書10章の国名を「Swaziland」（スワジランド）から「Eswatini」（エスワティニ）に変更した。

奉仕事業委員会

1. 青少年プログラムに重点を置いた国連機関へのライオンズ・インターナショナルの代表として、1～2名のレオまたはレオライオンを加えることを決議した。
2. 理事会方針書第1章「奉仕」を改訂し、ライオンズ・インターナショナルの追加のグローバル重点分野として災害援助、人道支援、青少年を加えることを決議した。

3. 奉仕の受益者数、奉仕アクティビティの数、奉仕を報告しているクラブの割合等、アクティビティ報告に関する報告を受けた。
4. テクノロジー委員会と合同会議を開き、Salesforceプロジェクトの進捗と、アクティビティ報告への影響の可能性について討議した。
5. 国連ライオンズ・デーの行事や各種アドボカシー・デーを含む、アドボカシーの取り組みに関する最新報告を受けた。
6. 難民・避難民への支援や、「思いやりは大切なこと」奉仕アワードを含む、グローバル重点分野および奉仕プログラムについて討議した。
7. 2022 年期ライオンズ&エレバンスヘルス・ボランティア・デーの報告を受けた。
8. クラブ奉仕委員長の養成キャンペーンに関する最新報告を受けた。
9. インドの交通事故の問題と、ライオンズがいかにか支援できるかについて、報告を受けた。

テクノロジー委員会

1. テクノロジー部の 2022～2023 年度第 3 四半期見通しと 2023～2024 年度予算案を確認した。
2. 2023 年ボストン国際大会および選挙のサポートについて最新報告を受けた。
3. プライバシー保護の取り組み、一般データ保護規則（GDPR）に関連して講じられている継続的な措置に関する最新情報を確認し、正式な認証を受けずに ISO（国際標準化機構）27001 コンプライアンス・プロジェクトを継続するようスタッフに要請した。
4. Salesforce プロジェクトの包括的な最新報告を受けた。スタッフは、2023 年 7 月後半の会員向けローンチを引き続き目指しつつ、遅延につながりそうなくつかの要素を認めた。
5. デジタル会員体験への変更が会員に与える影響を最小限に留めるため、必要となるチェンジマネジメントと会員エンゲージメントについて討議した。
6. マーケティング委員会と合同委員会を開き、重要なイニシアチブの現状を検討した上で、Salesforce プラットフォームと新しい Lion Portal デジタル体験のデモを受けた。
7. 奉仕事業委員会と合同会議を開き、Salesforce プロジェクトの進捗と、アクティビティ報告への影響の可能性について討議した。
8. 地区及びクラブ・サービス委員会と合同会議を開き、Salesforce プロジェクトの進捗と、協力が必要となるプロジェクトの主要分野の擦り合せについて討議した。

上記要約のいずれかに関する詳細は、協会ウェブサイト www.lionsclubs.org でご覧いただくか、法務部にお問い合わせください。

2023年7月4-6日国際理事会決議及び国際大会代議員投票結果による国際会則及び付則改正について

7月にボストンで国際開催に先立ち開催された国際理事会及びボストン国際大会代議員投票によって可決された国際会則付則改正について、その概要のうち重要と思われる点について以下の通りご報告いたします。なお、以下は暫定的な翻訳に基づいて必要な情報を整理したものです。正式な翻訳による決議要約は追って国際協会ウェブサイトからご確認いただけます。また、追ってライオン誌に決議要約が掲載されますのでご確認ください。

1. 委員会は、国際理事会代表検討特別委員会（アドホック委員会）を2023-2024年度に設置することを承認【会則付則委員会】 追って、会則地域5オセアルの委員は韓国のジュンヨル・チョイ元会長が任命を受けた。
2. 委員会は、2024年の国際大会閉会時にキプロスを暫定地区135とし、ロバート・レトビー元国際理事がこのコーディネーター・ライオンを務めることを承認【会則付則委員会】
3. 委員会は韓国に同国の国内財団として Korea Council of Lions Clubs Foundation（韓国ライオンズクラブ連合会財団）を設置することを承認【会則付則委員会】
4. 国際大会の際に、ライオンズは指定された代議員ホテルに宿泊する必要はなく、各自国際大会指定ホテルから宿泊ホテルを選択することが可能となるように、理事会方針書第8章を改正することを承認【大会委員会】
5. 複合地区・準地区での大会委員長任命基準を確認し、その任命と入力手続きが簡略化されることをIT委員会に依頼することを決議【大会委員会】
6. 2023-2024年度コーディネーターライオンの任命を決議。後藤隆一元国際理事（MD333）はモンゴルのコーディネーターライオンに再任。【地区およびクラブサービス委員会】
7. 地区および複合地区のマーケティング委員長の責務を改正し、国際マーケティングアワードへの申請手続きを明確化することを承認。【地区およびクラブサービス委員会】
8. 新クラブ結成を促すように、標準版地区会則及び付則のリジョンおよびゾーンに関する規定の改正を承認【地区およびクラブサービス委員会】

→改正された該当の規定は以下の通り。

第4項 リジョン及びゾーン。

- a. 構成。地区キャビネットの承認があり、かつクラブ、地区、国際協会にとって最善である場合に、地区ガバナーはリジョン及びゾーンを変更することができる。地区は、2つ以上のゾーンにより構成されるリジョンに分けることが出来、そのゾーンは通常4から8のクラブから成るが、ゾーンは新たに結成されたクラブを含める際にはいつでもクラブ数を拡大することができる。

9. 地区グローバルアクションチームのメンバーおよび LCIF 地区コーディネーターは、地区キャビネットの投票権を有する一員とすることを規定する内容に標準版地区会則及び付則を改正することを承認【地区およびクラブサービス委員会】

10. 地区および複合地区が再編成提案を提出する際に、その提案を所属クラブに事前通知する日数を60日から30日に変更することを承認。【地区およびクラブサービス委員会】

11. 2024年第一副地区ガバナー・地区ガバナーエレクトセミナーグループリーダーを承認。日本語クラスのグループリーダーは浜島清美元ガバナー（MD334）

12. 理事会方針書第14章を改正し、地区ガバナーエレクトセミナーグループリーダーの資格をより明確な表現にすることで、任命を受けるグループリーダーが、その最初から任務終了までの期間を通じて、国際理事または国際第3副会長候補者として資格認定を受けないことを承認。【リーダーシップ開発委員会】

13. 地区 GET コーディネーターが伝統的クラブもスペシャルティクラブも合わせて新結成する努力を行うことを奨励し、地区におけるスペシャルティクラブ・コーディネーターの役職を終了することを承認。【会員増強委員会】

14. すべての会則地域で純増を実現しつつ、全会員数150万人を達成する会員拡大のイニシアチブであるミッション1.5の開始を承認。【会員増強委員会】

15. ミッション1.5をサポートする内容にグローバルアクションチーム方針を改正し、これによりGATサクセスストーリー補助金とGAT委員長メダルの両プログラムを終了する。

■ 国際会則付則改正

1. 第三副会長の資格要件から最低地区要件を削除することを承認し、国際付則第2条2項(a)(3)を全文削除し、続くすべての項番を適宜繰り上げる。有資格の候補者は、他のすべての資格要件が満たされていれば、どの地区からであっても立候補が可能となる。

2. 国際理事の資格要件から最低地区要件を削除することを承認し、国際付則第2条3項(c)を全文削除し、続くすべての項番を適宜繰り上げる。有資格の候補者は、他のすべての資格要件が満たされていれば、移行地区や暫定地区を含むどの地区からであっても立候補が可能。

本件は、第三副会長および国際理事の資格要件の問題であり、正地区となる要件が35クラブ1250名の会員数であることについての改正ではありませんのでご注意ください。

3. 国際付則第11条7項を改正し、「準会員、」と「名譽会員」の間に「割引会員、」を含め、国際協会が提供するいずれかの割引プログラムの結果として会費の割引を受ける会員のために、別個の会員種別を設けることを承認。この改正は、2024年1月1日から適用される。

割引会員は、新たな会員種別として新たに国際会則上規定されます。公式通達上は、この改正について「

新しい会員種別を設けると、地区大会や、複合地区大会、国際大会におけるクラブの代議員総数を、割引会費を支払っている会員の数によって増やすことができなくなる。」とのみ説明されておりましたが、その内容について確認しましたところ、以下の通りです。

■「割引会員」は、クラブ会則付則上以下のように定義されます。

割引会員：家族会員、学生会員その他の国際協会のプログラムに参加した結果、割引または減額された国際会費を支払うクラブ会員で、当クラブの会員であることを希望し、かつ割引対象となる基準を満たす会員。その会員資格はクラブ理事会によって確認・承認を受ける。割引会員は地区または国際の役職を務めることが出来るが、その際にはクラブが規定する会費を支払う場合がある。この会費には地区費、国際会費も含まれる。この種別の会員はクラブ代議員を算出する際の母数には含まれない。

さらに、以下の点を確認いたしました。

- 「割引会員」は、上述の通りクラブ理事会の承認を受ければ、クラブ役員、地区役員、国際役員を務めることはできる。
- 「割引会員」は、クラブ代議員を算出する際の母数には含まれないが、割引会員自身がクラブ代議員となって一票を投じることについては制約はなく、代議員となることが出来る。
- 割引会員となるか、クラブ代議員算出の母数となる会員となるかの基準は、12月31日現在の会員名簿に基づいて1月に発行される下半期会計計算書において、請求され支払われ

た会費が割引会費か否かで決定される。つまり、種別を変更したい場合にはこの時までに変更をする必要がある。

2024年1月1日からの発行に先立ち、10月頃にこの改正についての通知が行われる予定です。

4. 国際付則第10条2項(a)の既存の文言を全文削除し、以下と差し替えることを承認。この改定により、今後国際役員は会員拡大と指導力育成など、その任務の内容が明確となる。

地区ガバナーは、本協会の国際役員として、又国際理事会の全般的監督のもとに、所属地区において国際協会を代表する。さらに、地区における最高運営責任者として、地区キャビネットを直接指導監督する。具体的な任務は次のとおりである。

- (1) 地区における会員増加につながるよう、本協会の目的を推進する。
- (2) 地区レベルのグローバル・アクション・チームを監督すると共に、他の地区役員に対し、会員増強及び新クラブ結成を積極的に支援するよう働きかける。
- (3) 以下の分野における各地区目標の達成に焦点を当て、それに向けて取り組むための現行の地区行動計画を監督する。
 - a. 新クラブを結成する。
 - b. 会員純増を達成する。
 - c. 効果的なクラブ運営を徹底する。
 - d. クラブレベルと地区レベルでリーダー育成と技能開発を提供する。
 - e. 有意義な人道支援奉仕を実施し報告するよう各クラブに奨励する。
 - f. ライオンズクラブ国際財団を支援・推進し、ライオンズクラブ国際財団へのクラブと会員による寄付を奨励する。
- (4) 標準版地区付則に定められる通りに地区の運営管理を監督する。
- (5) 各クラブが、国際会則及び付則に従って運営し、会員維持率を向上するアクティビティを支援し、協会におけるグッドスタンディングを保つよう、指導する。
- (6) 地区大会、キャビネット会議及び地区のその他会議に出席した場合には、その議長を務める。
- (7) 国際理事会が要請するその他任務を遂行する。

さらに、国際付則第10条2項(b)の既存の文言を全文削除し、以下と差し替える。

第一副地区ガバナーは、地区ガバナーの指導監督のもとに、地区ガバナーの最高運営補佐役を務める。具体的な任務は次のとおりである。

- (1) 地区における会員増加につながるよう、本協会の目的を推進する。
- (2) 現行の地区行動計画の成功に向けて積極的に努力する。
- (3) 地区ガバナー及び第二副地区ガバナーとともに、地区の強みと弱みを確認した上で、地区目標の達成に焦点を当てそれに向けて取り組むための、進行中の地区計画をさらに調整・推敲する。

(4) 翌年度、地区目標を達成するための行動計画を策定・実施できるよう、極めて優れたチームを特定して備える。

(5) クラブ役員と密接に協力して未来の地区役員を特定する。

(6) 地区ガバナーによって、または国際理事会が定めた方針によって課される職務やその他の指示を遂行する。

(7) 地区ガバナーの要請に従って、適宜地区委員会を監督する。

(8) すべてのキャビネット会議に積極的に参加し、地区ガバナー不在の際には、すべての会議において議長を務める。

(9) 必要に応じてガバナー協議会会議に参加する。

(10) 地区予算作成に協力する。

さらに、国際付則第10条2項(c)の既存の文言を全文削除し、以下と差し替える。

第二副地区ガバナーは、地区ガバナーの指導監督のもとにある。具体的な任務は次のとおりである。

(1) 地区における会員増加につながるよう、本協会の目的を推進する。

(2) 現行の地区行動計画の成功に向けて積極的に努力する。

(3) 地区ガバナーの指示のもと、リジョン及びゾーン・チェアパーソンと地区との橋渡し役を務め、クラブの健康を支えるためリジョン／ゾーン運営を成功させられるよう努力する。

(4) クラブの発展をサポートする情報資料に精通する。

(5) 地区ガバナーの職に備える。

(6) 地区ガバナーによって、または国際理事会が定めた方針によって課される職務やその他の指示を遂行する。

(7) 地区ガバナーの要請に従って、適宜地区委員会を監督する。

(8) すべてのキャビネット会議に積極的に参加し、地区ガバナー及び第一副地区ガバナー不在の際には、すべての会議において議長を務める。

(9) 地区予算作成に協力する。

さらに、国際付則第10条2項(d)の既存の文言を全文削除し、以下と差し替える。

リジョン・チェアパーソン職が活用された場合には、地区ガバナーの指導監督のもとに、リジョンの最高運営責任者となる。具体的な任務は次のとおりである。

(1) 地区における会員増加につながるよう、本協会の目的を推進する。

(2) 現行の地区行動計画の成功に向けて積極的に努力し、クラブとゾーンの参加を促す。

(3) リジョン内のゾーン・チェアパーソンの活動並びに地区ガバナーより割り当てられる地区委員長の活動を監督する。

- (4) クラブの強みと弱みを特定し、増強と、リーダーシップの向上と、有意義な奉仕を促すことで、クラブの健康を支える。
- (5) 地区の運営に精通し、次の役職に進むために必要なリーダーシップ技能を磨く。
- (6) 地区役員によって、または国際理事会が定めた方針によって要請される職務や指示を遂行する。

さらに、国際付則第10条2項(e)の既存の文言を全文削除し、以下と差し替える。

地区ガバナー及び（又は）リジョン・チェアパーソンの指導監督のもとに、ゾーンの最高運営責任者を務める。具体的な任務は次のとおりである。

- (1) 地区における会員増加につながるよう、本協会の目的を推進する。**
- (2) 現行の地区行動計画の成功に向けて積極的に努力し、クラブの参加を促す。**
- (3) ゾーン内における地区ガバナー諮問委員会委員長を務め、同委員長として同委員会の定例会議を招集する。**
- (4) クラブの強みと弱みを特定し、増強と、リーダーシップの向上と、有意義な奉仕を促すことで、クラブの健康を確かなものとする。**
- (5) 地区の運営に精通し、次の役職に進むために必要なリーダーシップ技能を磨く。
- (6) 地区役員マニュアル及びその他を通して国際理事会が要求するその他の任務を遂行する。

日本レベル資料



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
日本ライオンズ発行<2023-24-会-M2>

(2023-2024 年度)

第2回会則委員会 (WEB) 議事要録

◎日 時： 2023年9月21日 (木) 10:00-12:00

◎システム： ZOOMシステム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ：

理 事 長 田名部 智之 (八戸 LC)

委 員 長 (MD333 前協議会議長)

松本 宰史 (南房総 LC)

副 委 員 長 (MD335 協議会議長)

中谷 豊重 (岸和田 LC)

専 務 理 事

増澤 義治 (諏訪湖 LC)

各複合地区会則委員長：

3 3 0 複合地区会則委員長

細川 孝雄 (東京赤坂 LC)

3 3 1 複合地区会則委員長

馬場 哲也 (函館東 LC)

3 3 2 複合地区会則委員長

荒川 友成 (郡山西 LC)

3 3 3 複合地区会則委員長

岩沼 忠伺 (千葉ネオ LC)

3 3 4 複合地区会則委員長

野村 善弘 (岡崎竜城 LC)

3 3 5 複合地区会則委員長

小林 寛 (姫路中央 LC)

3 3 6 複合地区会則委員長

松岡 諒 (福山久松 LC)

3 3 7 複合地区会則委員長

高野 正勝 (佐賀葉がくれ LC)



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
日本ライオンズ発行<2023-24-会-M2>

① 開会宣言

松本会則委員長より開会の宣言。

② 一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶

田名部理事長よりご挨拶。

③ 出席者確認

④ 議事録作成人の指名

・MD332 荒川委員長・MD336 松岡委員長が指名された。

主要議案：

1. 前回議事録の確認

松本委員長より前回議事録の確認事項について説明。

松本委員長から、今期の当委員会の活動について、役員必携発行後、コンプライアンス委員会の件、ポケット版必携の改訂の件が主要な議題となる旨説明。

2. 2023-24年度 『役員必携』発行について

・主な改定箇所について

松本委員長より、主な改正箇所の説明があった。主な改正箇所は次のとおり。

- (1) 国際本部、太平洋アジア課、OSEAL調整事務局についての記載を第1編に集約した。
- (2) 初の有色人種会員である黒川直也氏（ホノルルLC）について追記した。
- (3) GAT、GMAの説明を追記した。
- (4) 割引会員について追記し、これに伴い、学生会員とレオライオンのプログラムについても追記した（レオライオンの記述はレオライオン育成の観点からも必要と判断）。
- (5) OSEAL調整事務局による会計ウェビナーの研修資料とクラブ会計予算書・決算書の見本を掲載（予算書決算書の見本は数年前まで掲載されていた



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
日本ライオンズ発行<2023-24-会-M2>

が、現在は削除されていた。初心者のために役立つため、再掲載した。)

・発行スケジュールについて

松本委員長より、来週には三校が出校され、9月30日と10月1日に委員長が最終確認を行い、印刷に回すこと、10月中には印刷を終え、10月末には各地区へ発送する予定であることを説明。

・頒布単価・発行予定部数について

田名部理事長から、頒布単価は600円とすることが理事会で決定されたことが報告された。

なお、増澤専務理事より、凸版印刷の見積もりでは総額約300万円となっているが、送料が50万円程度になる見通しであるため、総額350万円程度と予想されると補足。

現在、合計で1万0281冊の予約があることを確認。

次のとおり、質疑応答があった。

MD333 岩沼委員委員長 MD335 小林委員委員長

：配布時期は期が変わる前にすべきである。今期も4月に再度、発行する方向で考えて欲しい。

→松本委員長：今後の課題とする。

MD330 細川委員長：単価600円で発行が約1万部だとすれば、見積もりが約300万円なので利益が約300万円になるが、この利益はどのように処理されるのか。

→松本委員長：一般会計に入る。社団の運営費に充てられる。近年、社団の運営費は年間300万円程度の赤字になっているので、この赤字を補填できる。

MD330 細川委員長：社団の会計について疑問があり、330複合地区は賛助金の支払



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ソリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
日本ライオンズ発行<2023-24-会-M2>

いを保留している。同複合地区から質問状を送付しているが、回答はどうなっているか。

→田名部理事長：質問状に対し、回答することを理事会で決議した。早ければ、今月中に回答が送付されると思われる。

3. 協議および確認事項

・ボストン理事会及び国際大会決議事項要約について

要約を確認した。

松本委員長より、次の点について補足説明があった。

- (1) 会則及び付則委員会では、第二副地区ガバナーの選任問題についての審議が多かった。
- (2) 財務委員会に関連し、役員必携に国際本部やLCIFの決算報告を掲載しているが、掲載不要なのではないかという意見があった。しかし、和訳は役員必携にしか載っていないため、引き続き、掲載する。
- (3) マーケティング委員会は、以前はマーケティング・コミュニケーション委員会と呼ばれていたが、変更されている。
- (4) テクノロジー委員会の関連で、現在のMy LionがLion Portalに変更されることになっている。クラブの報告方法も変わるため、次回の役員必携にはこの点を反映させる必要が出てくるはずである。

・コンプライアンス委員会の立ち上げについて

田名部理事長より、会員による誹謗中傷、トラブル、会則解釈の混乱などに対応するため、理事会内委員会としてコンプライアンス委員会を設置する話を前年度より引き継いでいる。会則委員会でルールやガイドラインを今年度中に決めて欲しいとの説明があった。

松本委員長より、罰則が無い中で、禁忌事項とされている怪文書配布などの問題が実



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
日本ライオンズ発行<2023-24-会-M2>

際に起こっており、大きな問題となっていること、会員間のトラブルについて裁判で争うことも禁止されており、あくまで話し合いで解決されるべきこと、これらを三役研修会で徹底されるべきこと、コンプライアンス委員会については年明けに議論していきたいことなどが補足で説明された。

次のとおり、質疑応答、意見があった。

MD333 岩沼委員長：コンプライアンス委員会設置は地区内の問題のためなのか、日本Lの問題のためなのか。原因があるから結果があると見ている。日本Lに対する批判に蓋をするためなのであれば、設置に反対する。

→松本委員長：原因を直視して改めるべきところは改める。少数意見も大事である。

MD336 松岡委員長：コンプライアンス委員会と既存の紛争処理手続きやステータスクオとの関係性が分からない。コンプライアンス委員会の役割は何か。

→松本委員長：既存の紛争処理手続きに乗せても解決できないという問題がある。既存の制度の補足的な役割（注意や勧告を出すなど）を担う。実効性担保については、八複合連名で国際理事会に紛争処理を促すなどを想定している。基本的には、話し合いで紛争を解決したい。

MD333 岩沼委員長：333複合地区内で現にトラブルが発生しているが、対応は不可能と思われる。

→田名部理事長：コンプライアンス委員会是对処療法的なものではないし、臭いものに蓋をする趣旨でもない。日本Lに対する不満や問題提起については、今期、丁寧に対応していく。ライオンズクラブは、単年で役員任期が終わるため、連続性を持たせるために今期中にガイドラインを作成したい。罰則を持ってネガティブに対応するのではなく、複合の各委員長連名で正しい方向に導くようなポジテ



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
日本ライオンズ発行<2023-24-会-M2>

イブな対応を考えている。

MD335 小林委員長：紛争は正義と正義の戦いであり、コンプライアンス委員会がそこに入っていくのは反発を招き、危険である。近年はインテリジェンスという側面がガタガタになっていると感じている。意味の無い委員会が多すぎる。

4. その他

松本委員長より、2人目以降の家族会員も正会員であるところまで説明してきたが、今後は割引会員に分類されること、割引会員は代議員数算出のための分母には入らないが、代議員として投票したり、地区役員に就任できることなど、注意が必要である旨説明があった。

荒川委員から、役員必携は来期の三役にも渡したいので、来年4月に増刷して発行して欲しいと要望があり、この要望と前記した岩沼委員と小林委員の発刊時期についての意見を踏まえ、松本委員長が来年の4月にも追加注文を受けると回答した。

・次回開催予定について

第3回会則委員会 10/19(木) 10:00-12:00

⑤ 閉会挨拶

中谷副委員長より閉会の挨拶。

2023年9月21日

議事録作成人

MD332 会則委員会委員長 荒川 友成

MD336 会則委員会委員長 松岡 諒

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ 会則委員会委員長 松本 宰史



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総 M1>

2023-2024 一般社団法人 日本ライオンズ 第 1 回定時社員総会 (全国ガバナー会) 議事録

◎日時：2023 年 8 月 8 日 (火) 1:30~4:00 ◎場所：AP 日本橋 6F G ルーム会議室

出席者リスト

2023 年 8 月 8 日 12:00 現在

2023-24 年度正社員【地区ガバナー】

- 330-A 地区ガバナー 阿部かな子
- 330-B 地区ガバナー 石田真一
- 330-C 地区ガバナー 田中雄一 ※
- 331-A 地区ガバナー 設楽幸子
- 331-B 地区ガバナー 藤原回向 【欠席】◎
- 331-C 地区ガバナー 渡部義男 【欠席】◎
- 332-A 地区ガバナー 大矢進
- 332-B 地区ガバナー 高橋寛
- 332-C 地区ガバナー 渡邊俊弥
- 332-D 地区ガバナー 門馬弘
- 332-E 地区ガバナー 西村公夫
- 332-F 地区ガバナー 石垣勝康 【欠席】◎
- 333-A 地区ガバナー 鈴木壽男
- 333-B 地区ガバナー 後藤一男 【欠席】◎
- 333-C 地区ガバナー 北野淳子 【欠席】◎
- 333-D 地区ガバナー 福田勝巳 【欠席】◎
- 333-E 地区ガバナー 齊藤正行
- 334-A 地区ガバナー 木野村好己 【欠席】◎
- 334-B 地区ガバナー 川嶋富士雄 【欠席】◎
- 334-C 地区ガバナー 前田磨 【欠席】◎
- 334-D 地区ガバナー 小出進
- 334-E 地区ガバナー 喜多友一 【欠席】◎
- 335-A 地区ガバナー 山中健
- 335-B 地区ガバナー 西尾良典
- 335-C 地区ガバナー 山本忍
- 335-D 地区ガバナー 廣田晃一
- 336-A 地区ガバナー 山崎勝彦
- 336-B 地区ガバナー 藤井信英 【欠席】◎
- 336-C 地区ガバナー 三口巖
- 336-D 地区ガバナー 山崎もとみ
- 337-A 地区ガバナー 中村巧 【欠席】◎
- 337-B 地区ガバナー 下堂菌一将 【欠席】◎

- 337-C 地区ガバナー 古賀義行 【欠席】◎
- 337-D 地区ガバナー 新里正雄 ※
- 337-E 地区ガバナー 伊藤竜彦 【欠席】◎

2022-23 年度正社員【理事会理事】

- 一般財団法人日本ライオンズ理事長 不老安正
- 2022-23 一般社団法人日本ライオンズ理事長 村木秀之

【2023-24 年度 協議会議長】

- MD330 議長 田中雄一
- MD331 議長 松浦淳一
- MD332 議長 栗村安弘
- MD333 議長 星野勝美
- MD334 議長 戸祭宏樹
- MD335 議長 中谷豊重
- MD336 議長 澤辰水
- MD337 議長 新里正雄

【2022-23 年度 協議会議長】

- MD330 議長 吉本晴夫
- MD331 議長 須藤敏幸
- MD332 議長 田名部智之
- MD333 議長 松本幸史
- MD334 議長 増澤義治
- MD335 議長 吉村弘吉
- MD336 議長 池原堅
- MD337 議長 玉川孝

【2022-24 年度監事】 2 年任期の 2 年目

- MD330 元議長 今井文彦
- MD331 元議長 佐々木忠康 【欠席】◎
- MD334 元議長 橋本勝策
- MD336 元議長 岡村聖爾 【欠席】◎

◎議決権行使書

正社員総数 55 名 (出席 38 名・欠席 17 名)

※DG、CC 兼任



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総M1>

【正社員】 第1回全国ガバナー会出席者数 内訳：

	出席	欠席*	小計
DG	18	15	33
理事	18	0	18
監事	2	2	4
<hr/>			
	38	17	55 (名)

議決権行使書

第1号議案	2022-23 計算書類及び事業報告の承認 (監事監査報告)	賛 17	否 0
第2号議案	2023-24 事業計画案承認の件	賛 17	否 0
第3号議案	2023-24 収支予算案承認の件	賛 17	否 0
第4号議案	2023-24 新理事・新監事の選出の件	賛 17	否 0
第5号議案	2023-24 年度社員総会日程案の件	賛 17	否 0



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総 M1>

オブザーバー

【2022-23年度 名誉理事長】

2015-2016 国際会長 山田 實 紘 【欠席】

【2022-23年度 国際理事 および LCIF 理事】

2022-24 国際理事 鶴 嶋 浩 二 【欠席】

2023-25 国際理事 濱 野 雅 司

2023-25 国際理事 城 阪 勝 喜

LCIF 理事 鈴 木 誓 男 【欠席】

【2022-23年度 参与】

2022-2023 年度 G A T 日本全域エリアリーダー/G S T 及び MD336/337 担当

識 名 安 信 【欠席】

2022-2023 年度 G A T 東日本副全域副リーダー/元国際理事

川 島 正 行 【欠席】

2022-2023 年度 G A T 西日本副全域副リーダー

松 岡 勲 【欠席】

2022-2023 年度 G A T エリアリーダー/F W T 及び MD330/331 担当

小 川 晶 子

【一般社団法人日本ライオンズ】

元理事長 2021-22 仁 科 良 三 【欠席】

【2021-22年度 協議会議長】

MD333 議長 山 川 洋

MD334 議長 山 本 基 博

MD337 議長 古 川 隆 【欠席】

MD332 議長 下 間 俊 悦 【欠席】

MD335 議長 三 宮 秀 介 【欠席】

MD336 議長 福 永 栄 一 【欠席】

【OSEAL 調整事務局】

OSEAL 調整事務局事務局長 マ ー ズ 佐 子 【欠席】

【顧問】

法律顧問 池 田 和 司

会計顧問 吉 田 宗 一 郎

以上



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総M1>

社員総会に先立ち、スペシャルオリンピックス日本 平岡理事長より支援のお礼と活動報告。

司会：山本専務理事

出席者の確認：正社員数55名、本人出席38名、委任状または議決権行使書による出席17名、欠席0名定款17条 総正社員の過半数出席により開催成立。また定款18条により、決議は出席した総正社員の過半数をもって決することになる。

1.開会のことば 2022-2023年度一般社団法人日本ライオンズ 村木理事長

定款16条「社員総会の議長は理事長がこれにあたる」との規定により議長を務めさせていただく。

定款第23条により、「新年度の理事及び監事は、社員総会の決議において正社員のうちから選任される」

とのことにより、それまでは村木が議長を務めさせていただく。

本日の臨時総会は第Ⅰ部 第1回社員総会・第Ⅱ部 新年度第1回理事会・第Ⅲ部 継続総会(報告事項)の三部構成とする。

来場者ご挨拶

国際役員のうち、本日ご参加の国際理事2名(城阪ID・濱野ID)よりご挨拶。

議事録署名人選出・議事録作成人選出

議事録署名人 331-A地区 設楽ガバナー 336-C地区 三口ガバナー

議事録作成人 331MD 松浦副理事長 334MD 戸祭常務理事

議案審議

第1号議案「2022-23 計算書類及び事業報告の承認」

22-23年度財務担当理事である鶴嶋国際理事が欠席のため、



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総M1>

23-24年度 須藤財務担当理事より説明。

村木理事長より7月18日、各MDから1名の監査員(旧年度)による監査を受けたのち7月21日に開催の旧年度理事会(HB)において承認されたことと、本日第1回社員総会においても決算承認を受ける件が説明され、事業報告と監事監査報告も第1号議案となっている兼が説明された。

もう1つの第1号議案である事業報告について山本専務理事より説明。

続いて今井監事より監事監査報告書に基づく説明があり、事業および会計について法令および定款に抵触する部分がない旨が報告された。

参加者よりSON・アラート関係の残金の扱いをはじめ、数か所内容について質問があり、執行部より回答。

・SON残金について

どこから発生したお金か、SONは事業として定款4条のうちどこへ該当するか

→2022年札幌大会が中止になったため、広島大会へ残金を繰り越したが、広島大会でも約600万の残金が発生した。次回開催の札幌・長野大会への支援に充てる。SONについては社団の事業ではなく、社団がSONの事業へ協力している。

・アラート委員会特別会計について なぜ特別会計と記載されているのか

→2021年に発生した台風19号への皆様からの義援金の残金であり、その後グアムと福島への支援にも使用した。グアムへの支援については会計監査後に不明瞭な部分が発覚したため、残金の使用については凍結していた。現在はアラート委員会として義援金を集めたりすることはない。

特別会計として記載している理由について、会計顧問より補足説明があり、細かい明細がついていないため一緒にしてしまうとわからなくなってしまうため別に記載をしている。

→アラート関係のお金は目的に則って使ってほしいとのご意見。

・第105回ボストン大会 日本ライオンズ代議員会のバスチャーター費用について他の項目よりざっくりとしているのはなぜか

→日本円で旅行会社より見積もり請求があったため、このような金額になっている。

審議後、採決へ移る



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総 M1>

→満場一致により承認可決

ロ. 第 2 号議案「2023-24 事業計画案承認の件」

山本専務理事より各種委員会と、開催予定数の確認。

PR マーケティング、法人関係会議（執行理事会・理事会・総会・監査）についても開催計画案が提示された。

→賛成多数により承認可決

ハ. 第 3 号議案「2023-24 収支予算案承認」

須藤次期財務担当理事より説明。

賛助会費について、MD330 の第 69 回年次大会の決議を受け、同 MD 会員数 1 万名分をマイナスした件やライオン誌発行回数変更に伴う件など、主な変更箇所について説明があった。

→賛成多数により承認可決

ニ. 第 4 号議案「新理事の選出の件」

山本専務理事より説明

新理事・新監事候補者名簿案について、5 月 10 日に開催された臨時社員総会において、地区ガバナーの皆様からのご提案を受けたのち承認された理事会構成案に基づき、6 月 14 日に開催された前年度第 4 回社員総会においても、既に新理事候補者の氏名がリスト及び口頭にて発表確認がされている。

本日の第 1 回社員総会において、正式に新社員の皆様の承認をいただくことになる。

なお、監事は 2 年任期の 2 年目、前年度に引き続き 4 名の元協議会議長が候補者となっている。

→賛成多数により承認可決



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総 M1>

ホ. 第5号議案「2023-24年度社員総会日程案の件」について山本専務理事より説明

→賛成多数により承認可決

挨拶：村木理事長

すべての議案の終了後、2022-23年度理事として、当社団の運営に関与いただいた皆さまには定款の定めによる任期が満了した報告と、社団運営への協力に感謝の言葉が述べられた。

第II部 新理事会構成員による新年度臨時理事会 15:00より

司会進行：新専務理事予定者 増澤義治

15:30より総会が再開。

第III部 各種報告事項

以下より田名部新理事長が議長となり、増澤新専務理事が進行。

イ. 新執行理事会構成の報告

田名部新理事長のご挨拶のあと、新執行部および構成が発表された。

ロ. 各種報告事項

一般財団法人日本ライオンズ 不老理事長より、

一般財団法人日本ライオンズ活動報告と、公益化へ向けての手続きの状況が報告された。

田名部新理事長の挨拶により、第1回定時社員総会を閉会。

16:00 閉会



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総 M1>

議事録作成日：2023年8月8日

議事録作成人

副理事長 松浦 淳一

常務理事 戸祭 宏樹

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ 理事長

田名部 智之【押印省略】

331-A 地区ガバナー 設楽 幸子【押印省略】

336-C 地区ガバナー 三口 巖 【押印省略】



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

2023-24年度 一般社団法人日本ライオンズ

第1国際大会委委員会会議議事録

作成人 337国際大会関係 委員 曾山 純廣

開催日 2023年8月17日

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部智之（八戸 LC）

副理事長 池原堅（福山久松 LC）

副理事長/国際大会委員会副委員長/MD331協議会議長

松浦淳一（岩見沢はまなす LC）【欠席】

専務理事 増澤義治（諏訪湖 LC）

国際大会委員会

委員長吉村弘吉（和歌山 LC）

各複合地区協議会議長

MD330 田中雄一（狭山 LC）

MD332 栗村安弘（大船渡 LC）【欠席】

MD333 星野勝美（太田 LC）【欠席】

MD334 戸祭宏樹（鯖江王山 LC）

MD335 中谷豊重（岸和田 LC）

MD336 澤辰水（下関 LC）

MD337 新里正雄（沖縄 LC）【欠席】

各複合地区国際大会委員

MD330 委員長 伊賀則夫（東京葵 LC）

MD331 委員長 本所光男（室蘭東 LC）

MD332 委員長 村上孝（水沢中央 LC）

MD333 委員長 岡野良男（土浦環 LC）

MD334 委員長 大山恭範（一宮 LC）

MD335 委員長 江草長史（和田山 LC）

MD336 委員長 徳永修（尾道 LC）

MD337 委員長 曾山純廣（霧島みらい LC）

2022-24 国際理事/LCI 大会委員会

鶴嶋浩二（札幌中島 LC）



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

増澤専務理事 開会宣言

田名部理事長 挨拶

第1回 国際大会委委員会会議 お集まりありがとうございます。

国際理事は、今期より理事会構成員ではなく、オブザーバーとなり早速弊害が生じている。国際大会委員会では、本部での現状についてお知らせいただく等、国際理事の力がないと物事がすすまない。8/23には OSEAL フォーラム PR のため6名が来日される予定。

本部から情報がきていればもう少しスムーズに進むこともある。各複合地区の皆さんには急速バタバタと委員会を開くこととなったこととお詫びいたします。皆様のお力を借りて、マニラフォーラム、メルボルン大会へメンバーが問題なく参加できるよう進めたいと思います。

吉村大会委員長

本日はカメラ不具合のため、増澤専務に進行をお願いしたい。

鶴嶋国際理事、各大会委員についてはお忙しい中ご参加ありがとうございます。

マニラフォーラム、メルボルン国際大会に多くのメンバーが出られるよう進めたい。

鶴嶋国際理事

本日お願い、ご連絡があります。なお、途中退席します。

マニラフォーラム委員長マイケルソーPID が23日にお見えになる。

本日の委員会の中で数点の議案があります。

来年6月のメルボルン大会について、(国際大会委員長の) フランクムーア3世に対して日本からの要望を出している。

デポジット等では登録がしにくく、日本の慣例を躊躇し、公認ツアー会社による方法で進めたいとお願いをしており、コーディネーターを通しての登録について許可をいただいている。

公認ツアー会社を決めて頂きホテルを日本として取りたい。日本からの登録者の多さにも関わらず日本食が用意されていない等の要望を本部へ出したい。

日本ホテルの決定後、私でコンベンションセンターへのシャトルバスの運行を取り決めたい。

公認ツアー会社にI種II種III種と種類があり、バス手配、発券等できることに違いがある。

全国で公認ツアー会社を決定いただき、その上で会議を開催したい。

過去の大会では参加者のバスの駐停車禁止のところに日本のツアー会社が止めているとい



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

うクレームがあった。前回のボストン大会では参加者がホテルでトラブルを起こすなどの事態もあり現在大問題になっている。

出席確認：参加者名簿参照。

議事録作成人の指名：333、337に依頼。333は入院のため辞退、332と337に依頼。

吉村大会委員長

●国際大会の任務、実務：国際理事会方針書により、国際大会、オセアル・アジアフォーラムの意義を強調し多くの会員の積極的参加を促す、多くのメンバーが大会・フォーラムへ参加し、セミナーに参加し国際的視野を広げる機会を促進・参加を奨励する。日本ライオンズのレベルアップ、奨励のための方法を考える、フォローをしていく。

●実務についての説明と、MD単位で行うということを確認する。

まず最初の任務として早急に公認ツアーガイドを決定し、スムーズに国際大会に参加できる筋道をつけるのが重要。

鶴嶋国際理事

●ロジスティック（物流、パレット用品等）費用がかかるので社団でサポートしてほしい。候補者ではなく日本ライオンズとして負担してほしい。

●前回の朝食会の内容：ほかの国ではレセプションを開催している。他の国の国際理事候補者をお呼びしてお話を聞く機会がいつしか日本だけがなくなっている。

ジャパンレセプションを開催し、各国の国際理事候補者、第3副会長会長候補者、第1、第2副会長をお呼びして、方針を聞く機会を復活してほしい。

●メルボルン大会について、前年度にロータリーの大会をやっているが予定の人数が来なかったために、コンベンションセンターの一部を貸し出さないと言い出した。約束した人数は参加してもらわないと、いろいろと弊害が出る。

吉村大会委員長：

●公認ツアー規定について、規約（A資料）参照。複合地区の委員長は、知っているか確認。

MD332 村上委員：

●資格については1～4のいずれに当てはまればいいのか

鶴嶋国際理事：

●1つでよい



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

増澤専務理事：

各複合のなかで公認業者を決めて旅行している。安く行けるところはいろいろあるが、問題点も多いため公認業者を使うよう国際協会から通達がきている。バスや添乗員を入れなければ安くなるが（その部分の負担が）公認業者に乘っかっている場合もある。できれば公認業者を使用してほしい。

吉村大会委員長：

●次の大会まで1年の猶予がある。各MDにおかれましても現在の公認のツアー会社でいいのかどうか、再度MD単位で担当するツアー会社を選定する必要がある。

進めて頂いて、できるだけ早い機会に、公認会社との会議をいつ行うかについて国際大会委員会で段取りをきめておきたい。

MD 336 徳永委員：

●336でも問題になっているが、2~3人のツアーでも飛行機やホテルを自分で手配したほうがはるかに安く済む。MDの夕べや開会閉会式等、大会のポイントだけを外さない方ように自分で行く方が多い。公認業者を通じて参加する方が最低数いれば、あとは勝手に行ってもいいのか、方針について指示をしてほしい。

現在近畿ツーリストでJTBにも話をしているが進まない。

鶴嶋国際理事：

●来期メルボルン大会について

今回からは国際協会が国ごとに指定するホテルがない。8複合地区、ツアーコーディネーター同士で話して、日本として一つのホテルに決めようと思っている。全員同じところへ宿泊し、鶴嶋国際理事よりシャトルバスの要請をする。早めにするだけホテルの値段も安くできる。例えば500室を早めに押さえればやすくなる。近くなって数室だと高くなる。

大手に任せて、買って頂く仕組みを作ってはどうかと公認ツアーコーディネーターとの会議を通じて提案したい。シャトルバス等用意のため参加者が何人になるか現地と協議をするが、公認ツアー会社を通さないとカウントされていない。なお公認ツアーコーディネーターを使った場合の旅行代金を協会がはねているなどはない。

ガバナー主催会議を行い、ホテル、うまく割り振ったりすれば料金は安くなる。

9月13日からフランクムーア3世（本部大会員長）がメルボルンを視察。早めに日本で一つのホテルをとるとか決めて頂ければ10月と3月の国際理事会で、日本ホテルや大会のバスはこうしてくれとお願いできる。今回に限ってはそうしないと皆さんの足がない。

北海道のJTBや近畿ツーリストは、330、335のJTB・近畿ツーリストと組まない。済州フォーラムではトラブルもあった。行けないことなどが無いよう、公認業者は国際委員会の方でしっかりと決め頂きたい。私の方からは以上です。

増澤専務理事：他に御座いますか。徳永ライオン、いかがですか。どちらにしても委員会の



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

方でいちど揉んでみないと、となる。

MD 3 3 6 徳永委員：

- メルボルンはさておき、問題はマニラ。そこをどうするのか。

鶴嶋国際理事：マニラは国際協会が関係ないアジア地域のフォーラムなので、どのようにしても問題ない。アジアフォーラムは個人単位で行ってほしい。LCIが絡む国際大会はホテルを統一したい。23日にマイケルPIDが来日するので会議をしてもらう。マニラフォーラムの本部ホテルは隣の町のホテルである。早めにとれるところはとってもらい、向こうに任せるところは任せるなど決めてもらえばよい。

増澤専務理事：

- 他にありますか。国際大会とオセアル大会とはすみ分けて進めていく。
- オセアルについて、日程がタイトですので留意して進めてもらえればと思います。
- 3番目の議案につきましてよろしいですか。
- それでは4番目の議案であるオセアルフォーラムについて委員長の方からお願いします。

吉村大会委員長：

- 皆さんが一番関心のあるのがマニラのフォーラムだと思いますが、MD単位でツアーを組んだりいろいろと方法があるかと思いますが、ジャパンナイトを社団としてやるというふうに方向を決めておきたい。国際会長を含め、いろいろな方にジャパンナイトを開催しお話しいただき、国際理事候補者となる方のご紹介をしてもらう。オセアルフォーラムでジャパンナイトを開催することをご審議いただきたい。早く決めておかないと会場等、前に事が進まない。フォーラムでは、国際会長晩餐会があると思います。鶴嶋国際理事いかがでしょうか。

鶴嶋国際理事

間違いなくあります。割り当ての枚数がもうすぐ出てきます。各複合より前年割くらいはご出席をお願いするかと思います。

吉村大会委員長：

- それを前提に御参加を各複合へお願いするのが喫緊の課題である。
- ある程度人数等の把握はできるが、国際会長晩餐会の割り当てを含め準備をしておく必要がある。1800人がマニラへ参加してほしいとの要請もあるが未確認である。そこで複合地区からの参加人数を含めて教えていただきたい。その上で参加者数の割り当てをしていき



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

たい。

増澤専務理事：

レジュメの一番はじめ、8月31日までが130米ドルということになっています。昨年のように、早期登録を9月末までに延ばしてもらえないかも23日の課題になる。MD別予想登録数は、23日にお約束しなければならないので、どのくらいが出せるのかをこの場でお聞きし、トータルが1800人に近づければと思います。

田名部理事長：

Cの資料参照。過去にマニラで開催されたアジアフォーラムの参加者数の資料です。第36回(1997)2983名、第43回(2004)1894名、第50回(2011)2307名。過去の実績から1800人を実行委員会からお願いされている。あくまで登録者数なので、マニラに行けなくても8複合÷35地区、各複合となると一地区あたりの目安がわかるのではないかと。(1800÷8)1複合あたり225名、35地区で割ると51名ほどとなる。あくまで目安の数字。ガバナー+3役と各一名ずつであれば数字は超すと思います。去年はいきなり呼ばれて登録人数を約束させられた、ということがありましたので、1週間前に皆さんに数字を見ていただいて、この数字をたたき台にし、来週に向けて数字を組み立てていただければというお願いです。

増澤専務理事：

- ガバナーの皆様と検討いただき、1週間前ですが、目標に到達できるよう数字を出して頂ければと思います。1800人が全員マニラに行けるとは思えないが、近づけるように数字を出してほしいです。マイケルPIDが来た際にその話をするが、各複合が何人だせるか合計を提示したいのでよろしくお願いします。
- 参加予定数、記載いただいたものを21日までに送っていただいて表を完成させたい。23日の出欠についても教えていただきたい。
- 続きまして、フォーラムの日程につきましては、Bの三枚目四枚目がオセアルの日程となっております。この中は、開会式は11/3、閉会式が11/5、国際会長晩餐会が11/4となっております。この後に食事会やパーティ、ジャパンナイトが入ってくる。この中で予定を組んでいただければと思います。予定については詳細が分かり次第複合議長・委員長へお伝えします。
- 続きまして、晩餐会について、11/4の午後7時、ホテルで登録料100ドル、登録を早期にさせていただいて、チケットの枚数の割り当てが何枚といくらいがあるんですね、

鶴嶋国際理事：



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

●前年並みということで、各複合 30 枚から 50 枚の間だったと思うのですが、受付をする人が必要とかあります。大会委員長は現場に集まらないといけない。その組み立てが必要、社団の事務局だけでは間に合わないので、大会員長が来られない場合には代理の方等人員の手配をお願いする。席割りを社団から実行委員会へ押し込むので、人数を早めに出してほしい。

増澤専務理事：

●各複合 30 名から 50 名という話が出ましたのでそのくらいで話をつけてもらえばと思います。社団で集計をとりますので、各複合へ書類を発信します。

ジャパンナイトの開催についてご意見をお願いします。日程的には押えていない。

他と被らないように日程、時間を調整しなくてはいけないのでお気持ちを伺いたいがいかがでしょうか。

国際理事としては開催のほうがよろしいとお考えでしょうか、いかがでしょうか。

鶴嶋国際理事：

●ジャパンナイトについては協議が必要であるが、例年はオセアルフォーラムについては国際理事候補で全額賄っており、非常に高額な費用がかかっているのにジャパンナイトという名前になっている。現職ガバナーが参加するものであるから会長や第一副会長をお呼びして話をする場所としては必要であると思います。

会費制で開いてもいいのではないかと考えている。

増澤専務理事：

●各複合委員長はいかがですか

MD 戸祭氏：

●複合の晩餐会や国際会長晩餐会を考えると、3泊4日の日程に入れるときついのでは。

増澤専務理事：

●時間調整して、時間をずらすしかない。枠がいくつか用意されており、昼間の食事会か、開会式のあとに入れ込むのか。ホテルの中でとれる枠が3日に一枠、4日に二枠くらいしかない。枠だけ抑えていて、費用等やり方は後から検討する余地はある。いくつも開催すると、行くのに迷ってしまう可能性もあるのでそこも検討してほしい。

鶴嶋国際理事：

●国際理事候補者が必ず行わなければならない儀式のうちの一つ。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2-4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

ジャパンレセプションと、候補者としての儀式を混ぜてしまわなければならないと思っている。次の候補者のことを考えるとやっておいたほうがいい。やらないとなると、国際理事候補者が OSEAL のエンドースとすることが難しくなる。

増澤専務理事：

●昨日行われた資格審査委員会でお一人候補者として承認を受けている。資格審査会で承認を受けた方がレセプションを行うことになった場合に、そこへジャパンレセプションを乗せてきた。委員長、本日やるかやらないか決めたほうがいいですか。

吉村大会委員長：

●決めておいたほうがいい。タイミングだが、コーカス会議の後にやるか、前にやるか。

鶴嶋国際理事：

●後だと思います。

吉村大会委員長：

●というのは、コーカス会議は 11/2 20 時-21 時になり、そのあとの夜中のレセプションでよいのか。3 日では遅すぎると思う。

増澤専務理事：

●レセプションというのは、スケジュールのなかにすでに枠があり、3 日に二枠、4 日に一枠と決定している。どちらかでやると決まっているので、そこに日本としてのレセプションを乗つけるか乗つけないかという判断になる

鶴嶋国際理事：

●前日もレセプションの直後に晩餐会というスケジュールだった。時間としては 1 時間で、400 万というのはどうなのかというのもあるが、この枠の中でやるしかない。

増澤専務理事：

●3 つの枠でやると考えた場合、ジャパンレセプションを国際理事候補者レセプションと一緒にやる判断をしてもらってよいですか、採決を取りたいとおもいます。その前にご意見を伺いたい。

MD 3 3 3 岡野委員長：



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

●3日の国際理事候補1レセプションあたりで行うということでもよろしいでしょうか。

専務理事：

●一応、4日にも枠があります。まずはやるかやらないかについて決を採りたい。

MD333岡野委員長：

●こちらの複合の都合ですが、333複合の議長を囲む会を3日にやろうという思いがある。例えばそれが18:30までに終われば19:00から行うことも可能です。そうなればレセプションとジャパンナイトも同時に開催できるが、時間がずれてしまうと複合地区議長の晩餐会が厳しくなる。

増澤専務理事：

●取られている時間は18:30で終了なので、なるべく早い時間で枠を押さえたいと考えております。

MD330田中議長：

●遅参して失礼しました。3日ですが、330Cでガバナー晩餐会がありましてちょうど重なる。18時前に終われば問題ないが、参加できない可能性があるのご理解いただきたい。

増澤専務理事：3泊4日、時間が限られている。各複合・各地区で判断してもらえればと思っている。理事長としてもそのような理解でよいか。

田名部理事長：

●準備段階で折衷案ということですが、すり合わせしながら目的を達成できる形で日程調整できればと思っております。

専務理事：時間調整ができる場合はお願いしたい。

鶴嶋国際理事：個人的意見ですが、ジャパンレセプションは何のためにやるのか。候補者のお披露目をしてオセアルのOECのエンドースを取るために行う。地区とどちらが先とかそういうのは違うと思う。候補者が出ない前提でお話をしているのか、出ても地区の行事があるので行かない、という会話か。次の日本の代表をする国際理事を決める会議を日本として初めてやる。日本代表を決めるということ。どちらを優先するかはフォーラムについて勉強してほしい。ここで退席しますが、公認ツアー会社の選定をしていただいて、8MDがそろって準備をして頂きたい。

国際理事がオブザーバーだからといって情報を出さないことはないので、できる限り参加し



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

て話をしたいと思います。ハワイマウイの災害についても LCIF より資金の話が出ている。社団に話が来るかもしれない。即時にご連絡をしたいと思います。

MD330 田中議長：

● ジャパンレセプションというのは、次期国際候補者を決議する場ですか？ちょっと違うのでは。今回はすでに出る方の名前を聞いている。その後から他の方が出る場合もあるので？あのように言われると、他の方が不利になるのではないか。また、日本ライオンズの理事としての立場をないがしろにしているわけではないが私の現在の立場も、自分の地区、複合地区あつてのものなのでそちらを優先させて頂きます。自分の地区をないがしろにしては、複合地区も日本もよくなる。

増澤専務理事：

● ジャパンレセプションはオセアルの会員に、国際理事候補者をお披露目する場所。後から立候補する方については基本的に 7 月末までに推薦要望書を提出し、立候補していただければ手続き上資格はないので、枠が増えない限りは OSEAL フォーラムで手を挙げて翌年の候補となります。

田名部理事長：

● 地区、複合、日本でどこの意見を通すかという場ではなく、お願いベースで調整が効く段階だと考えております。それぞれの地区の事情があるかと思しますので、そのことをテーブルに出して調整の場として使用して頂きたい。全員がうまくいくことはできないかもしれないが、できる限り 100 点に近い形になるようにお力を発揮してもらえればと思う。

MD334 戸祭議長：

● 国際理事候補者がレセプションをやるなら、ここでやるよって決めてもらえればと思います。

増澤専務理事：

● あえて言いませんでしたが、3 日にやりたいという打診を受けています。この会議の後も再確認しますが、時間を確保します。まずは、国際理事候補者が行うレセプションをジャパンレセプションとして一緒に行うこととして採決を取りたい。

● 賛成の方挙手をお願いします



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

参加者過半数：

- 挙手

増澤専務理事：

- 賛成多数では実施するという事で進めさせていただきます。続きまして5番目のメルボルン大会について委員長お願いします。

吉村大会委員長：

- メルボルン大会は来年の6月開催ですが、今から準備できるということは早い段階で動けると思っています。ただ、これに関してはさきほどありましたように、8複合の各旅行会社を決めてそのうえで、日本のホテルを決めるという今までにない段取りが入ります。そうすることで各MDが独自にやっていたバスの経費などを大幅に下げるメリットもある。ホテルの予約については、日本のホテルを予約したうえで申し込みをやっていただく。早急に各委員長、議長の皆様においては、MD単位での公認の業者を決めていただきたい。後のスケジュールについては順次決める。どれだけの人数が行っていただけるかは現時点では把握できないので、参加しやすい状況を作るという意味でもよろしくお願いします。

増澤専務理事：

- 複合の公認旅行会社が決まっている、あるいは決まりそうなところがありますか。334、335は決定している、他はどうですか。早急に決定することが可能でしょうか。どこかで協議する場はあります。

MD336 澤議長：

- 335はどこを公認にしていますか。

増澤専務理事：

- 334、335はJTBです。337は未定です。

MD336 澤議長：

- 近畿日本ツーリストに対して不満が出ている、値段が高すぎる。JTBなら話やすいかと思った。ありがとうございます。

MD334 大山委員長：

- JTBでもそんなに安くないが話し合っただけで安くなる可能性はあります。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

増澤専務理事: 決定後ホテルやバス等いろいろなことを決めていくことになる。もし決まっていな複合地区は、早急に決めて頂けると助かります。

MD332 村上委員長:

コーディネーターになる要件について再確認したいです。1~4を一つでも該当すればよい、ということは、①~③のうち一つに該当して④にある通り、複合地区議長が認めたということですね。8地区業者をまとめてホテルを貸切るとコスト削減、利便性がよいとあるが、日本としてホテルを貸切る、という方向性が鶴嶋理事のおっしゃったように確定ということ複合で話をしてよいですか、それとも私たちがこの場で決定することでしょうか。

増澤専務理事: 国際協会ではホテルを抑えないのは事実。旅行会社にその話を行っているようなのでお話しされればわかるかと思えます。ホテルについては共通でとったほうがよいという見解です。ほかの地区はいかがですか

MD331 本所委員長

●過去のツアコンは、JTBでしたが、安い業者がいい、ということいろいろと入り乱れている。今度の会議までに決めてご報告いたします。こちらで中座いたします。ありがとうございます。

MD333 岡野委員長:

●333 岡野です。公認ツアーコーディネーターはいつまでに決めるのが望ましいですか。

吉村委員長:

●鶴嶋国際理事が話していたように9月13日にLCIで委員会があるそうなので、その前後までに8複合の公認ツアー会社と国際委員長が日本の方向性について話をしてもらいたいので、できれば9月10日まではお願いしたいと思っています。本日は8月17日です、1か月弱あります。いかがでしょうか。

MD333 岡野委員:

●333としては頑張るしかない。

MD330 田中議長:

●複合の公認ということですが330はそれぞれの地区でツアーを組んでおり、複合ではここ数年ツアーを組んでいない。複合としての公認が必要であればそれぞれの地区の旅行



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

会社に対して公認するということになるのでしょうか。

増澤専務理事：

●地区で公認された方が会議に参加すればいい。(田中議長からガバナーが公認するのかと質問を受けて)ガバナーが公認すればよいと思います。

MD330 田中議長：

●その場合、ホテルの情報を旅行会社はどう仕入れたらよいですか。大手だと横のつながりがあると思うが中小、個人のような業者もあるかもしれない。

増澤専務理事：一種の資格を持つ旅行会社でないとホテルが確保できないと思う。そうすると公認集まった場合、資格がない場合は一種の資格を持つ業者からホテルの部屋を買う形になると思われる。各地区で公認になったところは小さい会社も含めてすべて委員会に出させていただいて、JTBや近畿ツーリストから部屋数を頂くことになると思う。2種、3種では部屋の確保ができないので、公認業者が集まった会議の中で共有してもらう。

MD330 田中議長：

●今後はそのような方をオブザーバーと呼ぶということですね。

増澤専務理事：

●はい、そこで情報共有するという事です。ほかにありますか。

各複合で決まっていないところは、9月10日をめどに段取りをお願い致します。地区やキャビネット会議へは事後報告という形になるかと思いますが、メールやFAX等で承認をいただき、指定業者を本社へ報告していただければと思います。

続きまして、MDの参加取り組み状況について。資料参照の登録です。メルボルンの大会の早期登録は1/12までになります。1/13から6/15までは通常登録、その後は現地登録となり、金額があがるのでなるべく早く登録していただけるよう案内をお願い致します。

以上でメルボルン大会の話が終わりますが質問等がございますか

MD334 大山委員長：

●国際大会の登録はグループ登録できないのですが、リクエストしたいのですがそれは可能でしょうか。とりあえずオセアルフォーラムについてです。

増澤専務理事：

●明日確認いたします。わかり次第フィードバックします。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

MD330 田中議長：

●オセアルで国際理事候補者がジャパンレセプションをするのは賛成。
地区ごとの割り当ては考えておられますか。というのも 330-Cでガバナー晩餐会を予定しており、バッティングすると人を出せずご迷惑をおかけしてしまうので確認しておきたい。

吉村大会委員長：

●こちらとしても調整はしていくが、できるだけ調整等をお願いします。330 から出ている現職の国際理事もレセプションに出ていただく。

増澤専務理事：

●基本的にはオセアルへ国際理事候補者をお披露目する会ですので海外の方のほうが多く見られると思います、複合へ10-15でお願いすることになるかとは思いますができるだけご調整をお願いします。

MD330 田中議長：

●出られるときはでます。ただ、割り振りを急に増やされたりすると困るかな、ということでした。

専務理事：

そこはご無理がないようにしていきます。
最後 その他になりますか？

吉村大会委員長：

●オセアルでもメルボルンでも日本が一つにまとまって行動するという形の形式をとる、8 MDが協力しているスタイルを作りたい。
年明けすぐにメルボルン大会のパレードのことが浮かび上がる。日本でできるだけ統一された行動がとれるようにご意見を吸収して、協力体制を作り上げていきたい。

増澤専務理事：

●次回の予定を決定願います。

吉村大会委員長：

●今の状況でいくと、公認ツアーコーディネーターを決定していただいた後の9月11日から13日ごろに第2回委員会を開催したいです。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

田名部理事長：

- ウェブでよろしいでしょうか。よければ対応できます。

増澤専務理事：

- 北海道も入っていますので12日の午後、2本立てでよろしいでしょうか。13時半から公認ツアー会社の打合せ、15時から国際大会委員会でよろしいでしょうか。ハイブリッドですので社団事務所でもよいし、ウェブでもよいのでその旨で決定します。ほかにありますか。

MD335 江草委員長：

- 確認ですが、オセアル登録ですが1800人を8複合、225名の件。これを目標に登録者を募るといふことでよろしいでしょうか。

増澤専務理事：

はい、23日にマイケルPIDが来られた際に報告しますので、議長と相談して225以上の数字をお願いします。
社団事務所に23日いらっしゃる方はいますか。会議後のマイケルPIDとの懇親会にもご参加頂けますと助かります。
最後に池原副理事長挨拶をお願いします。

池原副理事長：

- 今年は早く動いていますので、目標に届くのではないのでしょうか。日本からの国際理事もたくさん出ておりますので、成功に導けるようにしたい。ご協力ありがとうございました。

増澤専務理事：

- 閉会宣言。



一般社団法人日本ライオンズ
 〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
 Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
 日本ライオンズ発行<2023-24-会-M1>

議 事 録

会議名	(2023-2024年度)第1回会則委員会 (WEB)		
作成日	2023年08月24日(木)	作成人	MD337 高野 正勝 MD333 岩沼 忠伺

■ 概 要			
日 時	2023年08月23日(水) 10時00分～12時00分		
場 所	ZOOM システム		
出席者	◆一般社団法人 日本ライオンズ		
	理事長	田名部 智之 (八戸LC)	
	委員長 (MD333前協議会議長)	松本 宰史 (南房総LC)	
	副委員長 (MD335協議会議長)	中谷 豊重 (岸和田LC)	【WEB】
	専務理事	増澤 義治 (諏訪湖LC)	
	◆各複合地区会則委員長		
	331複合地区会則委員長	馬場 哲也 (函館東LC)	【WEB】
	332複合地区会則委員長	荒川 友成 (郡山西LC)	【WEB】
	333複合地区会則委員長	岩沼 忠伺 (千葉ネオLC)	【WEB】
	334複合地区会則委員長	野村 善弘 (岡崎竜城LC)	【WEB】
	335複合地区会則委員長	小林 寛 (姫路中央LC)	【WEB】
	336複合地区会則委員長	松岡 諒 (福山久松LC)	【WEB】
	337複合地区会則委員長	高野 正勝 (佐賀葉がくれLC)	【WEB】
(合計 11名)			

■ 議 事	
議 題	(1) 前年度からの申し送り事項の確認について (2) 国際理事候補者資格審査委員会 審査内容の件について (3) 役員必携の改訂の件について (4) その他
討議内容	(1) 前年度からの申し送り事項の確認について ・学生会員の件 役員必携の改訂に盛り込む。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-会-M1>

会費については、理事会の結論を待つ。

・コンプライアンス委員会立ち上げの件

組織に罰則がないので、トラブルのない形でそれぞれが適正に運用される為のルールが必要。

MD335 小林氏⇒家族会員、支部会員、エクセレント会員の会費について

松本委員長 →地区の年次大会、複合の年次大会で会費の設定をお願いします。

参考：333 複合地区は、年額 500 円に設定している。

中谷副委員長 ⇒コンプライアンス委員会について、委員会の中に委員会を置くのは、おかしいのではないか。

田名部理事長 →今のところ認められている。兼務するかどうか、どのように立ち上げるのか、松本委員長を中心として議論していく。

中谷副委員長 ⇒全体に関わることなので、色んな人が関わる横断的な委員会としての考え方があっていいのではないか。

増澤専務理事 →今後の理事会の中で相談して、どの位置に置くか考える。

MD333 岩沼氏⇒委員会を作って片付けようとするのではなく、日本ライオンズの内部で起こった原因を理事会で考えて、探って、直していかなければ、変わらないと思う。

松本委員長 →今後対応していく。

(2) 国際理事候補者資格審査委員会 審査内容の件について

・見直しをしていく箇所がある。

次回、取り上げる。(宿題)

(3) 役員必携の改訂の件について

・08 月中／編集・集計を終える。

・09 月 /凸版印刷にてゲラ版を作り、次の会議で最終確認後、印刷。

・10 月 /各地区に配布予定。

・ライオンズ必携に新しい会員種別“割引会員”を反映させる。

P5 変更箇所について

MD336 松岡氏⇒「3・4・5 番目の」の部分を消した方が良い。

松本委員長 →変更します。

・数字は、2023 年 06 月末をもって修正を加えている。

(P6 のロータリーとキワニスの数字以外)

・P11 ギリギリまで最新の情報が出るのを待つ。間に合わない場合は、このまま印刷する。

・P21～29 PDF と Excel データを見比べて、MD の中の準地区の結成順位を Excel デー



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-会-M1>

	<p>タに番号を入力して下さい。Excel データは、今月中に日本ライオンズへメールをお願いします。(宿題-1)</p> <p>P59 諮問委員会について</p> <p>MD335 小林氏⇒諮問委員会の国際協会の中で、ルールはあるのか。</p> <p>松本委員長 →国際本部発行の進め方の指示書がある。しかしガバナーや各地区ごとの色も加えて良い。</p> <p>P66 ボストン国際会議において、基本的な考え方が抜本的に変わり、この表は該当なくなった。</p> <p>間違った表記が出来ないので、今回は削除をして対応する。</p> <p>新しい国際理事会方針書の発表後に変更する。</p> <p>P66 学生会員について、問合せがあった場合、公的機関の規定に準じた所属している学生は、対象となる。</p> <p>予備校を含めて、それ以外は対象外と認識して下さい。</p> <p>P153 2018年以降、国際協会の歴史に特記する事項があれば、次の会議までに提案して頂きたい。(宿題-2)</p> <p>P124 担当している複合内の新しいレオクラブリストをまとめて頂きたい。(宿題-3)</p> <p>MD333 岩沼氏⇒P6 全世界のクラブ数 200以上の国と領域を国と地域に変更した方が良いのでは。</p> <p>松本委員長 →詳しく調べてみます。</p> <p>MD335 小林氏⇒ライオンズ必携の無駄なページを省いた方が、見やすく、持ち運びやすくなるのではないかと。(次年度からの問題)</p> <p>松本委員長 →精査します。</p> <p>MD336 松岡氏⇒(宿題-1) 結成順位は、準地区単位ではなく、県ごとでも良いか。</p> <p>松本委員長 →県ごとでお願いします。</p> <p>中谷副委員長 ⇒会員必携は、データ化されているのか。スマホでも見れると良いのでは。</p> <p>松本委員長 →データは、特殊なプログラムを使っている為、凸版印刷が管理している。PDF修正のみ出来る。</p>
未解決・持ち越し	<ul style="list-style-type: none"> ・ (宿題-1) 県ごとの結成順位を入力し、メールする。(8月中) ・ (宿題-2) 国際協会の歴史に特記する事項があれば、提案する。 ・ (宿題-3) 担当複合内の新しいレオクラブをまとめる。

■ 次回の予定

日 時	2023年09月21日(木) 10時00分より
-----	-------------------------



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-会-M1>

場 所	ZOOM システム
議事録 署名人	松本幸史



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-A-M1 訂9.13>

(2023-24 一般社団法人日本ライオンズ)

第1回アラート委員会 議事要録 10.3 訂正版

2023年8月25日(金) 14:00-16:30 ZOOM システム

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之	(八戸 LC)
専務理事	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
アラート委員会委員長	池原 堅	(福山久松 LC)
アラート委員会副委員長	新里 正雄	(沖縄 LC)
日本ライオンズ アラートチーム		
全日本統括リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子 LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZERO LC)
同 西日本統括リーダー	藤井 信英	(岡山みらい LC)
アラート委員		
MD330 委員	増田 正明	(東京田無 LC)
MD331 委員	浅野 敬一	(北見中央 LC)
MD332 委員	木川田 明弘	(仙台高砂 LC)
MD333 委員	中田 泰範	(新潟東 LC)
MD334 委員	堀岡 昭夫	(金沢東 LC)
MD335 委員	堀口 清隆	(神戸みなと LC)
MD336 委員	西尾 慎一	(鳥取 LC)
MD337 委員	高野 裕子	(熊本平成 LC) 【欠席】
委員長補佐・MD333 アラート班長		
	若林 純也	(水戸葵 LC)
MD332 アラート副委員長	山下 里美	(山形アルカディア LC)
MD334 アラート委員会班長	吉田 正義	(榛南 LC)
334-A 地区アラート・環境保全委員長		
	出崎 浩貴	(尾張旭 LC) 【欠席】
334-B 地区アラート委員長	森 英昭	(四日市サウス LC)
334-C キャビネット会計兼アラート委員長		
	内田 聡	(三島 LC)
33_4-E 地区会則・管理・アラート委員長		
	檀原 保雄	(佐久 LC)



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-A-M1 訂9.13>

- ① アラート委員会の基本方針と準地区・複合地区・エリア地区との再確認について
・アラート委員会運営規則についての説明

池原委員長

「一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会/緊急アラート災害支援運営規則（案）」の第10条、第11条、第12条、第13条、第14条に役員任命の条項があり、既に第10条で委員長は私が任命されていますが、その他の役員は社団の理事長が任命するとあります。前年も含めて理事長のお考えをお願いします。

佐々木全日本統括リーダー

委嘱状は社団理事長名でも良いが、この2年間の議論で委員長名で出した方が迅速で良いのでは、前期の山川委員長と決めていました。

池原委員長

この機会に、規約を見直したほうが良い。

田名部理事長

現行の規則で、選任ですが、見直したほうが良ければ、皆さんと池原委員長と検討ください。

佐々木全日本統括リーダー

「一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会/緊急アラート災害支援運営規則（案）」の（案）を取った形で進めた方が良い。

田名部理事長

（案）ではなく、正式規則として保管してほしい。

増澤専務理事

（案）を取った規則を理事会に出すので、1度精査してほしい。

池原委員長

規則も今期でしっかり見直したい。今期、国際大会が7月に遅く開催された関係上、引き継ぎが遅かったので、今期は前期の規則をそのまま進めたい。改定は来期に見送りたい。

田名部理事長

特に問題なければ、委員長に賛成。

木村東日本統括リーダー



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-A-M1 訂9.13>

この規則は素晴らしいが、実際の運用に適しているかは、疑問である。来週広島で委員長はじめ正副統括リーダーと協議して、改正案を作りたい。

藤井西日本統括リーダー

来週、広島でじっくり話し合いしたい

MD331 浅野委員

MD331では、この規則に則り役員の選任が行われている。

MD332 木川田委員

委員長が変わる時に、規則を変えるのではなく、問題が出たときに変更したほうがよい。

MD333 中田委員

一昨年以前は、333MDではアラート委員会はなかった。

アラートとして、自分のたつ位置が良くわからない。アラート委員会の行動規範があれば良い。

MD334 堀岡委員

班長は複合の議長推薦、委員長の指名でよいのでは。

MD336 西尾委員

初めてアラート委員に就任しましたが、この規則についてはアドバイザーは現在誰なのか、又 全日本統括リーダーの記述がない。

池原委員長

規則については、各自じっくり読んでいただいて、赤字の部分も含めてより良い規則に改定したい。

委員長補佐・MD333 若林アラート班長

班長は日本ライオンズ指名の意見もありましたが、MDによっては議長の反対もあり、5年間の経緯もあり、各正副統括リーダーの意見を聞いて頂き、委員長にお任せしたい。

MD332 山下アラート副委員長

この規則は、改定してきており、この規則通りにできれば、良いと思う。私はMDの木川田委員長より指名頂いて、この任についている。日本ライオンズの池原委員長より任命がくるのか、よくわかりません。正副統括リーダーで打ち合わせをしっかりとお願いしたい。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-A-M1 訂 9.13>

MD 3 3 2 木川田委員

秋田の災害の件で、栗村議長とも話したが、木村東日本統括リーダーが、複合の構成員ではない。これは、前期委員長の引継ぎ（申し送り）がうまくいっていない。

MD 3 3 5 堀口委員

3年ぶりに委員長になったが、組織が変わったので、ビックリしている。班長・副班長ができています。しかしながら、この運営規則をじっくり読んで、理解できました。

木村東日本統括リーダーが、複合の構成員ではない件も含めて、池原委員長と正副統括リーダーで交通整理をして欲しい。

佐々木全日本統括リーダー

全日本統括リーダー 東日本 西日本統括リーダーは今期の委員長指名で、今期の人事は、前委員長指名ではない。木川田委員にその事情を理解して欲しい。

複合内で議事録も含めて、勉強してほしい。

池原委員長

議題①については、もう一度運営規則をお送りして、個々で見直して頂き、それを纏めた形で早急に実施したいので、皆様のご意見を書いて送って頂きたい。

池原委員長

② 23 24 年度 役員改選・エリア地区見直しの必要性について

③ アラート委員会の基本方針と準地区・複合地区・エリア地区との再確認について

議題②③は、今までの話で、出てきておりますので、割愛させていただきます。

④各地区災害備蓄倉庫の実態の状況について

池原委員長

備蓄倉庫の実態について私自身も把握しておりません。佐々木Lいかがでしょうか。

佐々木全日本統括リーダー

備蓄庫に置かれましては日本ライオンズでは把握しておりません。

各複合地区にて備蓄庫の有無を取りまとめしていただき報告をいただきたい。

木村東日本統括リーダー

332D福島に、ストックヤード構想がある。県のほうに2.3か所の予定

東北も北と南に分かれて各1か所程度ストックヤードを持つべき。

集まった物資の中で余剰分をストックして次の災害に役立てるため必要。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-A-M1 訂 9.13>

池原委員長

この件につきましては後日、詳細等について調査票等を送ります。

⑤委員会・全体会議スケジュールについて再確認

池原委員長

今後のアラート会議の日程ですがこのままでよいのか、間にもう1回ほど開催したほうがいいのか。

佐々木全日本統括リーダー

1回目から5回目からは委員会。全体会議はまず東西で別れてやらないと発言の機会が少なくなる。日本レベルで開催すると人数が多すぎる。また別に班長会議を東西で行う複合地区ごとのアラート会議を行う。東西のリーダーが各会議の計画を立てる。

田名部理事長

私のほうからは委員会に対しての要望やアドバイスは特にありませんが、規約や、ルールの整備を早くできるように委員長を先頭として委員会として動きやすい形ができればいいのではないのでしょうか。

木村東日本統括リーダー

一般社団法人と国際協会側の距離感を感じる。東西のリーダーが各複合地区に出向いて行って、情報を伝えるに行く役割がリーダーだと思っている。複合地区にアラート委員会の大切さを理解してもらおう。MDの委員長に東西のリーダーを使っていたきたい。

増澤専務理事

各委員の皆さんがいろんな地区に行って堂々と活動できるように委嘱状等が必要であればすみやかに出しますので、各委員長におかれましても複合の中で東西のリーダーが誰か周知していただきたい。

⑥日本ライオンズ主催アラートフォーラムについて

藤井西日本統括リーダー

1点確認ですが一般社団法人アラートフォーラムとして物事を進めていってよろしいのか。
(皆さん了承)

9月13日にMD336のアラート委員会の中に特別実行委員会を立ち上げる。

9月の末から10月の頭に大枠を決めたものをスムーズに各複合地区に案内が出せるように進めていきます。令和6年2月24日(土)13時30分から約3時間程度行う。場所は岡山旧市民会館にて参加者は500名ほど予定している。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2-4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-A-M1 訂 9.13>

その他 なし

総括

池原委員長

次回のアラート委員会につきましては今の運営規約を各担当に送りますので改善点があれば提案をお願いします。

またアラート資金のことですが、各地区にて緊急支援金の積み立てがあると思います。

次の委員会までに各地区にて、いくら支援金があるのか確認をしてもらいたい。

30 年以内に南海トラフ地震が発生する確率が高いため、そこに向けての貯蓄と対策を講じていかないと大変なことになる。今日を機会に一人一人のご意見をしっかりとくみ上げて、総意のもとに物事を進められるアラート委員会にして行きたいと思います。

閉会の挨拶

佐々木全日本統括リーダー

池原委員長の素晴らしいリーダーシップのもと、1 回目でこんなに充実した委員会ができたのも田名部理事長、池原委員長のおかげだと思っております。社団の性質上、どうしても社員総会が 8 月ぐらいになり、1 回目の委員会が遅れるとそれが委嘱状の問題等があるということなのですが、5 年前に発足したこの委員会よりも確実に進んでいると思います。

330A・B・C 各準地区の中の C 地区にアラート委員会がないという現状を聞いておりますのでぜひガバナーと相談していただき C 地区にもアラート委員会を置いていただいで複合のアラート委員会を開催していただきたい。

本日はお疲れ様でした。

以上

議事録作成人

MD330 委員

MD331 委員

増田 正明

浅野 敬一



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-Y-M1>

一般社団法人日本ライオンズ
2023-2024年度 第1回YCE委員会要録

◎日時：2023年8月24日(木)13:30-16:00

◎開催方法：WEB (ZOOM)

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部智之(八戸LC)

専務理事 増澤義治(諏訪湖LC)

委員長 吉村弘吉(和歌山LC)

副委員長 田中雄一(狭山LC)

委員(MD330YCE委員長) ベイリー久美子 (加須LC)

委員(MD331YCE委員長) 鈴木善一 (千歳LC)

委員(MD332YCE副委員長) 洞口勝則 (名取LC)

委員(MD333YCE委員長) 藤川清幸 (前橋中央LC)

委員(MD334YCE委員長) 石本雅之 (鯖江LC)

委員(MD335YCE委員長) 正岡章 (吹田江坂LC)

委員(MD336YCE委員長) 蔵本守雄 (高松源平LC)

委員(MD337YCE委員長) 岡秀昭 (大川LC)

オブザーバー

MD333YCE委員 佐藤久栄 (亀田LC)

MD333YCE委員 大日方健二 (笠懸LC)

MD335 事務局

◎本日の出席者確認及び進行について

・吉村委員長は開会を宣言し、出席者を確認した。

・吉村委員長はあいさつをした。

(吉村委員長)

◎議事要録作成人の指名

・委員(MD330YCE委員長)ベイリー久美子(加須LC)を議事録作成人に指名した。

◎議案

・基本方針の確認後、『YCE事業の手引き』を準地区の委員長やメンバーに配布するむね申し伝えがあった。

・共通ユニフォームを現在のジャケットからベストに変更してはどうかという意見があった。

・確認事項として各MDの担当地区の確認がなされた。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-Y-M1>

- ・幹事旅行会社を各MD 1社に決定し報告することが決まった。
この際、吉村委員長より今後MDの委員会に幹事旅行会社の方もオブザーバーとして出席して頂いてはどうかと提案があった。
- ・次回委員会までに各MDで派遣希望を把握し報告することが決まった。
- ・アプリケーションフォーム等は、各MD間で委員長の責任においてやりとりする旨が決まった。社団では、人数等の概要を把握したいので、その旨を報告することが決まった。
- ・今年の冬の派遣については、従来通りの服装で執り行うことが決まった。
- ・国際協会のWEBページにMD 3 3 3のキャンプを掲載したいとの申し出があった。
- ・MD 3 3 5から、冬のオーストラリアの派遣はなしで夏に再開予定との話があった。
- ・共通フォームを使用してみて改善点を話し合うことが決まった。
- ・MD 3 3 3 藤川委員長よりYCE事業に携わる事務局を対象に座談会的なレクチャーをしてはどうかとの意見があった。賛成多数であったのでプロジェクトチームを作り研修計画を立てることが決まった。
吉村委員長をはじめ、チームリーダーとして委員(MD333YCE委員長)藤川清幸(前橋中央LC)メンバーとして、委員(MD330YCE委員長)ベイリー久美子(加須LC)と委員(MD335YCE委員長)正岡章(吹田江坂LC)が任命された。
- ・ユニフォームについては、ベストの方向で考えることに決まった。
グローリー社とフジマキネクタイ社にデザインと色をプレゼンしていただくことが決定した。

◎次回開催日

- ・10月5日(木)
15:00~17:00委員会
17:00~懇親会

会場は東京で、対面にて行うことが決定した。

議事録作成人

委員 ベイリー久美子 (MD330)

331 複合レベル資料

331 複合地区アラート委員会 報告

委員長 L.浅野 敬一（北見中央）

一般社団法人日本ライオンズは4年前にアラート委員会が設けられました。現在の日本は毎年のように各地域において災害が発生しております。各ライオンズクラブにおかれましては、金銭的支援、物資支援等にご協力をいただいております。

今後は、支援体制のスピードアップが必要であることから、アラート委員会が設置されました。複合地区、準地区にはすでにアラート委員会が設置されておりますが、今後起こりうる災害に対して迅速に対応してまいりたいと考えます。その初めの段階として、人道支援、物資支援のため、各地域の社会福祉協議会の災害ボランティアセンターとの協定書の締結を推進して行くとの要請が日本ライオンズから出ております。

7月現在の締結状況ですが 331A 地区 30% 331B 地区 15% 331C 地区 16%程度となっております。各地区ガバナー及びゾーン・チェアパーソン各位に締結に向けた活動をお願いいたします。

1. A.B.C 地区、各ゾーン内の市町村にある社会福祉協議会にライオンズクラブからの締結お願い文書が届いているか確認をする。
2. 確認が取れたら締結に向けた説明をする。
3. 確認ができなければ再度要請文書を送付する。（地区委員長まで連絡ください）
4. 確認状況並びに、締結の日時が決まり次第、地区委員長へ連絡ください。
5. 締結に必要な書面をお送りします。
6. 市には複数のクラブがあると思います。その場合は各クラブの三役に集まってもらい協議の上締結に向けた会議を開いてください。
7. 何か不明な点や説明が必要な事があれば、浅野が現地に出向きます。
8. 各クラブ内にすでにアラート委員会があるクラブもありますが、まだないクラブにおきましては、アラート委員会の設置をお願いしてください。

100%締結に向けてこれからも頑張ってまいりたいと思いますので皆様のご協力をお願いいたします。

L. 浅野 連絡先

Eメール asano@k-i-f.co.jp 携帯メール boss,kettu2000@i.softbank.jp

携帯電話 090-8634-7157

第 62 回東洋東南アジアライオンズ (OSEAL=オセアル) フォーラム 開催概要・事業計画書

1.会議の名称

東洋東南アジアライオンズフォーラム (第 62 回 Lions International OSEAL FORUM SAPPORO)

2.開催年月日 2025 年 10 月 16 日 (木) ~ 10 月 19 日 (日) 4 日間 もしくは
2025 年 10 月 23 日 (木) ~ 10 月 26 日 (日) 4 日間

3.開催場所 札幌ドーム・札幌コンベンションセンター・京王プラザホテル札幌 他

4.総参加者数 12,000 人 (うち国外参加者数 3,700 人、道外参加者の割合 70%)

5.国外参加者の国名

アメリカ・グアム・台湾・香港・シンガポール・マレーシア・韓国・中国・タイ・フィリピン・ミャンマー・モンゴル・

6.助成金申請団体名及び代表者名

団体名 ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区 (北海道全域)

代表者名 ライオンズクラブ国際協会 331 複合議長兼 331-A 地区ガバナー 鶴嶋浩二
第 62 回 OSEAL FORUM SAPPORO 組織準備委員会 委員長 鶴嶋浩二

7.会議の概要

目的 東洋東南アジア地域のライオンズクラブ会員の会員相互の友好、親善、経験交換

テーマ 『 WISH ~LAT.43°N~ 』

願い 北緯 43°

共生と循環 未来の子供達のために



<ライオンズクラブ組織概要>

ライオンズクラブ国際協会(LCI)

世界最大の社会奉仕団体(NGO 団体=非政府組織)。

世界 50,019 クラブ 会員約 1,400,048 人

日本 2,839 クラブ 会員約 102,116 人

<OSEAL=オセアル会則地域概要>

OSEALとは Orient and Southeast Asian Lions の略。

日本、台湾、フィリピン、香港、マカオ、マレーシア、シンガポール、ブルネイ、韓国、タイ、グアム、

ミクロネシア、中国、サイパン等の国または領域を総称した会則地域(世界で 7 つの会則地域)。
東洋東南アジアライオンズフォーラムが大会の正式名称。
札幌市での OSEAL フォーラムは 41 年ぶりに開催される。

8. 関連プログラム

OSEALFORUM 開会式・閉会式、ライオンズクラブの各種ミーティング及びセミナーの開催のほか、テーマ『 WISH ~LAT.43°N~ 』 共生と循環 未来の子供達のためにと題し、環境・循環 (3R : リデュース・リユース・リサイクル) ・共生・子どもの 4 つへ焦点をあて、OSEAL フォーラムへ参加するすべての人々が関われる仕組みを作り、未来の子供達のために今からでも実践できることをこの北海道から発信する。

(1) 企業展示に関すること (札幌市内の企業等の参加の有無やビジネスマッチング等の機会の有無など)
予定

(2) 当該会議の分野に関する視察 (テクニカルツアー) の開催に関すること
予定

(3) 当該会議の開催にあわせた CSR 活動や環境配慮プログラムの開催に関すること
環境・循環・共生・子どもの 4 つへ焦点をあて、OSEAL フォーラムへ参加するすべての人々が関われる仕組みを作り、未来の子供達のために今からでも実践できることを行う。

1) 当日のプログラム誌等については、QR コード等で読み込み全ペーパーレスにする。

2) アルミ缶・ペットボトルキャップをリサイクル回収し、2025 年までの 3 年間の取組みを数値化する。

フォーラムのオープニング時には 3 年間の取組み成果量を発表。あわせてフォーラム終了時まで各種セミナー会場となる場所でも取組んでいき、フィナーレ時にどれくらい省エネ・環境保全へ繋がっているかを発表する。

取組み方法としては、アプリなどを使用予定。

①回収したアルミ缶はリサイクルへ出し、収益については植樹を行う苗木の購入費とする。

植樹苗木の目標数は、3 年間で 12,000 本分。

②回収したペットボトルキャップはオブジェの作成と、リサイクル収益についてはライオンズクラブ国際財団 (LCIF) へ寄付を行い、世界の子どもたちへワクチンを提供する。

あわせて、ペットボトルキャップで北海道らしいまたはご当地キャラクターなどのオブジェを制作しフォーラム期間中展示を行う。(展示場所についてはこれから検討)

(例 : ワクチン 1 本分 (約 2 kg) のペットボトルキャップオブジェの制作ほか)

<参考>・小児マヒ (ポリオ) ワクチン : 一人分約 20 円 キャップ約 500 個
・三種混合ワクチン : 一人分約 114 円 キャップ約 2860 個
・はしかワクチン : 一人分約 95 円 キャップ約 2500 個
・BCG (結核) : 一人分約 7 円 キャップ約 180 個

③オブジェの制作は、子どもから大人まで一般市民を巻き込み制作を行う。

④植樹などを含めた環境保全の取組みについて→「ライオンズの森づくり（仮称）」

・植樹の取組みは、2022年から開始し様々な環境保全活動の取組みを通じて、「OSEAL To The Future プロジェクト（仮称）」SDGsの17を目指していることを発信する。

2025年開催のOSEALフォーラムまでに12,000本の植樹を目指し、ライオンズクラブ国際協会331複合（A・B・C）全体で「ライオンズの森づくり」の取組みを通じて、未来の子どもたちへつなぐ循環型社会・環境課題への対応や持続可能な森づくりを継続的に行うことを目指す。また、フォーラムにおいてライオンズクラブ国際会長や国際理事、役員で記念植樹を行う。

・植樹などを含めた環境保全の具体的な取組み案としては、森林組合などへも協力をお願いし活動エリアにおいて間伐・森林保全のための草刈りや植樹、地域美化活動などを定期的に行う。また、各地域ライオンズクラブメンバー・企業で自然共生活動に賛同していただける方を募り、ボランティアによりゴミ拾い・草刈りなどを行い環境保全への意識づけと、未来の子どもたちへつなぐ循環型社会・環境課題への対応や持続可能な森づくりの動機づけとする。

・活動の記録については、植樹等の活動を行った場所、植えた苗木の種類、手入れの様子などを写真や動画に記録し、いつ、だれが、どこに、何を、同様な方法で行ったかを見える化を行い、活動の様子をフォーラムで発表する。

(4) 市民向けの講演会・セミナーや出前授業の開催に関すること

1) 子ども達が参加できる「世界どうぶつ環境会議」の開催。→「Animal SDGs」

「世界どうぶつ環境会議」とは、子どもたちが様々な動物や生き物の立場に立って参加する体験型ワークショップで環境問題と人間と動物（例：絶滅危惧種・外来種なども含む）の共生について考える会議である。

開催は、2022年度はプレで、2023年度～2025年度にかけてそれぞれの地域で行い、2025年フォーラムにて全体会議を開催する予定。

2) 多様性を認め合う共生社会を目指し、「LGBTについて知る」セミナーの開催

3) ボッチャ競技の開催

ボッチャ競技は、重度の障害の方々の体力や筋力の向上など身体的効果へ繋がる競技として知られている。

近年は、障害の有無に関わらず、老若男女誰でも簡単に楽しく取り組むことができるレクリエーションやリハビリの一端として導入している施設もある。

(5) エクスカーション・同伴者を対象としたプログラムなどに関すること（双方とも開催予定）

1) 札幌ピリカコタン、ウポポイなどの施設見学

2) アイヌ文化の体験

・アイヌ文様切り紙づくり

・ミニ縄文太鼓の制作

・間伐材などでアイヌ模様のモニュメントやコースターの制作

3) クマの木彫り体験

4) 北海道の食文化の体験（具体的な内容は検討中）

9.札幌以外の開催候補地（国・都市名）および開催地の決定時期ならびに決定までの流れ

- (1) 開催地候補：台湾台北市、マレーシアの複数都市が検討中
- (2) 開催地の決定時期：2022年11月中旬頃
- (3) 決定までの流れ：ライオンズ国際協会 OSEAL 事務局へ申請書 2022年5月提出→2022年8月韓国済州島オセアルステアリング会議にてプレゼンテーション予定→ステアリング委員会視察（2022年7月～10月）→2022年11月中旬正式決定

10.この会議の過去5回の開催履歴（開催年月、開催都市名、おおよその総参加者数）

	フォーラム開催地		登録者数
第56回	2017年	台湾	24,584
第57回	2018年	海南島/中国	7,000
第58回	2019年	広島/日本	12,000
第59回	2020年	延期	—
第59回	2021年	延期	—
第59回	2022年	済州島/韓国	—
第60回	2023年	マニラ/フィリピン	—
第61回	2024年	パタヤ/タイ	—

11.その他の情報について

- (1) 申請者が関わる会議で、現在札幌を開催候補地として検討している会議情報について
 - 1) G A T (Global Action Team) 会議
 - 2) L C I F (ライオンズクラブ国際財団) 会議
 - 3) P I D (Past International Director=元国際理事)・PDG (Past District Governor=元地区ガバナー) 会議
 - 4) 議長と地区ガバナーの会議 など
- (2) 一定の参加者（発展途上国からの参加者や若手研究者など）に対する参加登録費や旅費の補助
予定無
- (3) ふるさと納税の活用（札幌市及び北海道）を検討中
- (4) 経済波及効果
北海道全体の総額：約 30 億円
札幌市の総額：約 26 億円
※宿泊事業、観光事業、飲食事業などへの波及効果が期待される。



2024年スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム 大会開催概要

スペシャルオリンピックス日本では、知的障害のある人たちにスポーツトレーニングの成果の発表の場であるナショナルゲームを夏季・冬季4年ごとに開催しており、次回冬季大会として、2024年スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲームを開催いたします。

なお、本大会は、2025年開催予定(開催地未定)のスペシャルオリンピックス冬季世界大会への日本選手団選考を兼ねて開催いたします。

■ 大会名称: 2024年第8回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム
(略称)スペシャルオリンピックス2024長野 / スペシャルオリンピックス2024北海道

■ 開催日程: 2023年11月18日(土)~2024年2月25日(日)

2023年11月18日(土)、19日(日) ※選手団は11月17日(金)入り

(競技) フロアホッケー/フロアボール

(会場) ホワイトリング ※長野県長野市

2024年2月11日(日)、12日(月祝) ※選手団は2月10日(土)入り

(競技) アルペンスキー/スノーボード/クロスカントリースキー/スノーシューイング

(会場) 名寄ピヤシリスキー場 / なよろ健康の森 ※北海道名寄市

2024年2月24日(土)、25日(日) ※選手団は2月23日(金)入り

(競技) フィギュアスケート/ショートトラックスピードスケート

(会場) ビックハット ※長野県長野市

■ 開催地: 長野県長野市/北海道名寄市 ※分散開催

■ 参加規模(見込み): 10,300名

- アスリート / 650名

- 役員・コーチ / 350名

- 大会役員・審判 / 300名

- ボランティア / 2,000名

- 観客 / 7,000名

■ 実施競技: 8競技

雪上競技: アルペンスキー、スノーボード、クロスカントリースキー、スノーシューイング

氷上競技: フィギュアスケート、ショートトラックスピードスケート

フロア競技: フロアホッケー、フロアボール

■ 主催: 公益財団法人スペシャルオリンピックス日本

■ 運営: 2024年スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム 大会実施委員会

■ 特別協力: 公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・長野

特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・北海道

■ 後援(予定): スポーツ庁、厚生労働省、(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本オリンピック委員会、
(公財)日本パラスポーツ協会、(公社)日本医師会、他

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本

TEL:03-6809-2034 / FAX:03-3436-3666 / E-mail:tokyo_office@son.or.jp



■ スペシャルオリンピックスとは

スペシャルオリンピックス日本(SON)は、知的障害のある人たちにスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。スペシャルオリンピックス日本は、スペシャルオリンピックス国際本部より国内本部組織として認証を受け、日本国内での活動を推進しています。

■ スペシャルオリンピックスの特徴

ディビジョニング: スペシャルオリンピックスの競技会・大会では、可能な限り同程度の競技能力のアスリート同士で競技できるように、性別、年齢、競技能力などによってグループ分け(ディビジョニング)を行います。このディビジョニングによって、能力を十分に発揮できると考えています。

全員表彰: スペシャルオリンピックスの競技会・大会に参加した全てのアスリート(失格等を除く)が表彰台上がり、全てのアスリートに、メダルやリボンがかけられます。順位だけでなく、競技場に立ち最後まで競技をやり終えた事に対して、一人一人にかわらぬ栄誉が贈られます。

■ スペシャルオリンピックス日本ナショナルゲームについて

地域での日常のスポーツトレーニングの成果を発表する場として、4年に1度、夏季・冬季のナショナルゲーム(全国大会)を開催しています。

開催年	開催地	競技数	参加地区数	参加者数
1995年	熊本	5競技		アスリート137名 / コーチ他64名
1996年	宮城 福岡	1競技		アスリート34名 / コーチ他17名
		2競技		アスリート45名 / コーチ他21名
1998年	神奈川	8競技		アスリート194名 / コーチ他134名
2000年	長野	3競技		アスリート121名 / コーチ他81名
2002年	東京	11競技	21地区、2設準 ※海外4カ国	アスリート816名 / コーチ他546名
2004年	長野	7競技		アスリート620名 / コーチ他393名
2006年	熊本	12競技	32地区、8設準	アスリート1016名 / コーチ他560名
2008年	山形	7競技	29地区、3設準	アスリート533名 / コーチ他330名
2010年	大阪	12競技	38地区、8設準	アスリート1042名 / コーチ他591名
2012年	福島	7競技	31地区、2設準	アスリート574名 / コーチ他320名
2014年	福岡	12競技	42地区、5設準	アスリート975名 / コーチ他593名
2016年	新潟	7競技	31地区	アスリート614名 / コーチ他329名
2018年	愛知	13競技	47地区	アスリート996名 / コーチ他606
2020年	北海道	7競技	37地区	アスリート616名 / コーチ他341名 ※中止
2022年	広島	12競技	47地区	アスリート・パートナー 826名 / コーチ他482名

※設準…設立準備委員会のこと ※2020年大会は新型コロナウイルスの影響により中止

■ スペシャルオリンピックス日本 オフィシャルスポンサー(2022年時点)



TOYOTA

AOI Pro.

SoftBank



Lions Clubs International

BA



公益財団法人スペシャルオリンピックス日本

TEL:03-6809-2034 / FAX:03-3436-3666 / E-mail:tokyo_office@son.or.jp

2023-2024年度 331複合地区・各準地区 予定表

2023年8月4日現在

ガバナー協議会

第1回	2023年8月17日(木) ・京王プラザホテル札幌
第2回	2023年11月14日(火) 札幌パークホテル
第3回	2024年3月4日(月) 京王プラザホテル札幌

各地区キャビネット会議

	第1回	第2回	第3回	第4回
A地区	2023年7月31日(月)	2023年10月30日(月)	2024年2月5日(月)	2024年4月8日(月)
B地区	2023年7月29日(土)	2023年11月18日(土)	2024年2月17日(土)Web	2024年4月6日(土)
C地区	2023年8月7日(月)	2023年10月21日(土)	2024年1月27日(土)	2024年3月23日(土)

第70回年次大会

A地区	2024年5月12日(日) 札幌パークホテル
B地区	2024年4月20日(土) 稚内総合文化センター
C地区	2024年4月26日(金)
複合	2024年5月25日(土) 京王プラザホテル札幌

一般社団法人日本ライオンズ 社員総会

第1回	2023年8月8日(火)
第2回	2023年12月6日(水)
第3回	2024年3月19日(火)
第4回	2024年6月5日(水)

LCIF理事長公式訪問	2023年9月15日(金)	札幌 プリンスホテル 国際館パミール
鶴嶋浩二国際理事就任祝賀会	2023年9月16日(土)	京王プラザホテル札幌
A.P.シン国際第二副会長来日	2023年9月29日(金)	MD330~333合同セミナー(東京)

OSEAL フォーラム・国際大会

第105回国際大会	2023年7月7日(金) ~11日(火)	アメリカ・ボストン
第60回東洋東南アジアライオンズフォーラム	2023年11月2日(木) ~5日(日)	マニラ・フィリピン
第106回国際大会	2024年6月21日(金) ~25日(火)	オーストラリア・メルボルン

L C I F (7~9月) 状況

LCIF献金実施状況一覧 2023年7月度

R	Z	クラブ名	MJF一括		MJF分割		その他個人		その他クラブ		LCIF合計		期首からの累計	
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	1	函館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		江差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		北檜山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		奥尻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館一楽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	函館北斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		木古内知内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		松前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
R合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2	1	小樽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		余市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		岩内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		黒松内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	小樽中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		倶知安	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小樽みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ニセコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小樽うしお	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		R合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	1	室蘭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		洞爺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		伊達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	登別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		室蘭東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		白老	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		登別中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
4	1	函館東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館海峡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		上磯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館元町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館臥牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	八雲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館グリーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
5	1	苫小牧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		静内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		門別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		新冠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		苫小牧ハス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	むかわ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		苫小牧中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		安平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		厚真	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		苫小牧白鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
地区合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

LCIF献金実施状況一覧 2023年8月度

R	Z	クラブ名	MJF一括		MJF分割		その他個人		その他クラブ		LCIF合計		期首からの累計		
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
1		函館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		江差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		1 北檜山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		奥尻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		函館一楽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		2 函館北斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		木古内知内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		松前	1	1,000	70	2,450	0	0	0	0	71	3,450	71	3,450	
R合計			1	1,000	70	2,450	0	0	0	0	71	3,450	71	3,450	
2		1 小樽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		余市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		岩内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		黒松内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		2 小樽中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		倶知安	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		小樽みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		ニセコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
				小樽うしお	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
3		1 室蘭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		洞爺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		伊達	1	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1	1,000	1	1,000
		2 登別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		室蘭東	0	0	40	4,000	0	0	0	0	0	40	4,000	40	4,000
		白老	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		登別中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
R合計			1	1,000	40	4,000	0	0	0	0	41	5,000	41	5,000	
4		1 函館東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		函館海峡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		上磯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		函館元町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		函館臥牛	0	0	3	297	0	0	0	0	0	3	297	3	297
		2 八雲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		函館中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		函館グリーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		函館みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
R合計			0	0	3	297	0	0	0	0	3	297	3	297	
5		1 苫小牧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		静内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		門別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		新冠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		苫小牧ハス	1	3,000	0	0	0	0	0	0	0	1	3,000	1	3,000
		2 むかわ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		苫小牧中央	9	9,000	0	0	0	0	0	0	0	9	9,000	9	9,000
		安平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		厚真	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		苫小牧白鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
R合計			10	12,000	0	0	0	0	0	0	10	12,000	10	12,000	
地区合計			12	14,000	113	6,747	0	0	0	0	125	20,747	125	20,747	

LCIF献金実施状況一覧 2023年9月度

R	Z	クラブ名	MJF一括		MJF分割		その他個人		その他クラブ		LCIF合計		期首からの累計	
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	1	函館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		江差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		北檜山	0	0	0	0	0	0	1	137	1	137	1	137
		奥尻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館一乗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	函館北斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		木古内知内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	松前	0	0	0	0	0	0	1	239	1	239	72	3,689	
R合計			0	0	0	0	0	0	2	376	2	376	73	3,826
2	1	小樽	0	0	0	0	0	0	1	247	1	247	1	247
		余市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		岩内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		黒松内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	小樽中央	0	0	0	0	0	0	1	123	1	123	1	123
		俱知安	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小樽みなと	0	0	0	0	0	0	1	260	1	260	1	260
		ニセコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小樽うしお	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R合計			0	0	0	0	0	0	3	630	3	630	3	630
3	1	室蘭	1	1,000	0	0	0	0	0	0	1	1,000	1	1,000
		洞爺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		伊達	1	1,000	0	0	0	0	0	0	1	1,000	2	2,000
	2	登別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		室蘭東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	4,000
		白老	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		登別中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R合計			2	2,000	0	0	0	0	0	0	2	2,000	43	7,000
4	1	函館東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館海峡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		上磯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館元町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館臥牛	0	0	0	0	0	0	1	20	1	20	4	317
	2	八雲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館グリーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R合計			0	0	0	0	0	0	1	20	1	20	4	317
5	1	苫小牧	1	1,000	0	0	0	0	0	0	1	1,000	1	1,000
		静内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		門別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		新冠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		苫小牧ハス	1	1,000	0	0	0	0	0	0	1	1,000	2	4,000
	2	むかわ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		苫小牧中央	5	5,000	52	5,200	0	0	1	356	58	10,556	67	19,556
		安平	0	0	0	0	0	0	1	198	1	198	1	198
		厚真	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		苫小牧白鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R合計			7	7,000	52	5,200	0	0	2	554	61	12,754	71	24,754
地区合計			9	9,000	52	5,200	0	0	8	1,580	69	15,780	194	36,527

マンスリーレポート

月次マンスリーレポート集計(リジョン別明細) 2023年 8月 産

Table with columns for 1R, 2R, 3R, 4R, 5R and various metrics like 件数, 金額, 人x時, 回数, 探血量, 回診, etc. The table is organized into 5 main regions (1R-5R) and includes sub-totals for each.

委員会活動報告

- 地区コーディネーター 活動方針
- ゾーンチェアパーソン 活動方針
- 各地区委員会 活動方針

【活動報告】

地区 GET コーディネーター
L 高橋 伸介(室蘭東 LC)

この度、地区 GET コーディネーター(グローバルエクステンションチーム)を拝命致しました L 高橋 伸介と申します。

1 年間皆様のご協力宜しくお願い致します。

この GET は今期より 2027 年 7 月までに定められたミッション 1.5 ミリオン(全世界で会員数を 150 万人に増強し、新クラブ結成の計画立案を実行するためにチームとしてスタート致しました。

LC は現在、約 5 億人に奉仕活動を提供しておりますが今後は 10 億人に奉仕をする組織を目指し全日本で 500 名の純増を掲げております。

渡部ガバナー・斉藤第 1 副地区ガバナーと各コーディネーター・ゾーンチェアパーソンと連携し新会員純増に向けて GAT チームの一員として 1 年間行動して参りますので宜しくお願い申し上げます。

今後の活動内容

- 今後開かれる諮問委員会にてゾーンチェアパーソンと連携しミッション 1.5 ミリオンの説明を行い、各クラブと意見交換等行って参ります。
- 現状の会員の退会防止も本当に大切な事なことなので各クラブ会長へ退会防止のお願いを致します。
- 今期の渡部ガバナーの目標(1つの新クラブ結成と、新会員 10 名の純増)について各クラブの会長に今期の方針説明を行って参ります。

【活動報告】

地区 GMT コーディネーター
L 庄司 典弘 (室蘭 LC)

1. 各種会議 (7月～9月)

2023年7月 21 日 GAT ミッション1.5キックオフ会議

会場 TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋

2023年8月7日 第1回キャビネット会議

会場 グランドホテルニュー王子

2023年9月4日 ゾーン・チェアパーソン会議

MD331ガバナー協議会主催 ZOOM 会議

2. 地区 GMT 活動報告 (7月～9月)

2023年7月～9月末までの会員数 推移

期 首 クラブ数 43 会員数 1465名

7月末 入会者 40名 退会者 12名 会員数1493名(内家族会員231名)

8月末 入会者 9名 退会者 1名 会員数1501名(内家族会員231名)

9月末 入会者 6名 退会者 4名 会員数1503名(内家族会員234名)

9月末現在 期首より38名増加している

・現在、他クラブ支部の活動内容を参考にさせていただき(資料もいただき)まだクラブ支部がない第3Rにて活動中、また第5Rでも動きがあり同時に活動継続していきたいと思っております。

・ミッション1.5が国際会長から発信され2027年6月30日までに世界の会員数を150万人に増やすための取り組みです。名古屋の全国会議にも出席させていただきましたが、国際理事自身も自ら、会員増強の目標を持たされている状況の中で331-C地区は純増+20名の目標を与えられましたのでそれを外すわけにはいきません。昨年度は会員数純増+1名でしたが、2019年度から3年続いた純増△100名超、期初から行ってきたGATの活動が成果を生み出したものと考えられます。全国会議の中でも最低月1回の地区とGATでのミーティング実施を提案されておりますので、今年度もGATメンバー(GMT,GET,GLT,FWT,GST)が各地区の地区ガバナー諮問委員会に出席して、会員増強状況・退会者状況を把握していければと考えておりますので、各ZCの協力をお願いしたいと思っております。

【活動報告】

331-C 地区 GLT コーディネーター
L 山本 憲治 (小樽みなど)

新型コロナウイルスもまだまだ先行き不透明なところではありますが各クラブも例会及びアクティビティーが実施できる状況となりつつあるものと思います。我々各コーディネーターも研修会等を実施すべく準備を進めているところです。今年度もスタートしてから早三か月がたちました。ZCの皆様に以下の項目について各クラブに再確認及び助言をお願いします。

1. クラブの現状把握

クラブ GAT の結成 → 原則 クラブ三役・第一副会長
クラブ構成員の現況把握 → 在籍年数と実年齢
同役職経験や理事経験のマンネリ化 → 運営メンバーの固定化

2. アクティビティーの実施状況

内容とメンバーの参加状況
地域における認知度 → 地域他団体との連携

3. 例会の実施状況

内容と参加状況
参加者間のコミュニケーション → 新会員とベテランメンバー

4. 会員増強

新会員勧誘名簿の作成 → メンバー全員でチェック
→ メンバー間のコミュニケーション
退会会員の抑止 → 特にベテランメンバー

5. 今後

若年会員の役職経験
クラブ活動の認知度アップ → 新会員勧誘に有効

【活動報告】

SCP・FWTコーディネーター

L荒川 祥子(倶知安LC)

1. 各種会議 (6月～9月)

- 6月29日 2023-2024研修会
- 8月 7日 第一回キャビネット会議
- 8月10日 ガバナー公式訪問(2リジョン)
- 9月 4日 ゾーン・チェアパーソン(ZOOM)会議
- 9月15日 LCIFシーハン理事長公式訪問(札幌)
- 9月22日 ゾーン・チェアパーソンセミナー
公認ガイディング・ライオン研修(札幌)

2. 地区SCP・FWT活動報告

◎ ヘアードネーション(7月～9月)

331-C地区ヘアードネーション数 45件

白老LC	4件	登別LC	3件
函館中央LC	1件	小樽LC	1件
余市LC	2件	苫小牧中央LC	4件
室蘭LC	3件	静内LC	3件
木古内知内LC	1件	室蘭東LC	3件
ニセコLC	2件	函館臥牛LC	16件
倶知安LC	1件	北桧山LC	1件

小児ガン治療の副作用などで、髪の毛を失った18歳以下の子どもたちへ、髪の毛を寄付する活動です。1つのウィックを作成するのに約30人分の髪の毛が必要です。

◎ たんすに眠る外貨募金(7月～9月)

331-C地区 外貨募金件数 0件 合計 0円

外貨募金は、集めた外貨紙幣・コインを日本円に換金して小児ガンの子ども達への支援活動にあてます。換金不可能の外貨については、日本キリスト教海外医療協力会に寄付をし、アフリカやタンザニアの助産師学校や看護学校に通う生徒への学費になっています。

◎ こどもの未来古本募金(7月～9月)

331-C地区 古本募金件数 0件 0円

10年以上前に出版した本は値段がつきません。出版された日付が本の最後のページに記載がありますのでご確認下さい。また、本の裏表紙に、ISBN(本の番号やバーコード)が付いてないものは査定することが出来ませんのでご注意下さい。

◎ 使用済み眼鏡リサイクル(7月～9月)

331-C地区 使用済み眼鏡数 0件

収集された中古眼鏡は再利用化され、眼鏡が無く困窮している地域に送られています。日本では、唯一、332-C 地区に眼鏡リサイクルセンターがあり(平成29年設立)、「福祉的就労に従事する障害者」に眼鏡リサイクル作業を依頼し、再利用化されたリサイクル眼鏡を発展途上国において海外医療奉仕活動を行う医師を通して「眼鏡を必要とする患者や屈折障害を持つ生徒達に向け」発送しています。

※現在は、眼鏡ケースの回収はしていませんので、ご注意ください。

◎ 女性・家族会員増強報告(7月～9月)

※ 331-C地区LC全会員数 7月初め1,465名 9月末日1,503名

《女性会員》 12名増加(新入会員15名・退会会員3名)

7月初め 277名 → 9月末日 289名

《家族会員》 3名増加(新家族会員9名・退会会員6名)

7月初め 231名 → 9月末日 234名

◎ クラブ支部結成報告(7月～9月)

331-C地区結成クラブ支部 0件

《既存クラブ支部 7クラブ支部》

- ・木古内・知内LC 若獅子会支部
- ・黒松内LC わかぶな会支部
- ・函館東LC こどもサポートクラブ支部
- ・函館東LC メディカルケアピープル支部
- ・函館東LC 函館東わんぱく相撲サポートクラブ支部
- ・函館グリーンLC アミカル支部
- ・苫小牧ハスカップLC 友絆会支部

クラブ支部は、5名から結成することができます。親クラブの例会・奉仕事業のほか、独立した例会を開き、独自の奉仕事業や活動に取り組みます。

2022年4月より日本では民法改正により成人の定義が18歳となり、これにより未来を担う若者たちに入会への招聘が出来る事となりました。

現在、18歳以上の学生のクラブ支部も出来ております。

【活動報告】

GST コーディネーター
L 坂本将一(苫小牧 LC)

1. 公式訪問同行－アクティビティヒアリング

8月8日小樽、8月9日森、8月30日黒松内、8月24日函館、
8月26日木古内、8月30日東室蘭、9月6日苫小牧

ガバナー方針であるアクティビティの検証依頼

2. ライオンズ国際協会奉仕アワードエントリー

要綱を 2023 年 9 月 9 日メールにて各クラブへご案内

エントリーライオンズ
苫小牧ライオンズクラブ
苫小牧ハスカップライオンズクラブ
苫小牧白鳥ライオンズクラブ

【活動報告】

LCIF 副コーディネーター
L 作並 真一（函館みなと LC）

今期 331-C 地区での目標額は 120,000 \$ です、10 月現在 38,091 \$ と 31.7% 達成しております

今後も継続して、地区ガバナー諮問委員会等々を通じて ゾーンチェアパーソン及び LCIF 委員会 各リジョンの委員のみなさまのお力添えを賜り

120,000 \$ の目標に向かって、331-C 地区 会員の皆様一人一人に 100 \$ のお願いをして参りたいと思います

会員の皆様のご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

【活動報告】

第 1 R 第 1 Z
ZC L 石戸 保(松前 LC)

8月 7日 第1回キャビネット会議 参加(苫小牧グランドホテルニュー王子)

8月19日 第1回ガバナー諮問委員会実施(函館ロイヤルシーサイド)

全8クラブ出席にてガバナー基本方針の説明
ゾーンチェアパーソン方針説明
キャビネット会議の要点を説明
各クラブ活動方針とクラブの現状説明

8月24日 在函クラブ ガバナー公式訪問に出席

8月26日 木古内・知内LC・松前LC合同 ガバナー公式訪問に出席

9月 2日 北檜山・奥尻・江差LC合同 ガバナー公式訪問に出席

9月22日 ゾーンチェアパーソンセミナー・公認ガイディング・ライオン研修に参加

9月30日 函館東LC 創立65周年記念式典に参加

10月・11月に8クラブ例会訪問する予定です。

ゾーンチェアパーソン報告書

1 R 1 Z ゾーンチェアパーソン L 石戸 保

①統一アクティビティの進捗状況について ②貴クラブの面白アクティビティを紹介してください ③会員増強の進捗状況及び具体的な取り組み方法 ④家族会員について ⑤LCIFの貴クラブの考え方 ⑥例会以外の会員交流の有無及び方法

クラブ名	会員動向			備考(質問)
函館	期首 22名 (家族会員 8名) (女性会員 7名)	① まだです。	④ 大体入会しています。	
	新会員増強目標 1名	② ホタル観賞会	⑤ 100\$達成しています。	
	クラブ支部新設目標	③ 会員増強の進捗状況 : 2~3名の増強予定	⑥ 各会員の付き合いのあるパーティーに	
	家族会員新規 増員目標 スペシャリティークラ ブ支部新設目標	具体的な取り組み方法 : ひたすら声掛け	積極的に数人で参加している。	
江差	期首 9名 (家族会員 3名) (女性会員 4名)	① 10月 江差ライオンズクラブ旗争奪軟式少年野球大会 2月 ミーナ募金 3月 江差・上ノ国・乙部新1年生記念品	④ 今のところ、これ以上の家族はいない 現在3名	
	新会員増強目標 0名	②	⑤ 人数が少ないので、LCIFの分、 自分達クラブの事業ができるまで 今はお休み中	
	クラブ支部新設目標	③ 会員増強の進捗状況 :	⑥ 夜の集まり	
	家族会員新規 増員目標 スペシャリティークラ ブ支部新設目標	具体的な取り組み方法 : 声掛け	飲み会	
北檜山	期首 24名 (家族会員 5名) (女性会員 4名)	① 開催時期検討中	④ 家族会員2名目標→1名入会 (前回報告と変動なし)	
	新会員増強目標 5名	②	⑤ モロッコ・マウイ支援→出資手続き中 (9/21例会にて承認)	
	クラブ支部新設目標	③ 会員増強の進捗状況 :	⑥ 各会員所属の他団体事業等にて交流あり	
	家族会員新規 増員目標 スペシャリティークラ ブ支部新設目標	正会員3名目標→2名入会(前回報告と変動なし)	一部メンバーはプライベート交流もあり	
		具体的な取り組み : 若年層を中心に声掛け継続中		
奥尻	期首 12名 (家族会員 0名) (女性会員 0名)	① 青少年アクティビティ(金銭)実施	④ 基金は、一人当たり50\$に決定	
	新会員増強目標 0名	② 特になし	⑤ なし	
	クラブ支部新設目標	③ 会員増強の進捗状況 : なし	⑥	
	家族会員新規 増員目標 スペシャリティークラ ブ支部新設目標	具体的な取り組み : なし		
函館 北斗	期首 33名 (家族会員 7名) (女性会員 8名)	① 頑張っております。	④ 難しい	
	新会員増強目標 3名	② コスモロード 少年武道大会	⑤ 特にないです。	
	クラブ支部新設目標	ジュニア水泳大会	⑥ 臨時移動例会など	
	家族会員新規 増員目標 スペシャリティークラ ブ支部新設目標	③ 会員増強の進捗状況 : 難しい(一楽LCの方にとられてる)	焼肉例会、サウナ例会	
		具体的な取り組み : 声掛け		

ゾーンチェアパーソン報告書

1 R 12 ゾーンチェアパーソン L 石戸 保

①統一アクティビティの進捗状況について ②貴クラブの面白アクティビティを紹介してください ③会員増強の進捗状況及び具体的な取り組み方法 ④家族会員について ⑤LCIFの貴クラブの考え方 ⑥例会以外の会員交流の有無及び方法

クラブ名	会員動向			備考(質問)
木古内 知内	期首 19名 (家族会員 1名) (女性会員 2名)	① 秋の交通安全街頭啓発(10月10日)	④ 若獅子会へ加入	
	新会員増強目標 5名	② ペットボトルキャップを利用したアート作品製作展示 ライオンズクラブ杯少年野球大会(9月2日)小学生と共同	⑤ クラブ100\$献金推進 シェアリング交付金を活用した新アクトの模索中	
	クラブ支部新設目標	クリスマスパーティー(若獅子会と共催)	⑥ なし	
	家族会員新規 増員目標 スペシャリティークラ ブ支部新設目標	③ 会員増強の進捗状況 : 変化なし 具体的な取り組み : 声掛け運動		
松前	期首 36名 (家族会員 1名) (女性会員 5名)	① 秋の交通安全街頭啓発運動(10月11日)	④ 今年度は2人加入	
	新会員増強目標 2名	② 共同募金啓発活動(大鍋で豚汁を作り提供)	⑤ モロッコ・マウイ支援 入金済み LCIF1人50\$ 入金済み	
	クラブ支部新設目標	③ 会員増強の進捗状況 : 正会員1人入会 具体的な取り組み : 声掛け	⑥ 各会員は他の団体で交流あり その他プライベートで密着した交流	
	家族会員新規 増員目標 スペシャリティークラ ブ支部新設目標			
函館 一菜	期首 40名 (家族会員 5名) (女性会員 6名)	① まだ行った事がないので考えて行きたいと思います。	④ あまり意識はしていない まずは正会員の勧誘に力を入れている	
	新会員増強目標 5名	② 今期は準備期間とし、来期以降は具体的に組みたい ③ 会員増強の進捗状況: 7月1日から正会員14人入会	⑤ ライオンズクラブとして、必要な費用だということ であれば従います。その費用がどれだけ集まって何 にどのようにどれだけ使われたのか情報共有し、意 見し合えるものであれば納得できるので来期以降、 当クラブとしての費用捻出方法を検討します。	
	クラブ支部新設目標	具体的な取り組み方法: 合う人に声をかけてる。特に同世代の人には 積極的に声掛けをしている。	⑥ 昼間だけの例会ではあまり交流出来ないという 声があがり、10月17日夜懇親会開催する事と なった。来季以降、例会開催時間を昼のみではなく 夜の開催も検討する。	
	家族会員新規 増員目標 スペシャリティークラ ブ支部新設目標			

【活動報告】

第2R1Z

ZC L 狩野 敏哉 (余市 LC)

1. ガバナー公式訪問について

小樽4LC+余市 LC 合同地区ガバナー公式訪問を8月8日(火)15:00～小樽ニュー三幸に於いて開催いたしました。役員懇談会では各クラブの会長のスローガン、活動方針数値目標及びアクティビティーの内容確認、会員増強、LCIF 献金の確認を行い、公式訪問例会では渡部ガバナーより熱く燃える施政方針を拝聴致しました。

2. ガバナー諮問委員会について

第1回 第1Z ガバナー諮問委員会を9月16日(土)13:00～小樽ニュー三幸に於いて開催。ガバナー伝達として特に会員増強と新しいアクティビティーの創造、そして LCIF についての特段の協力要請について其々各クラブ会長と話し合う。

又、リジョンフォーラム「GLT 活動方針について」と題して、山本憲治地区 GLT を講師として開催。クラブの現状把握、新会員勧誘に繋がる ACT の創造、CB 派遣を考慮した若手メンバーのクラブ役員登用でのクラブ活性化を計るべく講話を拝聴。

※ クラブ会員の在籍・年齢等の構成比を数値化し利用が肝要。

※ 自クラブの成長・活況が 331-C 地区の安定化に繋がる。

3. ZC クラブ訪問について

8月22日(火) 余市 LC (第1492回例会) にて実施済み。

9月 6日(水) 小樽 LC(CN66 周年例会) にて実施済み。

(※ 以上、前任 ZC 服部秀己)

10月22日(日) 岩内 LC・黒松内 LC 合同例会(黒松内・歌才自然の家)において
上記 LC のクラブ訪問を実施する予定です。

以上、報告致します。

ゾーンチェアパーソン報告書（第2回）

2R-1Z ゾーンチェアパーソン L 狩野 敏 哉

- 質問事項 ① 統一アクティビティの進捗状況について
 ② 貴クラブの面白アクティビティを紹介してください
 ③ 会員増強の進捗状況及び具体的な取り組み方法
 ④ 家族会員について
 ⑤ LCIFの貴クラブの考え方
 ⑥ 例会以外の会員交流の有無及び方法

クラブ名	会員動向			備 考
小 樽	期 首 54名	① 10/29 築港臨海公園の草刈りACTを予定。	④ 新規加入2名を設定。	※ クラブ訪問 9/6
	(家族会員 12名)			CN66周年にて実施済。
	(女性会員 11名)		⑤ クラブとしては\$50と考えておりますが、	(前任ZC 服部秀己)
	新会員増強目標 2名	② 小樽リトルシニアへ野球用品50万円分を贈呈し、 地元野球少年達の未来を応援。	今後の事業計画などにより追加を思慮。	
	クラブ支部新設目標	③ 現在の進捗は、入会1名、退会1名。	⑥ 各委員会会議、各種同好会の開催。	
	家族会員新規 増員目標 2名 スペシャリティークラブ 支部新設目標 なし	具体的な取り組みについては検討中。		
余 市	期 首 54名	① 余市川桜並木清掃(4月)予定	④ 予定なし	※ クラブ訪問 8/22
	(家族会員 1名)	円山公園献眼顕彰碑清掃(5月)予定		第1492回例会にて実施済。
	(女性会員 4名)		⑤ 10月の理事会にて話し合い予定	(前任ZC 服部秀己)
	新会員増強目標 2名	② チャリティー例会(11月)予定		
	クラブ支部新設目標	③ 10月理事会にて会員増強チームを相談予定	⑥ 同好会(ゴルフ、日本酒、パークゴルフ)	
	家族会員新規 増員目標 なし スペシャリティークラブ 支部新設目標 なし	※ 現在53名。(9/23 L中山尚志 逝去)		
岩 内	期 首 37名	① 該当するアクティビティは順調に進んでいます。	④ 家族会員が参加、交流出来る場を 持ちたい。	※ クラブ訪問 10/22
	(家族会員 10名)			岩内・黒松内 合同例会 にて実施予定。
	(女性会員 11名)		⑤ 現在は1L=20ドルですが、 一本釣りでは100ドルの人数を増やします。	
	新会員増強目標 4名	② 道の駅冬まつりの際、雪像制作や滑り台作成、 屋台を出店し売掛金を岩内町の子供達の為に寄付。		
	クラブ支部新設目標	③ 会員増強目標達成。別な会合やイベントと一緒に 参加された方に声をかけ、興味を持って頂き入会	⑥ 例会以外での会員交流あり コロナ前までは麻雀大会を実施。 (岩内近郊で行われるイベントでは声を掛け合い参加)	
	家族会員新規 増員目標 スペシャリティークラブ 支部新設目標 なし			
黒松内	期 首 名	① 5月に統一アクトとしてクリーン作戦を行った。	④ 既に加入済み	※ クラブ訪問 10/22
	(家族会員 名)	今期も町のクリーン作戦と合わせて実施する。		岩内・黒松内 合同例会 にて実施予定。
	(女性会員 名)		⑤ 1人20ドルは変更なし。	
	新会員増強目標 名	② ライオンズ一席の開催。 イベントでのスモークチーズ類、クレープの提供や販売。	例会でのドネーションやイベントの収益金 などで、1人100ドル分を確保する。	
	クラブ支部新設目標	③ メンバー1人1人の声掛け。	⑥ 何らかの形でそれぞれライオンズ以外で 交流している(ビール会 等々)	
	家族会員新規 増員目標 スペシャリティークラブ 支部新設目標 なし	3役でそれぞれ1人増に取り組む。		

【活動報告】

第2R2Z

ZCL 佐藤 裕 (倶知安 LC)

- 6月10日 ガイディングライオン取得
- 8月 8日 ガバナー公式訪問 小樽市 ニュー三幸
小樽 LC、小樽みなと LC、小樽うしお LC、小樽中央 LC、余市 LC、
- 8月10日 ガバナー公式訪問 黒松内町 歌才自然の家
黒松内 LC、岩内 LC 倶知安 LC、ニセコ LC
- 9月15日 LCIF シーハン理事長公式訪問 出席(札幌市)
ライオンズとしての国際貢献とその意義について理事長夫妻
熱い思いをお聞きした。
- 9月17日 諮問会議 小樽市 ニュー三幸
ガバナー方針の確認と各クラブの新規アクティビティと
会員増強目標の説明を受けた。LCIF について努力目標
について各クラブと意見交換をした。

今後の予定

- 10月15日 リジョンコーカス 小樽市
- 11月11日 第2回キャビネット諮問会議
- 11月12日 薬物乱用防止教育認定講習 受講
- 11月16日 ニセコ LC クラブ訪問

※その他 LC は、各クラブと調整中

ゾーンチェアパーソン報告書

2 R 2Z ゾーンチェアパーソン L 佐藤 裕

①統一アクティビティ(地域清掃)の進捗状況について ②貴クラブの面白アクティビティを紹介してください ③会員増強の進捗状況及び具体的な取り組み方法
④家族会員について ⑤LCIFへの貴クラブの取り組み ⑥例会以外の会員交流の有無及び方法

クラブ名	会員動向			備考(質問)
小樽中央	期首 24名	①5月28日蘭島海岸清掃実施	④可能な範囲で呼びかけている。	
	9月現在 23名	10月29日築港臨海公園清掃実施予定		
	(家族会員 名)		⑤昨年度は正会員一人20ドルを送金	
	(女性会員 3名)	②七夕・クリスマス交通安全キャンペーン	今年度も同様の実施を予定	
	(新入会員 名)	小樽少年軟式野球夏季大会へ協賛		
	クラブ支部新設予定有(無) 家族会員増員目標 1名 スペシャルティークラブ支部新設有(無)	③例会の都度、会員1人1人に1名の会員増強を呼びかけ、その候補者へ会員委員長と訪問するよう依頼をしている。	⑥検討中	
倶知安	期首 49名	①2024年5月に実施予定	④	
	9月現在 51名			
	(家族会員) (リレーション会員3名)		⑤1人100ドルのお願いをする予定	
	(女性会員 5名)	②とくに見当たらない		
	(新入会員 3名)			
	クラブ支部新設予定有(無) 家族会員増員目標 名 スペシャルティークラブ支部新設有(無)	③正会員1名、賛助会員2名が入会。 地道に声掛けを実施。	⑥ゴルフ・自転車・旅行など	
小樽みなと	期首 38名	①小樽4LC合同でライオンズデー前後に河川の	④現在予定はありません。	
	9月現在 38名	清掃を予定しています。		
	(家族会員 0名)	②敬老の日に合わせ金婚式を迎えるご夫妻の	⑤100\$寄付達成に向けオークション例会を開催	
	(女性会員 0名)	記念写真の撮影及び贈呈 市役所共催	メンバーから寄贈いただいた品物を入れで	
	(新入会員 名)	資金獲得のオークション例会開催	お買い上げ。売り上げを全額寄付に回す。	
	クラブ支部新設予定有(無) 家族会員増員目標 名 スペシャルティークラブ支部新設有(無)	③5名獲得を目標に若手新会員をメンバーに 入れた委員会を設置。友人・知人の勧誘	⑥ゴルフ、登山等のクラブ活動を実施 登山を通して支部開設を検討中	
ニセコ	期首 36名	①10/3(火)クリーン作戦実施予定	④特に無し	
	9月現在 36名	9:00~11:00 ニセコ町有島方面		
	(家族会員 12名)		⑤今期一人50ドル×会員数分を予定	
	(女性会員 0名)	②特にありません	また、牧野会長が3回目の1000ドル献金予定 (メルビルジョーンズ)	
	(新入会員 0名)		⑥コロナ禍以前にはチャリティゴルフコンペなど 開催していましたのでまた再開したく考えています	
	クラブ支部新設予定有(無) 家族会員増員目標 0名 スペシャルティークラブ支部新設有(無)	③10月中に純増2名予定です		
小樽うしお	期首 22名	①コロナ禍により中止の時もありましたが、毎年	④現在1名に留まっています	
	9月現在 22名	のように行っており、10月中にも行う予定です。(地域清掃)		
	(家族会員 1名)		⑤特にありません	
	(女性会員 名)	②チャリティーダンスパーティー収益の一部を社協へ寄附しております。		
	(新入会員 名)			
	クラブ支部新設予定有(無) 家族会員増員目標 名 スペシャルティークラブ支部新設有(無)	③会員が個々にお声掛けする様になっています	⑥市内4LC・余市LCでゴルフ、パークゴルフ、ボウリング、麻雀大会を行っています	

【活動報告】

第 3 R 第 1 Z ZC
L 片岡 雄也(伊達 LC)

ゾーンクラブ訪問

9月20日洞爺 LC 10月6日室蘭 LC 10月12日伊達 LC

- ① 渡部ガバナー方針説明
- ② クラブ支部開設と会員増強

特にこの二つを強く説明致しました。

また会員増強は一朝一夕にできるものではなく各クラブの奉仕活動の歴史とともに理解が得られるものと思慮していることを伝えました。

ゾーンチェアパーソン報告書

3 R 1 Z ゾーンチェアパーソン L 片岡雄也

第2回キャビネット会議用資料

①統一アクティビティの進捗状況について ②貴クラブの面白アクティビティを紹介してください ③会員増強の進捗状況及び具体的な取り組み方法 ④家族会員について ⑤LGIFの貴クラブの考え方 ⑥例会以外の会員交流の有無及び方法

クラブ名		備考(質問)
室蘭	①使用済切手は例会時に枚数を数え、近く送付予定 ハートフルパークゴルフ 10/14	④ 現在7名
	② チャリティービアパーティ 11/18 (益金の一部を室蘭社会福祉協議会へ寄付予定)	⑤ 年間2000ドル予定 9/28振込 MJF献金(1000ドル)脇坂L
	③ 7月正会員2名入会 9月家族会員3名入会 10月賛助会員1名入会予定	⑥ 特になし
洞爺	①使用済み切手・タオルの収集については 11/30を期日として会員に協力依頼	④ 22名
	②特になし	⑤\$20はクラブから支出。 それ以上については個人判断で。
	③(9/30現在)入会2名、退会者0名	⑥あり。 ゴルフ同好会など同好会活動。お花見
伊達	① 未実施	④ 9名
	②9月第2例会 植樹事業(SDGs目標の実践) 小学校入学式において、鉛筆配りを兼ねた交通安全啓発 5月第1例会 海浜清掃(SDGs目標の実践)	⑤ クラブ全体寄付への取組みはありません。 MJF寄付については、特定メンバーより例年、納付してもらっています。 今後、シェアリング交付金について、クラブ内で議論を深めたいです。
	③7月より、賛助会員1名(伊達市長、入会) 正会員から賛助会員へ3名 家族会員から正会員へ1名	⑥ ゴルフ同好会 年に1, 2回、各委員会の開催(できるだけ食事付きにて)
	①	④
		⑤
	②	
	③	⑥
	①	④
		⑤
	②	
	③	⑥

【活動報告】

第 3 R 第 2 Z
ZC L 門脇 宏幸 (室蘭東 LC)

8月26日室蘭市中島町の蓬岫殿にて第一回地区ガバナー諮問委員会開催致しました。
3R2Z 各クラブ例会訪問につきましては、10月中に行う予定になっております。

ゾーンチェアパーソン報告書

3 R 2 Z ゾーンチェアパーソン L門脇宏幸

①統一アクティビティの進捗状況について ②貴クラブの面白アクティビティを紹介してください ③会員増強の進捗状況及び具体的な取り組み方法 ④家族会員について ⑤LCIFの貴クラブの考え方 ⑥例会以外の会員交流の有無及び方法

クラブ名	会員動向		備考(質問)
登別	期首 14名	①10月13日タオルボランティア予定	④本年 1人目入会予定している
	(家族会員 3名)	10月22日海岸清掃予定、今後使用済み切手も予定	
	(女性会員 2名)	7月にヘアードネーション3件実施済 今後1件予約あり	⑤例年20\$を継続しており
	新会員増強目標	②障がい者施設での節分豆まきの実施	今年度も20\$を予定している。
	3名	他からの依頼が来るほど人気	
	クラブ支部新設目標	③第一例会時に討議を実施している	⑥例会・アクティビティ以外は特になし
家族会員新規増員目標			
スペシャリティークラブ支部新設目標			
室蘭東	期首 48名	① 予定通り活動 ・ヘアードネーション(3件)	④ 家族、親戚以外の登録を可能にしてほしい。
	(家族会員 7名)	・室蘭2LC薬物乱用防止教室(7/19)	
	(女性会員 7名)	・第42回室蘭東LC杯青少年育成弓道大会(9/23)	⑤ 特になし。
	新会員増強目標	② 宮泉学園寄付活動→会員持ち寄り商品をオークション	
	4名	形式で開催、その益金を寄付。	
	クラブ支部新設目標	③ 新規会員(7/1~9/28時点) 4名	⑥ ゴルフ部会、ボウリング部会、旅行部会
家族会員新規増員目標	・声掛け		
スペシャリティークラブ支部新設目標			
白老	期首 33名	① 来春の予定	④家族例会等、参加率が高い
	(家族会員17名)		
	(女性会員 1名)		⑤特にありません
	新会員増強目標	②3クラブ合同例会(登別、登別中央、白老)パークゴルフ	
	3名	をしてからの合同例会、	
	クラブ支部新設目標	③青年会議所等、卒業前から勧誘をする	⑥定期的にゴルフや懇親会交流は有る
家族会員新規増員目標	2名		
スペシャリティークラブ支部新設目標	1		
登別中央	期首 18名	①10月11日タオルボランティア予定	④すこしでも増やしたいと声掛けしています。
	(家族会員 8名)	海岸清掃 10月22日実施予定	
	(女性会員 5名)	今後中古眼鏡、ヘアードネーション予定	⑤全員\$20予定しています。
	新会員増強目標	②クリスマス家族例会など	
	2名		
	クラブ支部新設目標	③会員みんなで声掛け	⑥少人数ですので例会以外でも食事に行ったりしています。
家族会員新規増員目標			
スペシャリティークラブ支部新設目標			
	期首 名	①	④
	(家族会員 名)		
	(女性会員 名)		⑤
	新会員増強目標	②	
	名		
	クラブ支部新設目標	③	⑥
家族会員新規増員目標			
スペシャリティークラブ支部新設目標			

【活動報告】

第 4R 第 1Z

ZC L 嘉堂卓也 (函館臥牛 LC)

ZC クラブ訪問予定

10/18 函館元町 LC 訪問予定(移動例会)

10/24 函館東 LC 訪問予定(移動例会)

11/16 函館海峡 LC 訪問予定(移動例会)

11/28 上磯 LC 訪問予定(CN)

未定 函館臥牛 L(CN)

ゾーンチェアパーソン報告書

4R 1Z ゾーンチェアパーソン L嘉堂卓也

①統一アクティビティの進捗状況について ②貴クラブの面白アクティビティを紹介してください ③会員増強の進捗状況及び具体的な取り組み方法 ④家族会員について ⑤LCIFの貴クラブの考え方 ⑥例会以外の会員交流の有無及び方法

クラブ名	会員動向		備考(質問)
函館東	期首 61名	① 4R一斉清掃	④ まずは正会員～支部新設(5名)～
	(家族会員 8名)	合同クリスマス家族会	家族会員は最終手段かと思う。
	(女性会員 14名)		⑤ 1会員100ドルを目指したいが円安や
	新会員増強目標	② 継続事業の他 周年記念でのヤングケアラー対策	物価高騰で難しい。MJF献金もお願いし
	8名	事業を今後も継続したい。(面白くはない?)	100ドルを達成したいが!
	クラブ支部新設目標	③ 正会員1名入会 正会員入会の呼びかけとクラブ支部	⑥ ゴルフ交流を復活予定
家族会員新規増員目標	の新設を目指し増強につなげる。	他クラブのビアパーティーなどに参加を	
スペシャルティークラブ支部新設目標		呼びかける。	
函館海峡	期首 4名	①在函を中心とする合同アクティビティに積極的に参加	④将来性と即戦力の趣旨から増強を
	(家族会員 1名)	しつつ、献血・植樹の継続アクティビティに力を	考えています
	(女性会員 1名)	注いでいます	⑤100ドル献金を目標としています
	新会員増強目標	②検討中です	
	5名		
	クラブ支部新設目標	③会員相互扶助の趣旨から会員の関連業種	⑥姉妹提携クラブ(京都淀LC・坂出白峰LC
家族会員新規増員目標	又は必要とする業種に係る経営者を加入させる	・八戸東LC)のCNへの積極的参加	
スペシャルティークラブ支部新設目標			
上磯	期首 27名	新会員増強=既に正会員2名増強し現在会員数29名、内女性会員3名	④家族会員は会員増強に必要ではあるがクラブ運営上正会員増強が望ましく、
	(家族会員 7名)	となる。目標の3名になるよう更に努力中。	優先的に正会員増強に力を入れている。。
		①なし	⑤必要な事ではあるがLCIF拠出金の増額要請は会員退会のキッカケとなる。
	新会員増強目標	②なし(面白いかは分からないが市民との交流を目的に)	各会員はそれぞれの立場で必要な寄付行為を実施している。
	3名	北斗市民ゴルフ大会を実施。(通算33回。)	
	クラブ支部新設目標	③商工会会長・観光協会会長がクラブ会員なので各所属	⑥③とリンクするが全ての会員は市内の各種団体に所属しており交流を深めて
家族会員新規増員目標	団体に会員が所属し交流を深めながら会員増強に努力	いる。	
スペシャルティークラブ支部新設目標	している。		
函館元町	期首 31名	①在函11クラブにて海岸清掃ACT予定(来月内にて5月頃)	④考えておりません。
	(家族会員0名)		
	(女性会員3名)		⑤必要な参加しますが、会員の負担も考え、
	新会員増強目標	②会員親睦の為に栗拾いACT(10月15日予定)	出来れば年会費より拠出したいと思います。
	3名		
	クラブ支部新設目標	③ロコミにて勧誘など。	⑥有。仕事関係など。
家族会員新規増員目標			
スペシャルティークラブ支部新設目標			
函館臥牛	期首 3名	①1・4R(一部除く)合同清掃ACT 来年実施予定	④基本的には正会員増に努めたい
	(家族会員0名)		
	(女性会員 1名)		⑤100ドル済(99ドル)
	新会員増強目標	②なし	
	2名		
	クラブ支部新設目標	③状況見ながら家族会員入会の予定	⑥人数が少ないので例会のほとんどが
家族会員新規増員目標		移動外食例会となっている	
スペシャルティークラブ支部新設目標			

【活動報告】

第 4 R 第 2 Z
ZC L 石原 諭 (八雲 LC)

第4R 第1Z・第2Z 合同第1回地区ガバナー諮問委員会は9月4日に開催いたしました。
各クラブ例会訪問ですが、9月6日 森 LC、9月13日 函館中央 LC、
9月14日 函館グリーン LC、函館みなと LC 合同、9月20日 八雲 LC を
最後に第4R 第2Z 5クラブの例会訪問を終了致しました。

ゾーンチェアパーソン報告書

第4R 第2Z ゾーンチェアパーソン L 石原 諭

①統一アクティビティの進捗状況について ②貴クラブの面白アクティビティを紹介してください ③会員増強の進捗状況及び具体的な取り組み方法 ④家族会員について ⑤LCIFの貴クラブの考え方 ⑥例会以外の会員交流の有無及び方法

クラブ名	会員動向		備考(質問)
八雲	期首 34名 (家族会員 8名) (女性会員 0名)	① 検討中です。	④ 現在8名で今後の増員予定はありません
	新会員増強目標 1名	② 特にありません。	⑤ 金額はまだ決定していませんが、献金は予定しています。
	クラブ支部新設目標 家族会員新規増員目標 スペシャリティークラブ支部新設目標	③ JC、商工会青年部の満期退会者に強く声がけ	⑥ 特にありません。
森	期首 36名 (家族会員 0名) (女性会員 2名)	① 献血ACTを7月13日に開催 今後の予定 10月中にライオンズ文庫、 10月10日交通安全アクティビティ	④ 予定なし ⑤ 特にありません
	新会員増強目標 4名	② 特にありません 11月4日 剣道アクティビティ	
	クラブ支部新設目標 家族会員新規増員目標 スペシャリティークラブ支部新設目標	③ 今年度4名入会で目標達成	⑥ 特にありません
函館中央	期首 25名 (家族会員 6名) (女性会員 5名)	① 検討中です。	④ 予定なし ⑤ 特にありません
	新会員増強目標 2名	② 特にありません。	
	クラブ支部新設目標 家族会員新規増員目標 スペシャリティークラブ支部新設目標	③ 特にありません	⑥ 特にありません
函館グリーン	期首 17名 (家族会員9名) (女性会員6名)	① 協調して実施していく	④ 有効策と考え登録している ⑤ 検討中
	新会員増強目標 1名	② 特になし	
	クラブ支部新設目標 家族会員新規増員目標 スペシャリティークラブ支部新設目標	③ 各メンバーが声がけ 計画なし 計画なし	⑥ 他クラブとの合同例会など
函館みなと	期首 31名 (家族会員 14名) (女性会員 13名)	① 在函クラブで行っている会長幹事会の中で検討中です。	④ 既に家族会員に付いては14名おりますが 正会員より運営・活動に活躍しております ⑤ 当該クラブよりLCIF委員長を務めており 地区ガバナー基本に沿って進めている ところで御座います。
	新会員増強目標 3名	② 特にありません。	
	クラブ支部新設目標 家族会員新規増員目標 スペシャリティークラブ支部新設目標	③ 会則委員長を中心に進めております。	⑥ 会員の友人等と食事会を行い、その結果 今期は会員増強につながっております。

【活動報告】

第 5 R 1 Z

ZC L 本多 弘幸 (苦小牧ハスカップ LC)

1. ガバナー公式訪問について

5LC 合同地区ガバナー公式訪問 8 月 18 日(金)15:00~安平町追分公民館、4LC 合同ガバナー公式訪問 9 月 6 日(水)16:00~GH 王子にて開催いたしました。各クラブの会長のスローガン、活動方針数値目標及びアクティビティーの内容確認、会員増強、LCIF 献金の確認を行いました。

2. ガバナー諮問委員会について

第 1 回 第 1Z ガバナー諮問委員会を 8 月 21 日(月)GH 王子桃園にて開催いたしました。ガバナーからの伝達として特に会員増強と新しいアクティビティーについて各クラブ会長から考え方を話し合いました。又、LCIF についても意見をお聞きしました。

3. ZC 公式訪問について

11 月 8 日(水)静内 LC と新冠 LC の合同例会の時に訪問する予定です。
11 月 16 日(木)苦小牧 LC の例会に公式訪問は、調整中です。
最後に、第 2 回ガバナー公式訪問の開催に向け、準備を進めていきたいと思えます。

ゾーンチェアパーソン報告書

5R 1Z ゾーンチェアパーソン L本多 弘幸

①統一アクティビティの進捗状況について ②貴クラブの面白アクティビティを紹介してください ③会員増強の進捗状況及び具体的な取り組み方法 ④家族会員について ⑤LCIFの貴クラブの考え方 ⑥例会以外の会員交流の有無及び方法

クラブ名	会員動向			備考(質問)
苦小牧	期首 23名	①通常通り行っています。	④ 現在2名	
	(家族会員2名)	②港まつりでの出店・・・市民とのふれあい、広報		
	(女性会員7名)		⑤100\$ 献金の重要性について伝えて	
	新会員増強目標 2名	③現在時点で+1名 今のところ予定者はいないがさらに上積したい。	いきます。任意との原則を確認の上 多くの賛同を伝えたいと考える。	
	クラブ支部新設目標	渡部地区ガバナーにご指導頂き新設できればと考える。	⑥行っていない。	
	家族会員新規 増員目標	ありません		
	スペシャリティークラブ 支部新設目標	ありません		
静内	期首 55名	① 随時実施	④ 事業後継者(息子さん等)の勧誘	
	(家族会員3名)			
	(女性会員 0名)		⑤ 20\$ 拠出の予定	
	新会員増強目標 名	② ホッカイドウ競馬応援ACT	(今年度会費を値上げしたので、会員から の拠出をお願いするのが難しい)	
	クラブ支部新設目標	③ 会員増強委員会を設置	⑥ ゴルフ	
	家族会員新規 増員目標			
スペシャリティークラブ 支部新設目標				
新冠	期首 39名	① 使用済み眼鏡収集他	④ 家族会員5名	
	(家族会員 5名)			
	(女性会員 4名)		⑤ LCIF拠出金1L100\$ 拠出予定	
	新会員増強目標 2名	② 道営門別競馬協賛レース「新冠LC杯」実施		
	クラブ支部新設目標	③ 9月2名退会	⑥ 親睦ゴルフ大会他	
	家族会員新規 増員目標	2名入会(10月)		
スペシャリティークラブ 支部新設目標				
苦小牧 ハスカップ	期首 36名	①いつも通り実施中	④クリスマス親睦会などで、声掛けをする	
	(家族会員5名)			
	(女性会員9名)		⑤全員100ドル献金とさらにディスコアクトの	
	新会員増強目標 5名	② 8月4～6日港まつり 参加 10月5日LCIFディスコパーティー	収益金から拠出を考える	
	クラブ支部新設目標	③ クラブ内GATの立ち上げ	⑥ パークゴルフ	
	家族会員新規 増員目標			
スペシャリティークラブ 支部新設目標				
	期首 名	①	④	
	(家族会員 名)			
	(女性会員 名)		⑤	
	新会員増強目標 名	②		
	クラブ支部新設目標	③	⑥	
	家族会員新規 増員目標			
スペシャリティークラブ 支部新設目標				

【活動報告】

第 5R 第 2Z ゾーンチェアパーソン
L 吉田浩子(むかわ LC)

初めての例会訪問を行いクラブの様子を知ることができ、自身の勉強になり知識も深まりましたが、責任の重さも痛感しました。

今後もゾーン委員、各クラブと協力しながらゾーンチェアパーソンの任務に努めてまいります。

ゾーンチェアパーソン報告書

5 R 2 Z ゾーンチェアパーソン L吉田浩子

①統一アクティビティの進捗状況について ②貴クラブの面白アクティビティを紹介してください ③会員増強の進捗状況及び具体的な取り組み方法 ④家族会員について ⑤LCIFの貴クラブの考え方 ⑥例会以外の会員交流の有無及び方法

クラブ名	会員動向		備考(質問)
むかわ	期首 32名 (家族会員 7名) (女性会員 2名)	①継続中	④加入促進に努力
	新会員増強目標 2名	②なし	⑤キャビネットの方針に従う
	クラブ支部新設目標:なし 家族会員新規増員目標:2名 スペシャリティークラブ支部新設目標:なし	③来年のクラブ新年会までに3名以上を予定	⑥今後取り組む予定
吉小牧中央	期首51名・現在52名 (家族会員 0名) (女性会員 0名)	①実施中	④検討中
	新会員増強目標 3名	②社会福祉協議会からゲストスピーチとして共同募金の現状を説明していただき、終了後募金を兼ねて会員に寄付金付きピンパッチを購入してもらった	⑤年度当初のLCIF負担金は会費から支払、その他の寄付については会員から徴収する
	クラブ支部新設目標:検討中 家族会員新規増員目標:検討中 スペシャリティークラブ支部新設目標:検討中	③クラブ支部の新設が会員増強には有効な施策であることから理事会・例会にクラブ支部の新設に向けての検討をすすめることの承認を得た	⑥本年度、クラブのゴルフ部の協力を得てチャリティーゴルフ大会を実施して吉小牧市にチャリティーすることを計画し9月に実施した
安平	期首 31名 (家族会員2名)9月末 (女性会員2名)9月末	①当初の計画に沿って実施しています。	④現状維持
	新会員増強目標 3名(7/2 1名入会)	②うまかまつりに飲食物販出店(収益事業)	⑤1人100\$ 拠出予定
	クラブ支部新設目標:なし 家族会員新規増員目標:0名 スペシャリティークラブ支部新設目標:なし	③現在勧誘予定者2名 各会員との情報交換	⑥他クラブ:3クラブ合同例会(むかわ・厚真) クラブ内ではレクリエーション(パークゴルフ) 門別競馬観戦(移動例会)
厚真	期首 32名 (家族会員 3名) (女性会員 3名)	①なし	④年に3回、同伴例会を実施
	新会員増強目標 2名	②3名	⑤協力する
	クラブ支部新設目標 家族会員新規増員目標:1名 スペシャリティークラブ支部新設目標	③新入会員2名増員、会員増強委員を設置 なし	⑥野球観戦、会食例会を実施
吉小牧白鳥	期首 57名 (家族会員 0名) (女性会員 5名)	①統一アクティビティの周知を行いながら、協力していきます	④通常の協力の範囲にて理解に努める
	新会員増強目標 3名	②福祉施設でのイベントへのお手伝い等	⑤ゴルフなどのイベントに際しチャリティーとして意識を高める
	クラブ支部新設目標:なし 家族会員新規増員目標:0名 スペシャリティークラブ支部新設目標:なし	③会員相互による紹介	⑥クラブ懇親会や姉妹クラブ交流なども含め例会以外の交流としている。

【活動報告】

地区大会国際大会 委員会委員長
L 大西 政春(苫小牧白鳥 LC)

大会委員会より報告致します。

キャビネット幹事 L 脇田忠、会計 L 坂本将一、運営委員長 L 柳原義文、
大会事務局長 L 和嶋俊、事務局次長 L 鈴木秀作 LC の皆様にご参集頂いて第二
回大会委員会を開催致しました。

内容としましては、大会日時の確認、大会組織図の各部会担当クラブの確認等を打ち
合わせし、次回委員会の日程を、確認して終了しました。

【活動報告】

ライオンズクエスト YCE・薬物乱用防止委員会委員長
L 林 謙治 (苫小牧中央 LC)

1) 【ライオンズクエスト】

青山副委員長を中心に今期のライオンズクエスト開催に向けて交付金申請書を提出中です。

2) 【YCE(ユースキャンプ及び交換)青少年交換】

第1回の YCE 委員会 WEB 会議出席。331-C 地区はフィンランド、スペイン、スイスが交渉対象国になっております。コロナで休止期間が長く、今期の冬の開催は困難、来期 2024 年夏季開催に向けて検討中です。

3) 【薬物乱用防止】

「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」を主催ライオンズ国際協会 331-C 地区、(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターにて
日程 2023 年11月 12 日 13:00～16:30、場所は苫小牧市民会館 202 号室で開催いたします。

又、「薬物乱用防止教室」を 2023 年 11 月 16 日登別市立緑陽中学校で開催予定、2024 年 5 月島牧村島牧中学校で開催予定です。

以上、メンバーの皆様ご協力お願いします。

【活動報告】

LCIF 委員会・アラート委員会・エクステンション委員会 委員長
L 富田 明久(苫小牧ハスカップ)

LCIF 委員会は、本日「LCIF についての概要」とシュアリングについて副コーディネーターの作並 L 同席の上勉強会を開催しました。

各クラブの LCIF 現況は、別紙を参照ください。

来月には、LCIF セミナー開催したいと思います、又すべてのゾーンチャーパーソンにお願いがあります。この後各リジョンでガバナー諮問委員会が開催されると思いますが、その際 LCIF 委員を同席させてください。よろしくお願いします。

アラート委員会は前回報告させていただいた秋田の水害に救援物資を送付させていただきました。

エクステンション委員会は、まだ水面下で色々動きがあるようですが、ご報告できるところまでには、至ってません。

【活動報告】

会則委員会 委員長
L 菅原 馨(苫小牧)

会則委員会委員長として、今後も継続して会則を学び皆様に伝えてまいりたいと思います。

【活動報告】

次世代リーダー研究委員会
環境保全・社会福祉委員会委員長
L 小坂直江(むかわ LC)

社会福祉協議会・協定締結に関するアンケートについて、御理解、御協力を頂きまして有りがとうございました。

昨今、世界中で自然災害・戦争の無い日その他の災害が無い日は、1日也没有せん。その様な中で渡部ガバナーより各クラブに対しまして協定締結の再検証の実施をして下さいとの事でありました。

アンケート集計の結果をご報告致します。

協定締結済のクラブは、26クラブ 締結予定クラブは、2クラブ 未締結は、12クラブ 未返答クラブは、3クラブでした。

未締結・無回答のクラブに対しましては、協定締結を勧めて参ります。

又、協定書の見本は、キャビネット事務局に有りますので参考にされたいクラブは、ご連絡お願いします。

環境保全につきましては、331-C 地区に於きましても昨年同様に継続事業として秋・春一斉清掃の実施を予定しております。

【活動報告】

視力障がい・糖尿病・献眼献血委員会 委員長
L 佐藤 聖(苫小牧白鳥ライオンズ)

初めに献血活動については、医療機関へ安定的に供給するためには、継続的な献血が重要とされるため、各クラブにおかれましては、これまでも趣向を凝らした献血アクトを実施されておりますが、より一層の啓もう活動を始め、北海道赤十字様と連携を取りながらクラブ単位での献血アクティビティ活動の、企画・調整等を図ってまいります。

また、献血は個人単位で出来るアクティビティです。移動献血者の運行予定はウェブサイトです。簡単に検索できますので隙間時間のアクトにも是非ご協力お願いいたします。

【活動報告】

キャビネット運営委員会 委員長
L 柳原 義文(苫小牧中央 LC)

去る 8/7 に開催された、第1回キャビネット会議を終えて、勉強不足もあり反省しなければならぬ点が多々ありました。その反省点を踏まえ、10/21 の第2回キャビネット会議ではよりスムーズに進行すべく努力をしたいと思います。

また、来年 4/26 に開催いたします第70回地区年次大会に向けて、9/20 の午前に1回目の大会委員会の会合を開き、大会組織表や役割分担等の確認をし大会成功に向けてスタートしました。メンバー各位のご協力をいただきながら、大会委員会を中心に運営委員会としてもしっかりとサポートし、苫小牧キャビネット総力を挙げて取り組んでいきたいと思っています。

第70回 地区年次大会(案)

日時:2024年4月26日(金)

場所:苫小牧市民会館・

月日	内容	時間	会場	登録料・参加料
4月25日	ゴルフ大会			

月日	内容	時間	会場	登録料・参加料
4月26日	代議員登録受付	8:30 9:30	苫小牧市民会館	—
〃	代議員総会	9:30 10:00	〃	—
〃	代議員分科会	10:00 11:00	〃	—
〃	再開 総会	11:00 12:00	〃	—
〃	昼食	12:00 13:00	〃	—
〃	受付・大会式典登録・ 懇親会登録	13:00 14:00	〃	登録料:3,500円 L、LL、LS、家族会員、支部会員 懇親会登録料:12,000円
〃	大会・式典	14:00 16:30	〃	—

4月26日	懇親会会場へ移動	16:30 17:30		各自移動
〃	懇親会	17:30 20:00		

ライオン誌日本語版委員会
報 告 書

ライオン誌日本語版委員会 新旧合同会議 2023-24年度第1回会議 報告書

日 時：2023年8月9日（水）10:00～12:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事 濱野 雅司（埼玉県・岩槻ライオンズクラブ）
国際理事 城阪 勝喜（大阪港ライオンズクラブ）

【2022-23年度】

委員長 玉浦 巖（336複合地区／広島県・三原浮城ライオンズクラブ）
編集長 団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）※
委員 本所 光男（331複合地区／北海道・室蘭東ライオンズクラブ）
委員 藤谷 文雄（332複合地区／秋田県・大曲ライオンズクラブ）※
委員 矢内 久男（333複合地区／群馬県・高崎和田ライオンズクラブ）

一般社団法人理事長 村木 秀之（東京数寄屋橋ライオンズクラブ）
一般社団法人副理事長 古川 隆（福岡博多みらいライオンズクラブ）
PRマーケティング委員長
一般社団法人常務理事 増澤 義治（334複合地区議長／長野県・諏訪湖ライオンズクラブ）※
PRマーケティング副委員長

ITアドバイザー 荘 英隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）

【2023-24年度】

委員 田中 明（330複合地区／和光ライオンズクラブ）
委員 馬場 哲也（331複合地区／北海道・函館東ライオンズクラブ）
委員 藤谷 文雄（332複合地区／秋田県・大曲ライオンズクラブ）※
委員 三枝 久夫（333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズクラブ）
委員 増澤 義治（334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズクラブ）※
一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長
委員 団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）※
委員 上田 隆政（336複合地区／広島県・三原ライオンズクラブ）
委員 渕野 二世（337複合地区／大分ライオンズクラブ）

一般社団法人理事長 田名部智之（青森県・八戸ライオンズクラブ）
一般社団法人常務理事 星野 勝美（群馬県・太田ライオンズクラブ）
PRマーケティング副委員長

欠 席：国際理事 鶴嶋 浩二（北海道・札幌中島ライオンズクラブ）
元国際理事 藏 大介（石川県・金沢伏見ライオンズクラブ）
元国際理事 永田 賢司（京都洛陽ライオンズクラブ）
22-23年度委員 金子 義人（330複合地区／埼玉県・さいたま南ロイヤルライオンズクラブ）
22-23年度委員 檀原 保雄（334複合地区／長野県・佐久ライオンズクラブ）
22-23年度委員 富永 健司（337複合地区／大分県・中津ライオンズクラブ）

※新旧両年度に所属



新年度第1回会議の開催に当たり、招集者である一般社団法人日本ライオンズの田名部理事長からあいさつがあり、「一般社団法人日本ライオンズの大きな役割の一つであるライオン誌を、安定的、独立的に会員の皆さんに届けることの重要性はよく理解している。現在、社団の大きな問題点の一つにライオン誌の問題があり、これを今年度中に前向きに解決して、ライオン誌が継続して安定的に発行され、ますます充実した情報発信の役割を担えるように努力したい。ライオン誌日本語版委員会の他にライオン誌検討委員会を設けており、解決に向けてしっかりと取り組んでいく。社団ではさまざまな改革に着手しており、社員総会における決定に沿いつつ、ライオン誌の編集においては独立性がしっかり担保されるようにし、委員会の皆さんとよく連絡を取り合って前向きに進んでいきたい」と述べた。続いて、ボストン国際大会で就任された濱野、城阪両国際理事、社団の村木前理事長からあいさつがあり、玉浦2022-23年度委員長から出席者の紹介があった後、2022-23年度委員会の議事に入った。

【議事】

■2022-23年度委員会

1. ライオン誌日本語版の運営

●2022年7月～23年6月ライオン誌関係会計報告

社団の2022-23年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。国際協会補助金の年間収入は21,849,035円で、円安の影響もあり予算執行率107.0%となった。ライオン誌送料収入は15,913,162円・予算執行率68.0%だが、印刷版6回発行分の予算に対して実際の発行回数は4回だったので妥当な執行率である。直接出版費の執行額は31,031,287円で、同様の理由で執行率は70.5%だった。毎月発行のウェブマガジンは、印刷版の発行回数減少に伴って更なる充実を目指したため、改修費用が予算の1.3倍に膨らんだ。一方、旅費交通費及び原稿料・編集費が抑えられたことから、デジタル版関連費全体では8,313,789円（同91.5%）と予算内に収まった。ライオン誌委員会は対面で2回開催し会議費用は354,000円（同56.2%）だった。全体として、予算に沿って運営されたことを確認した。

●2022-23年度下半期ライオン誌補助金

7月14日に2022-23年度下半期国際協会補助金10,660,127円が振り込まれたことを確認した。

2. ウェブマガジン編集関係

- 2023年7月号（7月1日公開）出来
- 2023年8月号（8月1日公開）出来

公開済みの7月号及び8月号について出席者に意見を求め、出来を確認した。

3. 印刷版編集関係

- 2023年夏号(7月28日発行/80,200部)出来

団編集長から夏号に掲載した主な記事が紹介された後、出席者に意見を求め、出来を確認した。

4. その他

- 2023-24年度委員会への引き継ぎ事項

玉浦委員長から、2023-24年度委員会への引き継ぎ事項4件のうち、国際協会の公式版として理事会方針書に則って委員会を運営するための会計及び組織の分離や、過去の余剰金の取り扱いを社団理事会と交渉するとした3件について説明があり、出席した委員全員の賛同を確認。これら3件の解決に向けて、ライオン誌日本語版委員会内に「ライオン誌改革委員会」を設置すること、その委員を2023-24年度委員長・編集長と、過去の経緯・経過を知る委員長経験者3名、編集長経験者3名にすることに委員全員が賛同した。

この引き継ぎ事項について城阪国際理事から、理事会方針書に組織や会計を分離すべきという主張の根拠となる記載は見当たらず見解の相違があること、過去の決定事項を覆す内容であることなど疑問が呈され、次年度へ引き継ぐことには問題があるのではないかとの意見が示された。これに対して玉浦委員長から、城阪国際理事の指摘を含めて次年度委員会で議論してほしいと理解を求めた。

2022-23年度委員会で決定した通り、引き継ぎ事項4項目を次年度へ申し送る。

2022-23年度委員会の議事終了後、同年度委員は会議室を退出。2023-24年度委員長の選出まで前年度玉浦委員長が議事進行を担い、委員長選出後、新年度委員長の進行で議事を進めた。

【議事】

■2023-24年度委員会

5. 2023-24年度ライオン誌日本語版委員会委員長、編集長選出

玉浦前委員長から、理事会方針書第16章に則り委員長は委員会メンバーの中から選出することを説明。委員の中から2名の立候補があった。委員長選出について、社団の田名部理事長から次の発言(要旨)があった。

「昨年度、社団のPRマーケティング委員長、ライオン誌日本語版委員長、

ライオン誌編集長の3人の長がいることで混乱を招き、対立の構造を生むなどの弊害があった。そこで昨年度、PRマーケティング委員会の副委員長が翌年度には委員長となり、ライオン誌日本語版委員会の委員長を兼務することが望ましいと決議した。ライオン誌の公平性・独立性を担保するために編集長は委員会の互選で選び、委員長は一本化する改革を進めてはどうか」との提案があった。

これを受けて委員長の選出方法について協議し、過半数の委員の賛同により選挙で選ぶことを決定。挙手による投票の結果、2023-24年度委員長に332複合地区の藤谷委員を選出した。編集長については、藤谷委員長から団委員の推薦があり、過半数の委員の賛同により2023-24年度編集長に335複合地区の団委員を選出した。

6. ウェブマガジン編集関係

●2023年9月号(9月1日公開) 予定(案)

前年度委員会で取材記事の内容、経費概算の承認を受け、予定通りに2件の取材を行い、編集作業を進めていることを確認。「編集室」の原稿は藤谷委員長が担当する。

●2023年10月号(10月1日公開) 予定(案)

●2023年11月号(11月1日公開) 予定(案)

各号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、外注経費が提出され、承認した。

●「取材レポート」取材対象候補

9月号から12月号までの「取材レポート」対象候補に挙げた奉仕活動のリストを確認。12月号の取材対象は次回委員会で検討する。

7. 印刷版編集関係

●2023年秋号(10月25日発行) 台割(案)

基本36ページ建ての台割案を確認した。特集ではウェブマガジン9月号で取材した富山昭和LCのライオンズクエスト推進活動を取り上げる。「国際理事だより：鶴島国際理事」、「編集室：藤谷委員長、田中委員」。

8. 主要記事予定

●2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

●2023年8、9月取材経費

8、9月に予定している経費概算が提出され、承認した。

9. その他

●2023年クラブ・アンケート

各クラブの前年度会員動静や今年度の活動予定に関する情報を収集し編集資料とするため、毎年年度始めに全クラブを対象に行っているクラブ・アンケートの内容を確認し、今年度も実施することを決定した。アンケートはServannA（サバンナ）のアンケート機能を使用して実施。各地区に協力を依頼し、クラブ宛アンケート協力依頼メールの転送をお願いする。

●ServannA（サバンナ）関係

地区版サバンナの運用サポート及びライオン誌版サバンナの運用を円滑に進めるため、L荘英隆（東京恵比寿LC）にライオン誌ITアドバイザーとして協力を依頼することとし、本人の承諾を得た。

●ライオン誌出版物

ライオン誌日本語版委員会が製作し頒布している『ライオンズスクール初級編～ライオンズクラブ入門』（第4版3刷・2023年4月3,000部発行）の残部が120部ほどになっている。各委員に1部ずつ配布して内容を確認した上、次回委員会で今後の発行について検討する。

2023-24年度委員会の議事終了後、出席者から意見の発表や質問があった。発言の要旨とやりとりは以下の通り。

○城阪国際理事の発言

「2023-24年度委員会が引き継いだ事項の中には、私から見ると議論の必要がない事項が含まれており、国際協会に確認すれば明快に解決する項目もあると思われる。委員会から国際協会へ質問したい項目を挙げ、10月の国際理事会までに藤谷委員長から提出してほしい」

「理事会方針書16章に『編集者の任期は最低1年で、最高3年である』というルールがあり、団編集長はこれに抵触する恐れがあるので、確認する必要があるのではないか」

上記2点のうち編集者の任期について、藤谷委員長から「任期に関しては指摘された箇所が続いて『編集者は再度任命を受けることができる』との記載があるため、何ら問題はない」との回答があった。

○濱野国際理事の発言

「前年度委員会からの引き継ぎ事項に関して、既に社団の中に含まれているライオン誌委員会の組織や会計を分離することは難しいと考える。理事会方針書に従って独立性を保つ必要はあり、ライオン誌に関する決定権は委員会にあるべきだろう。また会計については、今後仮に、国際協会補助金から余剰金が出る事態になった場合、社団の費用になることのないよう、ライオン誌余剰金として取り扱う必要があるのではないか。現在ある余剰金については、同一事務所にある社団とライオン誌の固定費は共通で

あることから分ける必要はないと考える」

○渕野委員の発言

「引き継ぎ事項については、これまでの委員会運営の中で疑問に思ったこと、解決出来なかったことが次年度に引き継がれたもので、それを議論していくことは重要であり、大変だとは思わない。『すでに決まったことだから蒸し返す必要はない』ということではない。今の時代に合わせて新しい委員が『見直し』を行っていくことが必要である。ライオン誌日本語版委員会が社団の支配下にあるのか、新任の委員としてまだ分からないこともあるが、今日の議論を聞き、ライオン誌が公式版であることを考えれば、国際協会の支配下にあると捉えるのが正しいのではないかと考えている」

○星野PRマーケティング副委員長の発言

「PRマーケティング委員会の増澤委員長はライオン誌委員でもあるが、副委員長の私はどのような立場なのか、オブザーバーならば今後は意見を述べるのみにするので、そこを明確にしてほしい」

これに対して藤谷委員長から「職権委員の国際理事と8人の委員以外はオブザーバーとしての参加となる」と回答があり、田名部理事長からは「社団の理事会で決議したこととは異なり、他の委員会と違う動きで今日の会議が進んでいるので、後ほど委員長、編集長との話し合いが必要だと思う。本来は、星野副委員長にはオブザーバーではなく副委員長として会議に出席していただくべきだが、今日の会議では違った進み方になっている」とのコメントがあった。

次回会議は9月6日（水）に日本ライオンズ事務所で対面での会議を行うことを決定した。会議日程について城阪国際理事から、国際理事は多忙につき調整が困難なため、委員の都合によって決定してもらい、その日に都合がつく国際理事が出席するようにしたい、との発言があった。

閉会あいさつ 田名部理事長

【次会委員会開催予定】

9月6日（水） 14:00～16:30 第2回会議 日本ライオンズ事務所（Zoom併用）

2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第2回会議

日 時：2023年9月6日(水) 14:00～16:30

場 所：一般社団法人日本ライオンズ / Zoom併用

出席者： 国際理事	鶴嶋 浩二 (北海道・札幌中島ライオンズ [㊤])
国際理事	濱野 雅司 (埼玉県・岩槻ライオンズ [㊤])
国際理事	城阪 勝喜 (大阪港ライオンズ [㊤]) ※Zoom出席
委員長	藤谷 文雄 (332複合地区 / 秋田県・大曲ライオンズ [㊤])
編集長	団 英男 (335複合地区 / 兵庫県・神戸みなとライオンズ [㊤])
委員	田中 明 (330複合地区 / 埼玉県・和光ライオンズ [㊤])
委員	馬場 哲也 (331複合地区 / 北海道・函館東ライオンズ [㊤]) ※Zoom出席
委員	三枝 久夫 (333複合地区 / 栃木県・佐野西ライオンズ [㊤]) ※Zoom出席
委員 一般社団法人専務理事 / PRマーケティング委員長 / 事務長	増澤 義治 (334複合地区 / 長野県・諏訪湖ライオンズ [㊤])
委員	上田 隆政 (336複合地区 / 広島県・三原ライオンズ [㊤])
委員	渕野二三世 (337複合地区 / 大分ライオンズ [㊤])
一般社団法人理事長	田名部智之 (青森県・八戸ライオンズ [㊤])
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星野 勝美 (群馬県・太田ライオンズ [㊤])



藤谷委員長の開会あいさつの後、鶴嶋、濱野、城阪各国際理事、社団の田名部理事長、星野常務理事からあいさつがあり、続いて委員による自己紹介を行った。また、藤谷委員長から事務局のライオン誌担当職員3名、団編集長から奉仕活動取材と印刷版レイアウト等を外注している株式会社CUBE担当者の紹介があった。その後、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●国際協会提出用2022-23年度下半期収支計算報告書

公式版ライオン誌が国際協会から補助金を受けるために、半期ごとの収支報告書提出が義務付けられている。会計担当が作成した2022-23年度下半期報告書【案】を確認した。【案】は国際協会からの収入に対し、印刷版及びデジタル版ライオン誌の発行・発送とライオン誌委員会の旅費のみを支出として補助金を使い切ったことを報告するもので、社団では2019年度まで

はライオン誌部門の収支を分けた会計処理を行っていたが、会計の一本化により職員経費と事務経費を算出出来なくなり、以後は明確にライオン誌の支出と分かる費用のみ記載しているとの説明があった。これについて鶴嶋理事から、ライオン誌業務に携わる2.5人分の職員経費は記載すべきであり、委員会として今後はライオン誌発行にかかる年間経費を明確にした上で予算を立てる必要があるとの指摘を受けた。報告書の該当箇所を訂正して提出することを決定した。

- 2023-24年度一般社団法人日本ライオンズ予算

8月8日の第1回社員総会で承認された一般社団法人日本ライオンズ2023-2024年度予算を資料に、ライオン誌関連の予算を確認した。

- 2023年7月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書（2023年7月分）を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。この時点では国際協会補助金等の今年度収入は未入。7月は印刷版が発行されたため直接出版費は8,475,051円（予算執行率26.7%）、毎月発行のデジタル版関連費は269,060円（同3.9%）が発生した。全体として、予算に沿って運営されていることを確認した。

2. ウェブマガジン編集関係

- 2023年9月号（9月1日公開）出来

公開済みの9月号について出席者に意見を求め、出来を確認した。9月に行われるシーハンLCIF理事長公式訪問は、15日札幌での公式訪問を馬場委員が取材を担当する。

- 2023年10～12月号更新予定(案)

10～12月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され承認した。10月号では、9月29日に東京で開かれるシン国際第2副会長ミッション1.5セミナーの取材を田中委員（330複合）が担当する。編集室担当は田中委員。11月号の編集室は、印刷版のローテンションとの兼ね合いでウェブのみの掲載で、担当は三枝委員。12月号では、マニラ・フォーラム（11月2～5日）のレポートを掲載。また、11月2日に福岡で開催される一般財団法人日本ライオンズの第2回全国特別支援学校フットサル大会の取材を渕野委員（337複合）が担当することにした。また増澤委員（334複合）から、11月18～19日に開催されるSON冬季ナショナルゲームのレポートを、334複合地区で用意したいとの申し出があった。

これまで編集担当職員を派遣していた取材を、取材先がある複合地区の委員が担当することにより経費削減を図る。取材担当委員への往復交通費の支給が認められるよう、日本ライオンズへ要望する。

地区から寄せられる取材依頼や記事掲載依頼について検討。全ての取材依頼に応じることは出来ない上、複数の依頼があった際に特定の地区のみを選ぶの

は困難であること、また経費削減にもつながることから、複合地区及び地区の活動についてはライオン誌による取材は行わずに投稿をお願いする。これについて、複合地区及び地区へ周知するよう日本ライオンズへ要望する。

- 「取材レポート」取材対象候補

取材対象候補に挙げたクラブ・アクティビティのリストを確認した。

3. 印刷版編集関係

- 2023年秋号(10月25日発行)台割(案)

基本36ページの台割案を確認した。「国際理事だより：鶴嶋国際理事」「日本ライオンズ情報：田名部理事長」「編集室：藤谷委員長、田中委員」。この号には、シーハンLCIF理事長公式訪問と、シン国際第2副会長ミッション1.5セミナーの記事は半ページずつ1ページにまとめ掲載。また、LCIF大災害援助交付金による2019年台風19号復興支援事業に関する報告記事を1ページで掲載する。これら2ページ分を追加するために「海外の活動」を休載するなど調整を加える。

- 2024年冬号以降の誌面構成・企画

団編集長から「冬号以降の誌面構成や企画に今年度委員の意見を反映させるため、各委員が次回委員会に意見を持ち寄ってほしい」との要請があった。また投稿を促進するために各複合地区ガバナー協議会などで呼びかけを行うこと、LINE登録者1万人を目標に働きかけを行うことを申し合わせた。

4. 主要記事予定

- 2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

- 2023年9～11月取材経費概算

9～11月に予定している取材5件の経費概算が提出され、承認した。今後の取材については、委員や各地区で写真などのスキルを持つメンバーで対応する方法を検討していく。

5. 2022-23年度からの引き継ぎ事項

藤谷委員長から「委員会前に行った社団の田名部理事長、増澤専務理事との話し合いで、田名部理事長から昨年度に続きライオン誌検討委員会を設けて問題を解決したいとの意向をうかがっており、当委員会としてもその方向で進めていただきたい」と述べて理解を求めた。

6. その他

- ライオン誌編集者ウェビナー

国際本部から、日本時間の10月4日と5日の2回開催するライオン誌編集

者（長）ウェビナーの案内が届き、いずれかの回に出席するよう連絡を受けた。4日8:00～9:30の回に団編集長が出席する。

- ライオン誌出版物

残部わずかとなった『ライオンズスクール初級編～ライオンズクラブ入門』（第4版3刷・2023年4月 3,000部発行）の発行について検討し、今後はPDF版として無償配布することを決定。PDF版の発行に向けて委員による改訂作業を進める。

- ServannA（サバンナ）関係

国際協会は近く、MyLCIから新しいデジタルツールLion Portalへの移行を予定している。これに伴いMyLCIとサバンナの連動が変更された場合、全35地区版サバンナとライオン誌版サバンナに影響が生じることになる。そこで社団の田名部理事長とライオン誌委員会の藤谷委員長の連名でOSEAL調整事務局へ、変更の有無、内容について文書で問い合わせることを決定した。

- ライオン誌公式SNS

ライオン誌公式アカウントの登録者数を確認した。昨年度に引き続きLINE登録者の増加に向けて努力する。

- 2023年クラブ・アンケート経過報告

9月8日締切で実施中のクラブ・アンケートの途中経過の報告を受けた。9月5日時点で回答率46.8%。締切後に編集部で集計を行い、結果を確認する。

閉会あいさつ 藤谷委員長

【次回開催予定】

10月6日（金）14:00～16:00 第3回会議（ウェブ）

2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第3回会議 報告書

日 時：2023年10月6日(金) 14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者： 国際理事	濱野 雅司 (埼玉県・岩槻ライオンズクラブ)
国際理事	城阪 勝喜 (大阪港ライオンズクラブ)
委員長	藤谷 文雄 (332複合地区/秋田県・大曲ライオンズクラブ)
編集長	団 英男 (335複合地区/兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ)
委員	田中 明 (330複合地区/埼玉県・和光ライオンズクラブ)
委員	馬場 哲也 (331複合地区/北海道・函館東ライオンズクラブ)
委員	増澤 義治 (334複合地区/長野県・諏訪湖ライオンズクラブ) 一般社団法人専務理事/PRマーケティング委員長/事務長
委員	上田 隆政 (336複合地区/広島県・三原ライオンズクラブ)
委員	淵野二三世 (337複合地区/大分ライオンズクラブ)
ITアドバイザー	荘 英隆 (東京恵比寿ライオンズクラブ)
欠席者： 国際理事	鶴嶋 浩二 (北海道・札幌中島ライオンズクラブ)
委員	三枝 久夫 (333複合地区/栃木県・佐野西ライオンズクラブ)
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星野 勝美 (群馬県・太田ライオンズクラブ)



藤谷委員長の開会あいさつの後、濱野、城阪各国際理事からのあいさつに続いて、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2023年7～8月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。8月はライオン誌印刷版の発行がなかったため、直接出版費は執行額8,501,187円(予算消化率26.7%)で先月からほぼ変動なし。毎月発行のデジタル版関連費は2回発行完了時点で執行額809,793円(同11.6%)で、予算に沿って運営されていることを確認した。

●国際協会提出の2022-23年度下半期収支計算報告書

第2回委員会の決定に沿い、国際協会へ2022-23年度下半期収支計算報告書

を提出したところ、国際本部の担当者から「国際理事会（2023年3月）の決定により、収支報告書の提出は不要になった」との連絡があった。しかし理事会決議が反映された理事会方針書（2023年7月更新版）では、報告書式の指定のみが削除されて、収支報告を半期ごとに提出しなければならないと記載されている。城阪国際理事の助言により、ライオン誌委員長及び編集長から本部担当者へ報告書提出の要否を改めて問い合わせることにした。

第2回委員会で上記報告書について検討した際、鶴嶋国際理事から、職員経費や事務費を含めた年間経費を明確にして委員会でライオン誌発行の予算を立て、その範囲内で発行すべきとの指摘があった。これを受けて藤谷委員長から社団専務理事である増澤委員へ、ライオン誌経費を分けて算出できるようにするため、事務費等の負担率を示してほしいとの要望が出された。これに対し増澤委員から、社団の会計顧問と相談しているところであり、ライオン誌検討委員会で協議すべき事項であるとの回答があった。藤谷委員長が各委員に意見を求めたところ、「会計に関することは明確にした方がよい」「国際協会と社団、ライオン誌委員会の関係が分かりにくく、整理する必要がある」などの意見が出た。これらの意見を踏まえて藤谷委員長から、ライオン誌検討委員会で今期中の問題解決に向けて取り組みたいとの発言があった。

2. 2023-24年度編集長方針

●2023-24年度編集長方針

団編集長から2023-24年度編集長方針が示され、説明があった。編集長方針7項目の概要は以下の通り。

- ①印刷版は年4回発行を継続
- ②ウェブマガジンは年12回発行の他、投稿記事やニュース記事は随時更新
- ③「取材レポート」は編集部及び外部プロダクションを活用する他、可能な場合は委員が取材を担当。「投稿レポート」の投稿促進を図る
- ④ウェブマガジン「編集室」（12回）は委員8人の輪番と、残る4回は有志が原稿を担当
- ⑤国際協会やOSEAL、日本ライオンズ関連の取材は委員が担当し、取材旅費は日本ライオンズの承認を得て編集費から支出
- ⑥複合地区・地区から取材の依頼があった時は当該のMC委員会に原稿及び写真の投稿を依頼
- ⑦LINE公式アカウントの登録者数1万人を目指してウェブマガジンの閲覧数をアップさせる

●ライオン誌編集者ウェビナー

10月4日に行われた国際協会によるライオン誌編集者ウェビナーについて、参加した団編集長からプレゼンテーション資料を共有しながら報告があった。主な内容は以下の通り。各項目について濱野国際理事から追加の情報提供を受けた。

- 新たなマスターブランドの「ライオンズ・インターナショナル」導入が始まり、国際協会ウェブサイトやライオン誌本部版に順次反映されている
- 国際協会ウェブサイトにもミッション1.5のウェブページが開設された。ミッション1.5促進のために8ページの記事配信を予定
- 国際大会のウェブページが刷新され、英語の名称やハッシュタグが変更された
- パティ・ヒル国際会長が重点を置く環境に関するクラブの奉仕活動のストーリーと写真を本部へ寄せてほしい

3. ウェブマガジン編集関係

- 2023年10月号(10月1日公開)出来公開済みの10月号の出来を確認した。

- 2023年11月号～24年1月号更新予定(案)

11月号～24年1月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され承認した。11月号には、10月開催の国際理事会について国際理事3人にウェブマガジンのみに掲載する「国際理事だより」の執筆をお願いする。12月号では、マニラ・フォーラム(11月2～5日)の取材を増澤委員(334複合)が、一般財団法人日本ライオンズの第2回全国特別支援学校フットサル大会(11月3～4日/福岡市)の取材を渕野委員(337複合)が担当する。

SON冬季ナショナルゲーム(11月18日～24年2月25日)の記事掲載について検討。開会式(18日/長野市)を増澤委員(334複合)が取材し、それに続く協議と併せて12月号に掲載。2月に北海道名寄市及び長野市で行われる競技や閉会式は2月号または3月号に掲載。名寄市での写真や情報は馬場委員(331複合地区)が手配する。印刷版では大会レポートを1本の記事にまとめて春号に掲載する。

- 「取材レポート」取材対象候補

取材対象候補に挙げたクラブ・アクティビティのリストを確認した。

4. 印刷版編集関係

- 2023年秋号(10月25日発行)台割

台割に基づいて編集を進めている秋号再校を確認した。「国際理事だより：鶴嶋国際理事」「日本ライオンズ情報：田名部理事長」「編集室：藤谷委員長、田中委員」。シーハンLCIF理事長公式訪問とシン国際第2副会長ミッション1.5セミナーの記事と、LCIF交付金による2019年台風19号復興支援事業の記事を各1ページで掲載するため、「海外の活動」を休載し、「獅子吼」を1ページ減らして3ページとした。

印刷版の編集においては、ライオン誌担当職員の減員をレイアウトと校正を外部へ委託することで補ってきたが、経費削減を踏むため、秋号からは校正については委員と職員で行い、外部委託はしないことにした。

5. 主要記事予定

●2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

●2023年11月取材経費概算

11月に予定している取材1件の経費概算が提出され、承認した。

6. その他

●ライオン誌出版物

前回委員会でPDF版配布への切り替えを決めた『ライオンズ・スクール初級編～ライオンズクラブ入門』の在庫が無くなったため、速やかに改訂作業を進める。委員会終了後、PDF版用に一部レイアウト等を変更したものを委員8人に配布し、各自が内容を検討する。また、「ライオンズ・スクール」は以前、初級編・中級編・上級編があったが、中級と上級は既に絶版となっているため、タイトルから「初級編」を削除する。

●ServannA（サバンナ）関係

第2回委員会の決定に沿い、国際協会の新しいデジタルツールLion Portalへの移行に伴うサバンナへの影響について、社団の田名部理事長とライオン誌の藤谷委員長の連名による文書で、OSEAL調整事務局の佐子マーズ局長へ問い合わせた。これに対してマーズ局長から「本部での移行作業が遅れており、まだ回答出来ることがない」という口頭での説明があったことが、増澤事務長から報告された。荘ITアドバイザーからは「サバンナのシステムを変更することになれば、時間が必要になる。出来るだけ早い段階で情報を得ることが望ましい」という助言があった。

●2023年クラブ・アンケート報告

9月8日締切で実施したクラブ・アンケート（回答率55.5%）の集計結果を確認した。全体の集計結果を印刷版秋号に掲載し、複合地区別の集計結果はウェブマガジン「情報資料」に掲載している。長年継続して調査を行っているもので、濱野国際理事から「過去6年間の退会者の在籍年数を比較すると、5年未満が減少している一方で10～14年が増加している」との指摘と共に、会員減少の理由を探るためにも役立つデータであるとのコメントがあった。アンケートで集まったアクティビティ情報は各委員が確認し、今後の取材や投稿依頼の参考資料として活用する。

閉会あいさつ 藤谷委員長

【次回開催予定】

11月9日(木) 14:00～16:00 第4回会議（ウェブ）